

Napre

NAKANISHI COMMUNITY PRESS

7

July
2016

Vol.81

学校法人 中西学園
名古屋外国語大学・大学院
名古屋学芸大学・大学院
名古屋学芸大学短期大学部
名古屋ファッション専門学校
名古屋総合デザイン専門学校
名古屋栄養専門学校
名古屋製菓専門学校
菱野幼稚園



71ST
NAKANISHI
EDUCATIONAL
FOUNDATION

CONTENTS

巻頭特集 世界共生学部設立準備企画 対談

青柳正規先生(東京大学名誉教授) × 亀山郁夫先生(名古屋外国語大学学長)

多文化共生の未来に向かって..... 1

2015年度修了式・卒業式・学位記授与式..... 7

2016年度入学式..... 8

TOPICS..... 9

国際交流..... 13

大学説明会..... 16

2017年度学生募集要項..... 17

2016年度入試を振り返って..... 19

2016年度オープンキャンパス日程..... 20

キャリア・サポート..... 21

2016年度教員採用状況..... 27

わたしの職場紹介..... 29

図書館・MLCからのお知らせ..... 31

外大だより..... 33

学芸大だより..... 38

短大だより..... 48

NSC だより..... 49

菱野幼稚園だより..... 53

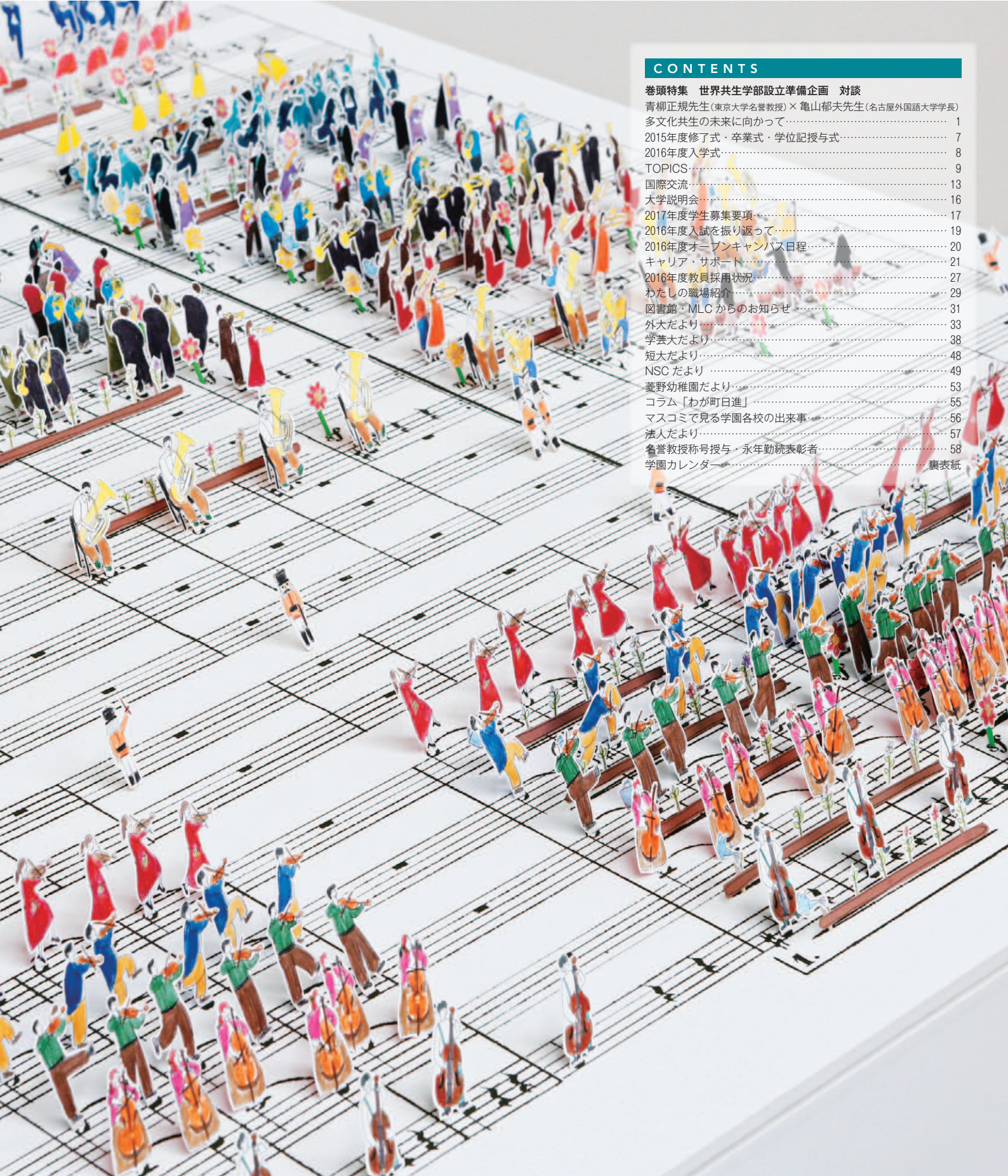
コラム「わが町日進」..... 55

マスコミで見る学園各校の出来事..... 56

法人だより..... 57

名誉教授称号授与・永年勤続表彰者..... 58

学園カレンダー..... 裏表紙





【対談】 多文化共生の 未来に向かって

東京大学名誉教授

青柳正規先生

名古屋外国語大学学長

亀山郁夫先生

あおやぎ まさのり

1967年東京大学文学部美術史学科卒業。1972年東京大学文学部助手、1979年筑波大学芸術学系講師、1985年東京大学文学部助教授を経て、1991年同大学文学部教授に。2005年国立西洋美術館館長、2008年独立行政法人国立美術館理事長を併任。2013年文化庁長官。2016年文化庁長官を辞任。現在に至る。2006年紫綬褒章受章。2007年日本学士院会員。

かめやま いくお

1972年東京外国語大学卒業。1977年東京大学大学院博士課程中退。1982年天理大学外国語学部助教授、1987年同志社大学法学部助教授、東京外国語大学外国語学部教授を経て、2007年東京外国語大学学長に。ロシア文化やロシア文学を研究し、主な著書に「破滅のマヤコフスキー」「磔のロシアスターリンと芸術家たち」「謎とき『悪霊』」。翻訳にドストエフスキー著「罪と罰」「悪霊」「カラマーゾフの兄弟」など多数。

グローバル化が進む今日、それぞれの国民、民族が互いの文化、価値観を認め合いながら、平和的に発展を目指す社会構築が世界各地の大きな課題になってきました。同時に、そうした社会を実現するために必要な人材育成は、日本にとっても重要な教育課題になっています。こうした人材ニーズに応えるべく、現在、名古屋外国語大学では「世界共生学部」の設立に向けて々と準備を進めています。

そこで今回は、名古屋外国語大学亀山学長が、昨年文化庁長官を退任された青柳正規先生を招き、「多文化共生」をテーマの柱に掲げ対談。これからの社会を担う若者たちが、平和的な共生社会を構築していくためにはどうすればいいのか。何が求められるのか。日本の文化、語学、社会、教育など、様々な視点から語り合いました。その模様をご紹介します。

互いの文化を尊敬し、尊重すること そこから多様性の定着が進む

亀山学長 青柳先生、本日は貴重なお時間を割いていただき、誠にありがとうございます。私ども名古屋外国語大学は、2017年4月に「世界共生学部」を設立することになっています。この学部は、グローバル化が進行する現代社会において、多文化共生という観点から有益な人材を育成していくというのが狙いです。

そこで本日の対談では、グローバル社会が今後どのような方向に向かっていくのか、あるいは日本の社会や文化がどのように変貌していくのか、また世界の人々と平和的な共生を実現していくためにはどのような姿勢が求められるのか、外国語や世界の文化を学ぶ意味がどのようなところにあるかということについて、青柳先生から様々なご意見を伺いたいと思います。このような対談の場を設けさせていただきました。

青柳先生は、国立西洋美術館館長、文化庁長官を歴任されるなど、日本の芸術文化のリード役としてご活躍されてきましたが、その経験を交えつつ、幅広く先生のお話を伺ってきたいと思っています。よろしくをお願いします。

青柳先生 私も本日の対談を楽しみにしていました。こちらこそ、よろしくお願いします。

亀山学長 早速ですが、このグローバル社会の中で、まず日本の文化がどのように変わっていくのか、そして若者たちはその状況の中で、どのような生き方を目指していけばいいのか、先生のご意見をお聞かせください。

青柳先生 まず日本の農業は多品種小規模農業です。ある意味で農業はポリカルチャーといえます。ところが、文化の方はどうか。世界的に見れば単一民族に近い日本の文化は、モノカルチャーといえるでしょう。

世界に目を向け、アメリカを見た場合、農業は小麦とトウモロコシぐらいしか生産しない。つまり農業はモノカルチャー。文化的には、いろいろな国の人が集まっていますのでポリカルチャー。まさに日本の逆ですね。

そういう中で、世界的には文化の多様性というものが非常に大切にされてきています。モノカルチャーの日本人も様々な異文化に接していかざるを得ません。接していく中で、相手の文化を尊重すると同時に、自分たちの文化も異文化の人たちに尊重してもらいたい。そういう相互の尊敬し合う、尊重し合うことがあって、初めて多様性がしっかりと定着していくのだと思います。

そういう意味で私たちは、単一民族、単一文化ということに慣れてしまっていますので、もう一度、周辺文化に目を向けるべきでしょう。その上で、相手の文化を尊重すると同時に、日本の文化を尊重してもらうにはどうすればいいのかを考えていく。そうした姿勢がこれからの若い世代の人たちには、ますます重要になってくるのではないのでしょうか。

亀山学長 私の個人的な印象かもしれませんが、日本の文化に対しては今もってかなりステレオタイプの見方がされているような気がします。青柳先生は、文化庁長官も務められていましたが、その経験も踏まえ、日本文化への海外の理解度がどの程度のものなのか、実感をお聞かせ願えましたら……。

青柳先生 例えば、ドナルド・キーン先生がよくおっしゃっているのは、自分たちが過去に失ってしまったような文化、文学が日本にはまだたくさん息づいている。それが魅力だと話されています。

キーン先生は特別な方というだけでなく、日本の文化に関する理解は、この20年、30年で、かなり広まりましたし、深まったように理解しています。

ただ、欧米を中心に中国研究や韓国研究が国の力を背景にしながら浸透し、拡大しようとしているため、日本研究の部門、セクションが圧迫されてきました。

今までの量と質を保っていくためには、少なからず国の援助も必要ではないかと思っています。

グローバル化の競争社会の中で、 日本文化の価値はさらに高まる

亀山学長 確かに海外の大学等における日本語学科や日本関連の講座が次々と閉鎖されるという状況があります。残念でなりません。

その一方で、海外からの観光客は、2011年の東日本大震災、福島原発事故があったにもかかわらず、劇的に増加しつつあります。観光立国として日本が生きていくためにも、物見遊山の観光よりも、日本の文化そのものにふれて、日本の文化には高度の世界性があること、可能性があるんだということを世界の人々に知ってもらいたい機会になればと思います。

青柳先生の立場として、世界の人たちが日本の文化から何かを学ぶとしたら、どのようなところが有益だと思われませんか。

青柳先生 日本の文化の一つの特徴は、欧米と比較した場合、寡黙であること。口数が少ないことですね。いいものを持っていながら、自分のよさを言葉にすることになっていません。美術や演劇、音楽にしても、あらゆる分野にいえることです。私は、もっと日本の文化を理解してもらうためには、語り部、評論家のような役割を担う人が鍵になると思います。昔でいえば、岡倉天心のように、海外ですばらしい英語を駆使して紹介していく人物です。そうした人物が、数としても、質としても、必要ではないかと。

そうした発信をしてくれる人がいれば、控えめであり、そして自然と調和した気持ちのやさしい日本文化の魅力がもっと理解してもらえるのではないのでしょうか。

こうした日本の文化は、グローバル化でギスギスした競争の中で、一層価値を持っていく、貴重なものと見なしてもらえる。そのような気がしています。



青柳正規先生

亀山学長 例えば、中国の人たちが日本に来て、日常製品などいろいろなものを買っていきます。欧米の人たちも日本を訪れ、日本人はこんなにも生活の細かな側面にまで行き届いた製品をつくっているのかと発見する。日本人の生活そのものというのは、緻密なユニットの集合です。繊細さというよりも緻密さ。生活の細かな側面にまで行き届いたモノの存在に海外の人たちが気づいてくれば、日本の暮らしとは世界の人々が最終的に求めている理想形に近いのではないかと感じてもらう。そうした自信を持っていいのではないかと感じているのですが。

青柳先生 私も全く同じ意見です。自信を持つべきだと思います。

自国の文化を意識していれば、他国の文化も理解しやすい

亀山学長 その一方で、私たちが細かなところまで行き届いた生活用品やサービス精神を当然のように受け止めていると、単に生活が充足しているだけのことになってしまいます。日本人は、日本の中に安住しようと思えばできないわけではありません。しかしその場合、日本人の精神性がどんどん弾力性やダイナミズムを失ってしまうのではないかと危惧されます。行き届いた生活環境というものが、現実日本人を甘やかしているのではないかと思わざるを得ない場面によく出合うのですね。

これから若い人たちが、より強く、日本の文化のすばらしさを自己発見していくために、必要なもの、求められるものは何でしょうか。

青柳先生 日本の文化のよさを海外の人たちに理解してもらうためには、まず自分たちが日本の文化を理解する必要があります。ぜひ若い人たちには、自信を持って日本の文化や社会をトータルに理解してもらいたいですね。その上で、それを基盤として海外に出てほしい。そして、私たちの国にはこうした文化がある。相手の国の文化のこうしたところを尊重しましょう。

そうした相互理解につながっていけばいいと思います。

例えば、食事をする際、日本でもテーブルが主になりつつあります。そして、和洋折衷の食事をしています。食器にしてもヨーロッパであれば、ほとんどがお皿です。持ち上げることは、ほとんどしません。ところが日本には、お椀があります。そして、手で持ち上げます。海外の場合、持ち上げる食器には取っ手がついています。そう考えると、取っ手のない食器を持ち上げることは特殊なこと。さらに、お椀には掌(たなごころ)につつまこむ温かみがあります。こうした温かみのある器は、世界にもなかなか存在しません。しかし、その形が日本社会には溶け込んでいます。

亀山学長 そうですね。目の前のものを当たり前と思わないで、客観視することが大切ですね。しかし、自分たちの文化に対しては、自覚的になることが難しい。自覚的であるためには、どうすればいいのでしょうか。

青柳先生 文化とは本来、空気のようなもの。自然にあることが当然のように溶け込んでいるものです。しかし、グローバル化、多様性の中では、意識せざるを得ない。まずは、自分の文化から意識の表面にあげるよう、日頃から心がけるしかないと思います。日本の文化のよさはもちろん、特徴、例えば日本の文化には弱さがあるんじゃないとか、意識すること。そうすれば、他の国の文化も理解しやすくなるのではないのでしょうか。

言語を学ぶことによって、違う文化の本質が理解できる

亀山学長 次は、青柳先生から外国語の学びについてのご意見を伺いたいと思います。

グローバル化が進行していく中、日本の文化をより世界へ発信していこうとした場合、基本はやはり英語を通して発信していこうとなります。グローバルな言語としての英語の役割が、とても大きいことに間違いはありません。

そのことを踏まえ、学長という立場から発言させてもらうと、英語というのはベースになるもの。その学生の将来に微妙に影響を与えていくのが、むしろ英語の次に選択した言語ではないかと考えることが多いのです。

かつて1960年70年代は、今ほどに英語の役割も大きくはありませんでした。各地域の言語を通して、日本は販路を拡大し、高度経済成長を遂げました。つまり、その時代のグローバル人材とは、むしろ各地域の言語に精通していた人材を意味していたわけです。

今は、非英語圏の人々とも英語によって理解しあえる部分が増え、圧倒的に多くなりました。けれど、英語に加え、さらにもう一つの外国語を学ぶことにどのような意義があるのか、価値があるのか。先生ご自身の体験に照らして、どのようにお考えですか。

青柳先生 英語は圧倒的な国際ツールとして必要不可欠な

ものになっていることは間違いありません。当たり前のことになっているため、自分に付加価値をつけようとするのであれば、もう1ヶ国語、2ヶ国語、身につけておくことがグローバル化の中では必要でしょう。

なぜならば、それぞれの言語には、文化や概念、いろいろなものが集約されています。多言語を身につけることで、おそらく英語圏だけではない違う文化の本質が理解できるのではないかと思います。

つまり、多言語を身につけること、理解できる言語を増やすことこそ、多様性、グローバル化に対応した自分になることです。そういう意味で、自分を言語で多面体にしていくことが、これからますます重要になっていくのではないのでしょうか。

亀山学長 例えば、アジアの地域それぞれの国には、それぞれの民族があって、それぞれの言語が存在します。文化的に決して高い水準にあるとはいえないそれらの国々の言語を勉強することにどのような意味があるのか、そして今の若い人たちが学ぼうという気になるためにはどうしたらいいのか、を考えるとあります。私が英語以外の言語を積極的に学んでほしいと思う理由の一つは、多様性が追求される今日において日本の将来を考えた時、まずそれらの言語にある程度習熟した人材が一定数いなければ日本の繁栄そのものがありえないと考えるからです。

具体的には、それぞれの地域の人々と濃密な、根底的なコミュニケーションをとるためには、その地域の言語が重要であるということです。英語だけのコミュニケーションでは、ステレオタイプな文化の表層部しか見えてこない。隠された何かが見えてこないと思います。私としては、情報収集できる程度の語学力が身につけば、多様性の理解にもつながると考えています。また、十分な情報を得ることができないにしても、それまでの支配的なイデオロギーを相対化できる視点獲得できる、そのように思います。

新たに設立する「世界共生学部」においても、やはりベースは英語です。そしてさらに世界の6つの地域の歴史や文化を、それぞれの副言語で学んでいきます。ただし、言語に特化してひたすら言語の構造を学ぶというのではなく、地域の言語を地域の文化の言語として学ぶ。そういう新しい外国学のスタイルを追求したいと考えています。それがどれくらい有効かということは、日本がどのような多文化社会、平和的な共生社会を実現していくかという点にかかっていると思います。

移民は、これからの日本が直面する課題の一つ

亀山学長 ところで、アメリカやドイツなどは、移民を受け入れ、一種の異種交配によって国力を強めてきました。一方で日本は、先生のおっしゃる通り、これまでモノカルチャーの道を歩んできた国です。現在、少子化が進む中、先生は移民の間

題に対してどのような視点をお持ちですか。

青柳先生 将来的には、日本もかなりの数の移民を受け入れざるを得なくなるのではないのでしょうか。ただ、激変してしまうと大きなストレスになります。緩やかにしていかなければいけません。

日本は環境立国を掲げ、かつては1000万人届かなかった海外からの観光客が、今や2000万人に達しようとしています。こうした海外からの日本訪問者が、将来の移民受け入れの前段階の訓練になると考えています。

少しずつ海外の人と接する機会が増え、さらに増えてくると、様々な摩擦が生じてくるでしょう。その摩擦をどううまく処理していくのか、どれだけできるのか、取り組んでいかなければいけない時が訪れます。それを移民受け入れの準備段階としてとらえる必要があります。

今以上に観光客が増え、各地域でキャパシティを超え、摩擦が起こった時、知恵を絞り解決していく姿勢。そうした経験を積み重ねることで、ある程度の移民を受け入れられるようになるのではないのでしょうか。

亀山学長 移民さらには難民の受け入れということになれば、日本の場合、おそらくアジア、中東からが基本になるでしょう。その時、共生というものの真の意味が問われます。また、精神的なキャパシティも求められてくると思います。

言葉や宗教上の障害をうまくコントロールする必要があるでしょうし、ハードルが幾重にも立ちちはだかるでしょう。それを何とか超えて安定した社会を構築していかなければなりません。

しかし世界各地、例えばヨーロッパのフランスではテロも発生しています。差別に対する不満が根深く渦巻いている証です。青柳先生は、今の段階で、将来の日本における移民社会をどのようにイメージしておられますか。

青柳先生 正直なところ、今はまだイメージできませんね。日本の社会は、ずっと日本人だけの社会を中心として築き上げられてきました。だから、文化的な揺さぶりに弱いのではないかとされます。私たち日本人は、健全で強靱なソフトとしての社会を構築するにはどうすればいいのか、もっと真剣に考える



亀山郁夫先生

必要に迫られていると感じています。

例えば、少子化問題。ヨーロッパの国々の中には、日本のように少子化問題に直面した国もあります。しかし、問題を把握した時点で対策を講じ、少なからず現状維持、または緩やかではあるものの上昇傾向に転じた国もあります。ところが日本はどうでしょうか。以前から問題を把握しながら、対策を打たずに今日を迎えようとしています。

実は、こうしたところに日本の社会の弱さがある。一度、構築し直して、違う要素が入ってきて揺るがないストラクチャーを構築しなければいけない。日本は、そうした時期になっているのではないのでしょうか。

「詰め込み」と「ゆとり」 教育には両面が必要

亀山学長 移民、難民の受け入れを考えた時、問われるのは受け入れる側、つまり日本人の寛容と忍耐力です。青柳先生がおっしゃったように、揺さぶりに弱い社会構造も含め、私自身が危惧していることは、日本人が移民を受け入れた際のストレスに耐えていけるのか。日本人の精神的エネルギーがそのストレスで失われ、壊れてしまうのではないかとことです。

これから社会を担っていく若い人たちが、新たな次元でのグローバル社会で精神的に強く生きるためには、何が必要でしょうか。どのようなプロセスが大切でしょうか。青柳先生のご意見をお聞かせください。

青柳先生 何年前のことになりますが韓国を訪れる機会がありました。その時、韓国の受験勉強は日本とは桁違いの大変さだと聞きました。大学に入学する学生は、ひ弱な印象です。日本ではよくモヤシのようといわれますが、そのモヤシよりもっとひどい。しかし、韓国には徴兵制があるため、軍隊を経験します。そこで遅くなって帰ってくる。もちろん、軍隊を讃美しているわけではありません。

その一方で日本は、清潔で、安全・安心な社会。つらい局面に会った時、どうサバイバルしていけるのか、経験を積み場がありません。この経験の差は大きいでしょう。日本社会が抱える大きな課題の一つであることは確かですね。

亀山学長 私自身、日本人の若者の精神年齢が、中国や韓国の若者に比べ、幼いような気がしています。もちろん、社会的政治的環境の影響もあるに違いありません。しかし、学生が海外へ一年留学し、それだけで遅くなって帰ってくるのかと問われると、ちょっと疑問符がついてしまう。精神面というよりもむしろ知的な側面でのプラスアルファがなくてはならない。

それと、精神的なタフさ、遅しさは、一部の限られた人間ではなく、マジョリティーを占めるぐらいの人が持っていないといけないと思います。

そこで結局は、教育のあり方が重要ではないかと。徹底して知識を「詰め込む」昔型の教育は、精神的なタフさがある

程度養ってきたように思います。しかし一方で、「ゆとり」がないと同時に育つべきものも育たないのではないかと。じつは私の教育上のモットーは、「よく学び、よく眠れ」なんです。

ではこの矛盾をどう解決するか。私は、「詰め込み」も「ゆとり」も、両面あってしかるべきと考えています。その一方だけでは、いけない。

今、日本では人間一人ひとりの本来的な力、人間的な力も推し量れる入試制度が導入されようとしています。そのことを私は、ある程度評価できると考えています。

青柳先生は、昔型の厳しい時代の教育のあり方を経験してきたわけですが、果たして今の若者が本当に強くなれるのか、耐えられるのか、どう思われますか。

青柳先生 私が受験勉強に取り組んでいた時代よりも、今は栄養状態もいいですし、様々なファシリティにも恵まれています。十分に耐えられるでしょう。個人的には、どんどん勉強させていいと思います。

負荷をかけられた中で、自分自身の抵抗力とか、精神力とか、バネとか、育っていけば最高です。

10代が一番伸びる時ですよ。その時に「詰め込み」でもいいので勉強しておいた方がいいと思います。中途半端が一番ダメ。日本の教育方針は、まだ甘いような気がしてしまいますね。

亀山学長 私も受験勉強に苦しんだ一人としていけば、「詰め込み」に大賛成です。一度、頭に入れておけば、将来、役に立つ可能性がありますから。青柳先生は、何か役に立ったと実感された経験はありますか。

青柳先生 イタリアでの経験ですが、ヨーロッパの考古学者は三角関数ができないんですね。測定の度に測量士をわざわざ連れてきます。ところが私たちは、一人です。高校生の時に学んだ数学や物理の知識が役に立った経験は何度もありますね。

亀山学長 そもそも私が音楽にのめり込んだのは、詰め込み、詰め込みの勉強から逃れたいと思ったからです。高校3年生まで、本当に音楽ばかり聴いていました。ところが、このままでは大学に合格できないと思い、フランクの二短調交響曲でしたか、あれを最後にもう音楽を聴くのを止めようと決意し、勉強に集中しました。眠りから覚めたわけです。

それから歳月を重ね、40代、50代になって、いろいろな人と接する機会、出会う機会がある中、これまでに聴いてきた音楽の知識がとても役に立つんですね。音楽が私の血となり、肉となったおかげで、人との出会いをうまくつくってくれていると改めて感じました。

「詰め込み」式の勉強には、芸術の世界はなかなか入りこめません。ですから、「詰め込み」と「ゆとり」、2つをうまく教育のシステムの中に組み込みたいと思ってきました。

青柳先生 10代、20代に学んだことは、すぐに身につきますよね。年齢を重ねてくるとそれが実に羨ましい。若い人たちは、時間を大切に吸収し、詰め込みでもいいから様々な知識に接することが大切です。そうすれば、将来、その知識が役立つ時が来ると思います。

教える側と教わる側の信頼が、 次の世代の宝を育てる

亀山学長 青柳先生は、これまで数多くの芸術体験をさせてきたと思いますが、これまでで最も印象深い体験はどのようなものだったのでしょうか？

青柳先生 いろいろな体験がありますが、亀山学長が音楽について語られていたので、私も音楽に関する体験をお話しましょう。

私が40歳ぐらいの頃だったと思うのですが、ベルリン市政700年祭が開催され、招待されることになりました。そして西ベルリンに滞在しているわけですが、東ドイツですばらしいオペラがやっていると聞き、滞在中何度も見に行きました。そこで観衆と音楽が一体となっているのを目の当たりにした時は、やはり感動しました。西ベルリンからすれば、東の人々は貧しい、着ているものも違うのですが、観衆はオペラに陶醉していました。それを見ていた時、音楽の力はすごいと実感しました。

亀山学長 やはり抑圧されていたことが、音楽に強く向かわせたという側面もあるのでしょうか。私が受験勉強から音楽にある意味で救いを求めたように。

私は幼い頃、6人兄弟の末っ子で、現実の生活の中では満たされないものを抱えていました。そのこともあって、おのずと現実とは違うものに憧れを持ち、私の場合、それが英語の独習であり、文学への接近でした。

現実の世界では見ることのできないもう一つの世界に、自分の出口、満たされないものを満たしてくれるものを求めたのだと思います。共産主義政権下の東ドイツの人たちにとっては、オペラが出口だったのでしょね。

青柳先生 みんな真剣に、興奮して見ていたことを鮮明に覚えています。

実は、私の母は、私と弟を音楽家にしたかったんですね。ところが私は、聴くのは好きなのに、楽器を演奏するのが嫌い。弟は、母の期待に応え、今は音楽大学で教えています。そうした環境でしたから、音楽や美術にふれる機会に恵まれていたことは確かですね。

亀山学長 青柳先生の体験のように政治的な抑圧まではいかななくても、様々な抑圧が芸術に向かわせる要素の一つになっていると思います。

そこで現代に目を向けると、インターネットの時代になり、抑圧がかなり解かれて、精神的なものに対する欲求が弱まっているのではないかと。先生はどのように感じられていますか。

もちろん、それぞれの時代には、その時代ならではの抑圧があると思います。はたして今の時代、抑圧からの解放、自己解放が、芸術的な体験の希求に向かっているとお考えでしょうか。

先生は楽観的ですか、それとも悲観的ですか。

青柳先生 音楽や文学が深まっていくには、フレーム、枠が必要ではないでしょうか。抑圧もその一つだと思います。

今の日本社会は、一見、フレームとか、抑圧がないように見

えます。しかし、柔軟で、何層もの薄いものがある、真綿で締められるような抑圧感が存在していると思います。特に、若い人たちの間には、将来の年金不安、膨らむ一方の財政赤字、終身雇用制度の崩壊など、二重三重、さらにそれ以上に締めつけられています。

ところが問題なのは、若い人たちが抑圧と感じていないことです。抑圧と感じていないので、瞬発力がない。抵抗力も発揮できない。私は、かなり危うい状況だと思っています。

亀山学長 先生は不安を感じられているということですね。
青柳先生 そうですね。単純な抑圧であれば、対抗のしようがあります。しかし、姿が見えなければ、どこに手を振り上げていいのかもわからない。

亀山学長 つまり、幾重にも真綿で締めつけられているような、跳ね返すことが不可能な抑圧が存在するという事ですね。そうした抑圧の場合は、その反発はなかなか芸術に向きにくいのではないかと。その場合、どうすればいいのでしょうか。その点、どのようにお考えですか。

青柳先生 結局、教育というところに戻るのではないのでしょうか。

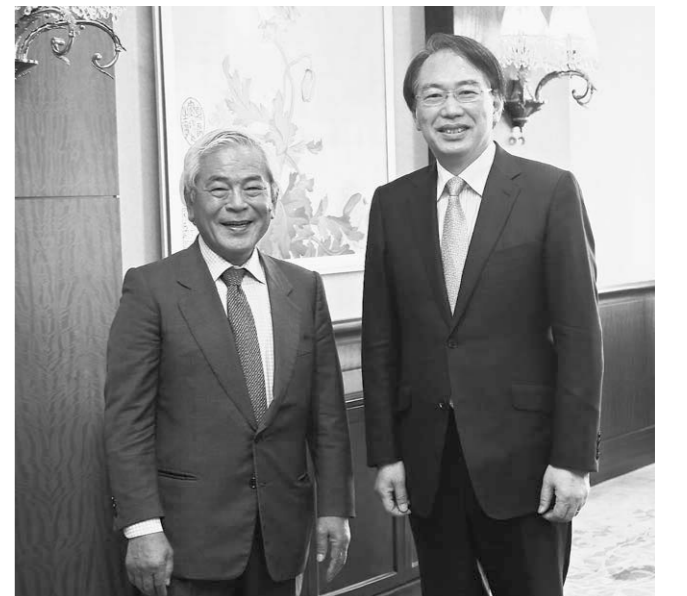
私は、小中高の先生を無条件で尊敬しようといいたいですね。つまり、先生を尊敬することで、教育というものが大切にされる。教える先生たちも、意気を感じて指導に取り組む。それが次の世代の宝になっていく。そうなることを願っています。

亀山学長 つまり、信頼ですね。教える側と教わる側の。それがなくとも何も生まれません。

青柳先生 おっしゃる通りです。信頼がないところから始まっても、いい結果に結びつくとは思えません。

亀山学長 青柳先生、本日は貴重なご意見を伺うことができ、とても参考になりました。本当にありがとうございました。

青柳先生 こちらこそ、ありがとうございます。「世界共生学部」が、これからの社会を担っていく人材を一人でも多く育ててくれることを期待します。



修了式・卒業式 学位記授与式



卒業生としての誇りを胸に秘め、
長い人生を着実に歩み続けてほしい

名古屋外国語大学 — 2015年度 大学院修了式・大学卒業式 —
(卒業生737名・修了生10名、計747名の旅立ち)

2016年3月22日(火)、本学アリーナにおいて、2015年度名古屋外国語大学大学院修了式及び大学卒業式が執り行われました。この日、外国語学部531名、現代国際学部206名の計737名の学部生が卒業し、大学院博士前期課程10名の大学院生が修了し、新たな一歩を踏み出しました。亀山学長は式辞の中で、『星の王子様』の作者サン・テグジュペリのエッセー集『人間の大地』の中で綴られた一飛行士アンリ・ギヨメのエピソードを紹介。グローバル化という厳しい環境の中で、大きな運命共同体の一員としての意識を持ち、生き抜く責任を自覚しながら、これからの長い人生を着実に歩み続けてほしいと言葉を贈りました。そして、「皆さんの活躍一つひとつが、大学の歴史を作り、その基礎を固めていくのです。どうか、本学に学んだ、そして卒業したという誇りを、いつまでも大切に胸に秘め、その自覚を持って生きてほしい」と語り、それぞれに新たな旅立ちを迎える修了生、卒業生に向けて、期待と励ましのメッセージを贈りました。

積極的な姿勢と協働の精神をこれからも持ち続けよう

名古屋学芸大学 — 2015年度 大学院・大学・短期大学部学位記授与式 —
(学芸大652名・大学院12名・短大78名、計742名の船出)

2016年3月21日(月・祝)、本学アリーナにおいて、2015年度名古屋学芸大学大学院・大学・短期大学部学位記授与式が挙行されました。新しい船出を迎えたのは、大学院生12名(博士後期課程3名、博士前期課程4名、修士課程5名)の修了生、大学は管理栄養学部168名、メディア造形学部268名、ヒューマンケア学部216名の計652名の卒業生、短期大学部は78名の卒業生です。井形学長は式辞の中で、「諸君が学んだものは、多方面の学識、技術に加え、社会の要請に応える能力、よき市民としての資質、そして人類のために貢献できる国際人としての行動力です。未知の課題に対応する積極的な

姿勢と協働の精神を忘れずに、いつまでも持ち続けてください」と述べました。さらに、専門分野の違いがあっても、本学で学んだ連帯感を忘れず、これから始まる新しいステージにおいて互いに励まし合い荒波を乗り越えてほしいとエールを贈りました。



困難に直面した時こそ、 前向きな思考で挑んでほしい

NSC専門学校 — 2015年度 合同卒業式 —
(NSC4校の合同卒業式を挙行)

2016年3月17日(木)、名古屋市公会堂において、2015年度NSC専門学校合同卒業式が執り行われました。節目の日を迎えたのは、名古屋ファッション専門学校68名、名古屋総合デザイン専門学校72名、名古屋栄養専門学校65名、名古屋製菓専門学校175名、4校で380名。卒業生を前に中西理事長は式辞の中で、変化の激しい社会情勢にふれつつ、新しい時代の方向性を読みとり、現状に満足することなく絶えず向上

を目指して努力を重ねることが重要。能力・意欲が的確に評価される時代になってきていると述べました。また、中国の故事『疾風に勁草を知る』という言葉を用いて、「人も困難にぶつかって初めて、その実力・真価が見えてくる、困難を乗り越えることで人間として成長していきます」と語り、卒業後、困難に遭遇した時こそ、鍛錬のチャンスを与えられているだと前向きに考えてほしいと、卒業生への想いを言葉に託しました。

入学式



高い志に向かい、
毅然たる心構えを持とう

名古屋外国語大学 — 2016年度 大学院・大学入学式 —
(亀山学長が新生1,112名にエール)

2016年4月1日(金)、本学アリーナにおいて、2016年度名古屋外国語大学・大学院入学式が執り行われました。晴れの日を迎えたのは、外国語学部726名、現代国際学部366名、3年次編入の4名の計1,096名の学部生、大学院生16名(博士前期課程15名、博士後期課程1名)の総勢1,112名です。亀山学長は告辞の中で、中国の故事成語『桃李成蹊』、明治期の日本で使われた『去華就実』という言葉を用いながら、建学の精神『人間教育と実学』の目指す人間像について語りました。そして、「めでたく本学への入学を許可された皆さん。桃の花の香りを愛でる気持ちを忘れず、桃の花の香のような気品にあふれる人間になってほしい。と同時に、外見的な美しさにこだわらず、現実の社会で役に立つ人間になるという、毅然たる心構えをもっていただきたい」と激励の言葉を贈りました。そして、私たち教職員一同も、皆さんのよりよき学生生活のために全力を尽くすと決意を伝え、告辞を締めくくりました。

自ら学び育っていく決意を持って第一歩を

名古屋学芸大学 — 2016年度 大学院・大学入学式 —
(新生734名を迎えて入学式を挙行)

2016年4月3日(日)、本学アリーナにおいて、2016年度名古屋学芸大学大学院・大学の入学式が挙行されました。新たな一歩を踏み出したのは、大学院17名(博士後期課程2名、博士前期課程8名、修士課程7名)、管理栄養学部172名、メディア造形学部300名、ヒューマンケア学部239名、3年次編入6名の計734名の総勢751名です。井形学長は告辞の中で、「これから始まる大学生活は、自分の力で専門知識を身につけながら人生をどう切り開いてゆくか、先生、先輩の背中を見な

がら自分で学び育ってゆくことが求められます」と語り、新しい課題には明確な教科書はなく、諸君が英知をつくして自らの手で解決の道を創造していかねばならないと決意を促しました。本年度より本学映像メディア学科の協力により演壇上の正面スクリーンにて学生生活の紹介や入学式の映像を写すことができ、いっそう華やかな入学式を執り行うことができました。



積極的な姿勢で学び、 専門分野の実力を磨こう

NSC専門学校 — 2016年度 合同入学式 —
(NSC4校の合同入学式で新生を迎える)

2016年4月8日(金)、2016年度NSC専門学校4校の合同入学式が執り行われました。この日、新たなスタートを飾ったのは、名古屋ファッション専門学校83名、名古屋総合デザイン専門学校57名、名古屋栄養専門学校80名、名古屋製菓専門学校187名、4校で407名。中西理事長は、画一的な価値観・道徳観では計り知れないことが多く、個々の多様性が重要視されてきていることにふれ、「NSCは、皆様方一人ひと

りの多様な個性・自分らしさを尊重し最大限に伸ばしていただくとともに、新しい時代にふさわしい最新の技術・技能を身につけていただけるよう、全校をあげて力を注いでまいります」と決意を表明。中国・漢代の『礼記』にある『善く問いを待つ者は、鐘を撞くが如し』を引用し、自ら積極的に学ぼうとする姿勢を大切に、専門分野で実力を身につけることに邁進し、そして生涯の友を見つけてほしいと語りました。

高瀬教授インタビュー

今、伊勢志摩サミットを振り返り

名古屋外国語大学現代国際学部教授・学長補佐

高瀬 淳一

(名古屋外国語大学世界共生学部設立準備室長)

Profile

名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科・名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科教授、早稲田大学総合政策科学研究所研究員
1958年、東京生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、早稲田大学大学院政治学研究所博士前期課程修了(政治学修士)、博士後期課程単位取得後期退学
1994年、名古屋外国語大学国際経営学部専任講師。助教授を経て2003年より教授。

著書(単著) 『サミットがわかれば世界が読める』(名古屋外国語大学出版会)
『政治家を疑え』(講談社 2009年) 『できる大人はこう考える』(ちくま新書 2008年)
『不利益分配』社会一人と政治の新しい関係』(ちくま新書 2006年) 『情報政治学講義』(新評論 2005年)
『武器としての(言葉)政治』—不利益分配時代の政治手法—』(講談社選書メチエ 2005年)
『サミット』(声書房 2000年) 『情報と政治』(新評論 1999年)
著書(共著) 『New Directions in Global Political Governance』(Ashgate Publishing Company 2002年) など多数。



日本で唯一のサミット研究者になられた経緯についてお聞かせください。

そもそも私は学生時代、政治リーダーのコミュニケーション行動を研究していました。今も、主たる研究分野は「情報政治学」です。

サミット研究をはじめたきっかけは、1993年に名古屋外国語大学に国際経営学部が設置されることになり、専任講師に内定をいただいたことです。私は、名古屋外国語大学にふさわしい教員になろうと思い、国際政治分野でも一つ専門領域を持つと決めました。そこで着目した研究テーマがサミットです。

そしてその年、最初の論文である「国際関係の構造的変化と首脳会談の役割」を発表。『愛知女子短期大学研究紀要(第26号)』に掲載していただきました。

1998年には、研究を深めるため、サミット研究が盛んなカナダのトロント大学を訪問。その後、2000年に単著『サミット』、2002年にはトロント大学のジョン・カートン教授と共編で、

『Directions in Global Political Governance』を出版しました。こうした学術書が評価を受け、日本で唯一の「サミット研究者」と認知されるようになり、以来、テレビや新聞・雑誌などでも発言する機会が増え、今日に至っています。



伊勢志摩サミットの期間中は、どのような活動をされていましたか。

私は期間中、国際メディアセンター(IMC)で過ごしていました。中日新聞から記事の依頼を受けていたこともあり、記

者証を借り受けていましたので、中日新聞のブースで評価記事「高瀬教授のサミット現地報告」を三日連続で書いていました。

振り返れば、前回日本で開催された北海道洞爺湖サミットの際は北海道新聞社、前々回の沖縄サミットの際は琉球新報、それぞれ記者証を借り受け、取材・研究・執筆を行いました。新聞記者の気分を味わうのは、これで3度目になります。

最後には、先ほども名前のあがったジョン・カートン教授と対談を行い、記事を書きました。サミット研究の世界的権威である彼とは旧知の仲であることもあり、対談後、IMCの食堂でビールを片手に世間話をして楽しい時間を過ごしました。

新聞はもちろん、テレビなどの出演もあり、多忙な日々を送られていたようですが。

中日新聞では、今年2月から10回の連載となった「高瀬教授のサミット講義」をはじめ、三重県版用の記事や取材コメントも書きました。結局、伊勢志摩サミット関連だけで27回登場しました。そのほか、読売新聞、毎日新聞などを含めると、新聞・雑誌だけでこの半年の間に35回登場したことになりますね。

テレビには、IMCからの生中継で、東海テレビの夕方のニュース番組に4日連続で出演しました。民放の番組らしく、「ミスター・サミット」と呼ばれ、少し照れくさかったです。生中継にも次第に慣れ、リハーサルとは違うアドリブを入れるようになりました。ディレクターの方からは「本番に強い」と好評でしたので、役割を果たせたと思います。

今回のサミットに関係したテレビ出演は、そのほかに全国放送ではTBSとフジテレビ、ローカル放送ではスタジオに出向いた特番4本、VTR



東海テレビ 夕方のニュース番組5月26日

での出演3本。さらにラジオは全国とローカルNHKで話したのに加え、オバマ大統領が来るということで広島ラジオ局からも依頼があり、電話で参加しました。結果、テレビ・ラジオの合計は18本。数多くの仕事をこなしたことになりますね。

様々な仕事をこなす中で、心がけたことは何でしょうか。

テレビや新聞は、まずわかりやすさが求められます。その上で、学術的に正しい情報を伝えることが私の役割です。ですから親しみやすい情報に加え、学術的で意義のある情報を伝えることを心がけました。また、メディアの違いはもちろん、

テレビの場合は放送時間によって、内容が変わります。例えば、新聞ではサミットの解説など理論立てたことを書きますが、テレビではサミットに関する小ネタの情報なども盛り込みます。専門家としての範疇ではありませんが、視聴者に合わせた情報として求められるので、幅広く対応するようにしています。

今、伊勢志摩サミットを振り返り、何か思うところはありますか。

正直なところ、新学部の設立担当者としては、この50回を超えるメディア登場の機会を有効に活用し、大学名はもちろんですが、新学部の名称をPRしたいと思っていました。しかし、残念なことに大学名だけでも文字数が多いため、学部名を入れるのは至難の業でした。

伊勢志摩サミットに関しては、オバマ大統領の広島訪問によって、注目度が下がってしまったように感じます。アメリカ大統領の広島訪問の意義を考えれば「致し方ない」のですが、おそらく三重県民はもう少し余韻を楽しみたかったのではないだろうかと思察します。

三重県の鈴木知事は、私が名古屋外



2016.2.16 中日新聞の連載1回目

国語大学出版会から昨年出したブックレット『サミットがわかれば世界が読める』を線まで引いて熟読し、周囲の記者さんなどにも勧めてくれていました。

知事らの頑張りで、今後、この伊勢志摩サミットの経験が、三重県、ひいては東海地方の活性化につながることを期待したいと思っています。

伊勢志摩サミットには、通訳ボランティアとして学生も参加しています。



参加者の声

名古屋外国語大学
現代国際学部 国際教養学科2年
矢田 叶子さん

伊勢志摩サミットの通訳ボランティアに応募したきっかけは、友人に誘われたこと。以前からボランティアに興味があり、英語も好きです。また、私の地元である三重県でサミットが開催されるというまたとない機会だと思い、迷わず応募しました。

ボランティアの研修で心に残っているのは「おもてなしの心」が一番大切と言われたことです。海外の報道陣の方々が日本に来て初めて接する日本人が通訳ボランティアです。日本の第一印象になる役割であることを意識して笑顔が心がけました。

研修で敬語の表現も練習しましたが、本番では緊張してうまく表現できなかったこともあり。それでも貴重な経験となり、多少自信も芽生えました。

海外の報道陣の方だけでなく、年配の方、足の不自由な方など、いろいろな方と接する機会があり、不便さを感じている方々のことを改めて考えさせられることもありました。ボランティア活動をしていない時でも、気を配りサポートできる人間になろうと思えたことは、私の中の大きな変化です。

今後もこうした機会があれば、積極的にボランティア活動に参加していきたいと思っています。



鈴木三重県知事と面談

高瀬先生著書プレゼント

高瀬先生がサミットをわかりやすく解説した著書「サミットがわかれば世界が読める」(NUFS WORKS:1名古屋外国語大学出版会)を10名の方にプレゼントします。「高瀬先生著書希望」のタイトルで、住所・氏名・職業(学生の方は学校名・学年)・年齢を明記の上、本誌裏表紙のメールアドレスにメールでご応募ください。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選者の発表は著書の発送をもって代えさせていただきます。2016年7月31日(日)までに到着したメールをもって応募を締め切ります。あらかじめご了承ください。

人との出会い、ご縁を大切に、 自分を確立していこう。

名古屋外国語大学 非常勤講師
吉岡 康典 先生



名古屋外国語大学非常勤講師の吉岡康典先生が世界マスターズ陸上競技選手権大会2013年ブラジル大会・2015年フランス大会の110mハードルにおいて優勝、2連覇を達成され、同時にアジア記録・日本記録を樹立されました。先生が陸上競技を通して何を学んできたか、その経験を生かして学生に何を指導し、何を学んでほしいかをお聞きました。

【陸上競技者として現役にこだわる理由は?】

大きくは1年、そして1ヶ月、1日とトレーニングや大会での自身の体の変化が楽しめている。中学生や小学生などの陸上教室での指導の際、口頭で指導するだけでなく自分が動いて魅せたい。なぜなら、陸上競技の楽しさや動きの魅力を自分の体で表現し伝えたいと考えているからです。

私にとって陸上競技とは、私自身と心を成長させてくれたもの。部活動をはじめ、社会人になってからも競技を続ける中で、人との繋がりの大切さを感じています。大会においては、日本国内だけではなく海外での大会にも参加します。その際の言葉でのコミュニケーションには非常に重要性を感じます。私が陸上競技を通して経験・体験できたものは数多くの財産であり、計り知れません。ですから、これからも競技者であり続けたいと思っています。

【大学生を指導する際、心がけていることは?】

「学生との距離を大切に、みんなと一緒に授業を楽しむこと」
様々な場面で学生に声をかけ、コミュニケーションをとっています。そうしていると自然に私も学生たちの中に溶け込んでおり、授業内での指導は口頭というより学生たちと一緒に動きながらの指導と言う場面が多々あります。私の授業を1コマ1コマ楽しんで受けてもらうのが狙いですが、実は私が一番楽しんでいるのかもしれない(笑)。私は私自身が動けると言う強みを生かし、動きのある授業を展開していきたいと考えています。動きながらの指導は、「見せる」より「魅せる」。私のキーワードです。

指導方針は、「まずやってみよう」です。誰にでも得意、不得意はありますが、とにかく「挑戦」をしてほしい。その中で、最初からできればラッキー、できなければそれを何度も繰り返し練習する。そうしていくうちに、やり方がわかり克服・習得をします。例えば「いい記録が出た」「うまくシュートが打てた」「いい走りになった」等々、個々での変化は様々なもの。私は学生たち自身が感じる変化を楽しんでいる姿を期待したいと思っています。コミュニケーション

吉岡康典プロフィール



昭和50年5月19日生まれ。名古屋外国語大学非常勤講師(体育)。陸上競技 110mハードルが専門種目。2013年ブラジル・2015年フランスで行われた世界マスターズ陸上競技選手権大会110mハードルにおいて優勝、2連覇を達成(ブラジル M35(35~19)、フランス M40(40~44))。同時にアジア記録・日本記録を樹立。世界ジュニア陸上選手権大会、TOTOスーパー陸上、IAAF国際GP大阪大会日本代表。2011年には日本陸上競技選手権大会において、短距離界では連続最多出場(17回)を達成。文科省事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」に参加。陸上教室や指導者講習会などでも講師を務め、「健康」をテーマに、誰にでも簡単にできる健康作り運動を実施。

ションをとるのに大切な言語に関しても、最初から話せる人はいません。しかし、話せるように繰り返し勉強し、表現をする。体育では体で表現することが多いですが、全てにおいて「挑戦」してほしいと思います。

【最後に大学生に向けてメッセージをお願いします。】

「人との出会い、ご縁を大切にすること。私自身がこれまでの学生生活や競技者生活で得たもの、これからの人生においても非常に大切なものです。自身の行動によりそこから新しい発見や出会い、ご縁が生まれるでしょう。それらを通して理想の自分を見出し、自分像を確立してほしいと思います。

「目標を持つ」こと。私は学生時代、陸上競技を通して様々な目標ができました。それを達成するために、色々な策を出し行動に移しました。失敗することもありましたが、色々変化させながら進んで行きました。しかし達成した時の嬉しさや感動は、失敗や苦勞を忘れさせるくらい莫大なもの、今でも私の頭の中(自分史)に残っています。その事をきっかけに大成功に繋がることも否めません。目標とは、決して大きなものである必要はなく、まずは小さな目標を持ち「諦めない」こと。うまくいく時ばかりではありません。その道りは素直にまっすぐかもしれないし、遠回りになるかもしれない。諦めずその道りを歩み続けてみてください。そうすれば必ずどこかに変化が表れます。その変化こそ目標へ近づけた証です。学生生活の中でも社会に出て、途中で諦めず「挑戦」し、頑張っていってほしいと思います。

※世界マスターズ陸上競技選手権大会(World Masters Athletics Championships)
世界マスターズ陸上競技選手権大会は、中高年の参加者によって競われる陸上競技大会で、世界マスターズ陸上競技協会が主催する。35歳以上の陸上競技選手を対象とし、5歳刻みのクラスに分かれて競い合う。1975年に第1回目となるカナダ大会(トロント)が開催され、日本では1993年に第10回大会を宮崎県で開催した。今年(2016年10月)は第22回大会がオーストラリアのパースで開催される。



上海で「第二回日中学生交流会」を開催 中国語学科の奥谷伶央君が発表



司会を務める奥谷伶央君(右から2人目)
=同済大学で

「第二回日中学生交流会」が5月28日、上海の同済大学で開催された。昨年10月に名古屋で名古屋外国語大学などの主催により行われた国際シンポジウム「日中大学生討論会」(中日新聞社など共催)を受け継いで実現した。名古屋外国語大学中国語学科4年の奥谷伶央君をはじめ両国の学生計18人が「日中関係における若者学生の考え方と役割」をテーマに、突っ込んだ討論を展開した。

討論に参加したのは名古屋外国語大学のほか、東京外国語大学、愛知大学、愛知県立大学から派遣された学生4人と、同済大学に留学中の日本人学生4人(桜美林大学、立命館大学、龍谷大学、福岡女子大学)、それに同済大学の院生8人。同済大学アジア太平洋研究センター主催、同済大学国際文化交流学院と名古屋外大の協力による。昨年はホテルでの公開討論会だったが、今回は大学会議室での学生のみによる方式となった。

冒頭に蔡建国・同センター所長が「日中関係は二千年の友好往來の歴史があるが、近年には問題も起きている。両国の学生が直接向き合って本音で話し合い、議論を深めてほしい」と挨拶。続いて、第一回の実行委員長を務めた川村範行・名古屋外大特任教授が日本側を代表して「名古屋から上海へと大学生の討論会が引き継がれ、意義深い。両国の政治外交面では課題もあるが、時代を担う若者たちが相互交流を通じて相互理解を促進するよう期待する」と述べた。

三時間を越える討論では、全員がそれぞれ事前に提出した小論文をもとに考えや意見を中国語で発表した。第一部「日中関係についての考え方」では、トップバッター役の名古屋外大中国語学科四年の奥谷伶央君が「学生が中国へ行き、色眼鏡なしで等身大の中国を知り、その経験を次世代に伝えて



第二回日中学生交流会に参加した学生たち(後列右から5人目が奥谷伶央君、その前が川村範行教授)

社会でも活かしていくことが今後の日中関係に重要であり、政治の力をも超えることになる」と主張した。同済大学政治国際関係大学院の楊

向悦さんは「日中間の歴史問題は日中関係の全てではなく、両国は対立を避けてアジアと世界の平和のために共通利益を求め、積極的に対話と協議を通じて現実の和解を行うべきである」と指摘した。自由討論では、中国側は「日本のメディアでは中国の環境汚染などマイナスの報道が多く偏っている。メディア報道に左右されないようにしてほしい」と注文。また、「日本国民の過半数が安保法制に反対しているのに、なぜ安倍政権は支持されるのか、政府と国民の矛盾がわからない」との疑問も出た。日本側は「日本へ行く前と後とは日本の印象はどう変わったか」との質問が出された。

第二部「日中関係における若者の役割」では、奥谷君が司会役を務めて討論を積極的にリードした。中国側からは「両国の学生は日本と中国の双方の歴史を偏りなく客観的に知り、周りに伝えていく必要がある」との提言が出された。日本側は「日中関係を担う当事者としての自覚を持ち、情報を鵜呑みにせず、上面だけで誤解せず、お互いを正しく理解しようとする意識を持つことが若者の使命だ」と指摘した。日中双方からは、中国語と日本語をお互いに勉強してネットで若者同士の交流を図るという提言が出された。

最後に、蔡建国所長が「中国で日中両国の学生がこのように膝付き合わせて真剣に討論を行ったのは初めてのことだ。両国はお互いに切っても切れない存在であることが認識できたと思う。日本へ帰国したら日中友好の役割を果たしてください」と結んだ。

日本からの学生は留学生会館に二泊し、学生食堂や大学近くの大衆レストランで食事を体験。討論のほか、魯迅記念館や上海博物館、豫園などを中国人学生の案内で見学し、貴重な体験となった。川村範行特任教授(兼同済大学客員教授)が今回の顧問として日本側派遣学生の取りまとめに当たり、上海で日本人学生の指導に当たった。

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)

同済大学(Tongji University)は上海市の北部にあり、1907年に創立。現在は総合大学として国家重点大学に指定されている。学生・院生・教職員併せて約3万人。中国科学技術大臣の万鋼氏は同済大学学長から就任している。(外国語学部特任教授 日中関係学会副会長 川村範行)



上海の豫園を見学する日本人学生(右から2人目が奥谷伶央君)

協定校一覧

NUFS Partner Institutions

協定校
90大学
2016年6月現在

●イギリス
NEW ノーサンブリア大学
パース・スパー大学
ミドルセックス大学
ウィンチェスター大学
セントラル・ランカシャー大学
ケント大学
ポーツマス大学
オックスフォード・ブルックス大学

●フランス
NEW リール第3大学
パリ第7大学
トゥールーズジャンジョレス大学
アンジェカトリック大学
リヨン第3大学
ホルドーモンテニュー大学
グルノーブルアルプ大学
エクス・マルセイユ大学
カーン大学
マルヌ・ラ・ヴァレー大学
パリ第4大学フランス文明コース
リヨントリック大学
ニース大学
トゥールーズカトリック大学

●ドイツ
NEW マールブルク大学

●イタリア
NEW トリノ大学
NEW サッサリ大学

●オーストラリア
サンシャイン・コースト大学
グリフィス大学
ニューカッスル大学
オーストラリアン・カソリック大学
サウスオーストラリア大学
タスマニア大学
アデレード大学
マッコリー大学

●ニュージーランド
マッセイ大学
ワイカト大学

●アイルランド
リメリック大学

●ベルギー
ブリュッセル自由大学

●中国
北京外国語大学
西安外国語大学
大連外国語大学
天津外国語大学
上海外国語大学
大連大学

●台湾
銘伝大学
国立台湾大学
文藻外語大学

●韓国
釜山外国語学校
全州大学校
又松大学

●ベトナム
ベトナム貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ外国語大学

●カナダ
トロント大学
モントリオール大学
メディスンハットカレッジ
アルゴマ大学
セルカークカレッジ
レスブリッジ大学
ユーコンカレッジ

●アメリカ
NEW デンバー大学
NEW カリフォルニア州立大学ベイクスフィールド校
NEW ハワイ・パシフィック大学
NEW プレシディア大学
NEW カリフォルニア大学リバーサイド校
NEW バイクビル大学
NEW パシフィック大学
NEW サザンオレゴン大学
NEW グランドキャニオン大学
NEW モントレー国際大学
NEW テネシー大学チャタヌーガ校
NEW カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
NEW ノースキャロライナ大学
NEW グリーンスボロ校

●メキシコ
グアダハラ自治大学

●ノースアイランドカレッジ
セントローレンスカレッジ
オカナガンカレッジ

●ウェスタン・ワシントン大学
クレムソン大学
コースタル・キャロライナ大学
シンシナチー大学
アイオワ大学
ジョージア・サザン大学
カーソンニューマン大学
キャンベルビル大学
リンゼイ・ウィルソン大学
テキサス大学サンアントニオ校
カンサス州立大学
ニューメキシコ州立大学
エバンスビル大学
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
ノースキャロライナ大学シャーロット校

2016年度1期 海外留学生出発

今学期は195名の学生が海外留学へ出発しました。1月18日壮行会にて、亀山学長から激励のお言葉をいただき、学生達は大きな期待と少々の不安を胸に、1月下旬から6月初旬にかけて、それぞれの留学先へと旅立ちました。



壮行会

2016年度1期出発者 留学先国別

アメリカ	49名	ニュージーランド	6名
カナダ	47名	韓国	2名
イギリス	10名	フランス	9名
アイルランド	1名	中国	16名
オーストラリア	53名	台湾	5名
計198名		※2か国留学者3名含む	

2015年度海外派遣留学学生数

昨年度は、400名近い学生が海外へ派遣されました。
計397名

海外留学生 《おいしい話 フランス編》

トゥールーズカトリック大学に留学中の、フランス語学科・伊藤美咲さんからのレポートです。

こんにちは。フランス語学科4年の伊藤美咲です。私は現在、フランスの南に位置するToulouseという街に留学しています。私はフランス料理が大好きなのですが、中でもToulouseの名物であるle cassouletという料理が大好きです。作る人によって材料は異なりますが、Toulouse特産のソーセージ、鴨肉、たっぷりの白インゲン豆を煮込んだアツアツの煮込み料理です。それからToulouseではスマレも有名で、なんとスマレを使ったお菓子があります！この間チョコレートを買ったので食べたら、カシスのような甘酸っぱい味でとてもおいしかったです。他にもToulouseは鴨やフォアグラも有名でグルメにはたまらない街です！まだ帰国まで時間があるので、たくさんおいしいものを探そうと思っています。(フランス語学科4年 伊藤美咲)



カスレ



ガロンヌ川



スマレのチョコ

UCR 特別留学 《ヒルトン系リゾートコース3期生帰国報告会》

5月9日(月)、表題グループの帰国報告会が行われました。報告会は参加した10名一人一人、現地で体験したテーマ別にプレゼンテーション形式で行われました。

前半のUCRでの英語コースにおいてチャレンジ精神で臨んだたくましい様子や、UCRのキャンパスライフを満喫した様子などが語られました。後半のラキントリゾート&スパでのアカデミックトレーニングでは、コーヒーショップ、レストランの接客係、エステ施設の案内係の3種類のいずれかの職種が割り振られ、それぞれの苦労話や自信を持ったこと、やりがいを感じたことなどリアル感満載で語られました。

帰国したばかりにも関わらず、参加者10名全員皆元気いっぱい体験談を語る様子は自信に満ち溢れ、大きく成長した姿を伺い知れました。報告会には将来このプログラムへの応募を考えている学生も参加していて、先輩の体験談を私語一つなく集中して聞いていたことも印象的でした。

続いて行われた懇親会では、この秋から参加することが内定している同プログラム4期生も参加し、積極的に帰国生から生の情報を得ていました。



帰国報告会の様子



懇親会！

代表者海外派遣プログラム

このプログラムは、文字通り本学代表として、最も優秀で適切な学生が厳しい選考を経て、海外で行なわれる特別なプログラムに参加が許される「エリート養成」のためのものです。

2016年も以下のような様々なプログラムがあります。興味のある方は都度、ポータルサイトや学内掲示を確認してください。

- ①ワン・ヤング・ワールド、②ロシアミッション、③ロシア語学短期留学プログラム、④日中大学生討論会、⑤日本中国文化交流協会大学生訪中団、⑥シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ、⑦日露青年フォーラム、等。

※プログラム参加期間中の授業は公欠扱いとなります。参加費用について、個人的経費などを除き不要です。



ロシア人と習字体験



参加者と！(ワン・ヤング・ワールド)

2016年度 名古屋外国語大学 TOEFL (ITP) 実施予定

- 5月7日(土) ●9月14日(水)
- 6月4日(土) ●10月15日(土)

名古屋外国語大学の留学制度を利用した「在学留学」に応募するための条件のひとつに、TOEFL (ITP) のスコア基準があります。本学では、海外へ留学する道が開かれるようTOEFL (ITP) 試験を年4回実施しています。受験料の一部を、大学が補助しています。申込み・問合せ：MARUZEN 語学試験受付窓口(コミュニケーションプラザ1階)

RECORD OF VISITORS

来訪日	機関名	来訪者名
3月18・2日	ディズニー国際カレッジ (アメリカ)	イベッテ・ノーザン氏、ジョニー・パチェコ氏
3月17日	オカナガンカレッジ (カナダ)	キョウコ・ジョーンズ氏
4月11日	アルゴマ大学 (カナダ)	イウンジュン・リヤウカ氏
4月25日	バンゴール大学 (イギリス)	カレン・マイ・ジョーンズ氏
4月27日	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校 (アメリカ)	マイク・マツノ氏
5月12日	テキサス大学サンアントニオ校 (アメリカ)	レネ・ゼンテノ氏、ミミ・ユエ氏
5月18日	ウィンチェスター大学 (イギリス)	デイビッド・ストリート氏
5月18日	サザンクロス大学 (オーストラリア)	クリスティン・マーチン氏、アラキ・カズヒロ氏
5月19日	オーストラリアンカソリック大学 (オーストラリア)	ルイス・ハウイ氏、マギー・スワヌック氏
5月19日	オックスフォードブルックス大学 (イギリス)	藤野華子氏
5月26日	ウェスタンワシントン大学 (アメリカ)	チェリオン・マクマヒル氏
6月7日	リンゼイウィルソン大学 (アメリカ)	ティム・マカルバイン氏

受入れ留学生

世界20か国・地域から120名の留学生

NUFSには、交換留学生の98名と大学院・学部の正規課程留学生22名の計120名の外国人留学生が在籍し、日本語・日本文化、国際ビジネスなどを学んでいます。(2016年5月現在)

アメリカ	37人	カナダ	3人	イタリア	1人
中国	25人	台湾	2人	スウェーデン	1人
フランス	16人	ポーランド	2人	メキシコ	1人
イギリス	9人	ニュージーランド	1人	インドネシア	1人
オーストラリア	8人	キプロス	1人	フィリピン	1人
韓国	5人	ブルガリア	1人	ベトナム	1人
ベルギー	3人	ポルトガル	1人		

二重国籍の学生が二名おり、日本国籍で来日しているため、人数からは抜いてあります。

5月10日から12日にかけて、本学の協定校であるカナダ・メディアスハットカレッジからの研修グループ総勢17名が、日本語や日本文化、日本のビジネスを学ぶために本学に滞在しました。亀山学長表敬訪問においては、一人一人自己紹介を行ない、活発な意見交換をしました。



トヨタ工場見学



華道体験



日本料理体験



亀山学長表敬訪問

日本語教育センター

日本語教育センターでは、留学生が日本の伝統文化を実際に体験できるよう「日本文化実習」を実施しています。今年3月から5月にかけて開講された文化実習を紹介します。



防犯体験



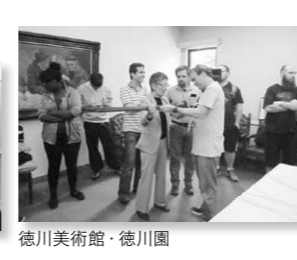
生け花体験



伊賀文化体験



講義「伝統文化」



徳川美術館・徳川園

Hello NUFS!

協定校からの留学生として、日本語教育センターで勉強しているシャルレン・ブジョーさんが、出身大学の紹介をレポートしてくれました。

ボルドー・モンテーニュ大学は、フランス・ボルドー市の南部にあります。ボルドー市は、2014年に「勉強に適した環境の都市」というフランスのランキングでトップ5に入った素晴らしい街です。

ボルドー・モンテーニュ大学には、言語・文化学部だけでなく、美術学部や情報学部などがあり、ラグビーやアスレチック、ジャーナリズムなど、様々なサークルもあります。

トラムと呼ばれる路面電車がキャンパスのすぐ近くを通っているため、20分ぐらいでボルドーの中心部に着きます。そして、キャンパスの近くには海もあるので、気分転換で遊びに行く学生も多いです。

ボルドー・モンテーニュ大学では、学生生活を十分楽しめると思うので、ぜひ遊びに来てください。(Charlene BUGEAUD)



ボルドー・モンテーニュ大学のロゴとキャンパス



ボルドー市の綺麗な街並み



トラムが走るボルドー市の公園



にぎやかなボルドー・モンテーニュ大学

大学説明会を開催しました

2016年5月17日(火) 名古屋外国語大学
2016年5月24日(火) 名古屋学芸大学

名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の大学説明会を開催しました。毎年、年度の初めに高等学校の教員の皆様を招き、本学の取り組みなどをお伝えする会として実施しています。本年度は両大学あわせて200校近くの高等学校の教員の皆様にご参加いただきました。

世界共生学部の開設、「留学費用全額支援」制度、高い就職決定率
名古屋外国語大学

名古屋外国語大学が5月17日に大学説明会を実施しました。

特に本年度は愛知県下の公立、私立のトップ校の参加が特徴的でした。本年度は、冒頭で亀山学長に今後の名古屋外国語大学の目指す方向についてスピーチをしていただきました。「ポストヒューマン時代を生きるために」と題したスピーチには、参加された高等学校の教員の皆様も目を輝かせて聞き入っていました。

具体的には、(中央教育審議会でも課題となっているようですが)現在の小学生が、就職する時代には、現在の既存の職業の70%は存在しない時代になる。AI(人工知能)の発達によって、我々「人間」に係るべき職業は限定される時代が来ることが予測されている。そのような時代を生き抜くために必要なものは、左脳の技術や能力ではなく、右脳の「教養力」である。

本学では、「語学力」(英語を共通語としたうえで、複数の語学)「世界の政治やアート」について語ることでできる「教養力」、そして「共感力」を学べる環境を整えている。

本学は、高等学校からお預かりする学生の5年後、10年後を見据え、母語、英語、そして複数の言語という3次元的な視野で、言葉だけにとどまらず、教養力をもとに広い視野で、複眼的な思考力を持った人材を育てていきます。

引き続き、2017年に開設を予定している「世界共生学部」について、学部長に就任を予定されている高瀬教授が自ら説明をされました。

「グローバルコミュニケーション」(英語を共通語とした複数の言語、文化)、「グローバルリサーチ」(世界を6つの地域に分けて地域を学ぶ)、そして、世界共生学部の大きな特長となる「グローバルチャレンジ」(多文化共生についてのアクティブな経験)について、さらに卒業後の進路に

ついては解説を頂きました。高瀬教授は、日本唯一のサミット研究者として、この時期には連日、新聞の社説やテレビの解説などで超多忙の中、駆けつけて頂きました。

その後は、本学の学びの仕組みや就職状況などについて説明をしました。

本学の魅力である「留学」におきましては、真のグローバル人材育成に向けた本格的な留学(語学の習得だけでなく、語学を使って自分の専門分野などを学ぶ長期・中期の留学)の人数は、400人を超えました。全国の大学の中でも6番目に多い人数です。こうした真剣にグローバル人材を目指す学生を支援する「留学費用全額支援制度」も5年目を迎え、全国的に知られるところとなりました。

「インターナショナルキャンパス」と呼ばれる学習環境、ネイティブ教員は159名、世界各国からの留学生の受け入れは171名といずれも国内有数の人数です。PUT(教員1名に対して学生3名で実施する英語の授業)に代表される徹底した「少人数教育」についても説明しました。

「就職状況」の報告では、高い就職決定率(3月の卒業生の就職決定率は99%)

語学力、国際感覚を活かしたグローバル企業への就職は、名古屋外国語大学にとって追い風を感じています。特に力を入れている航空関連、マスコミ関連への就職も好調です。航空関連へは70名の就職が決まりました。



「看護学部・大学院看護学研究所・助産科」の設置、高い国家試験合格率
名古屋学芸大学

翌週の5月24日には、名古屋学芸大学の大学説明会を実施しました。毎年、恒例となった井形学長の心のこもったご挨拶ではじまりました。

新しい取り組みとして、恒川副学長から、国立病院機構名古屋医療センターとの包括協定締結の経緯やこれからの構想として「看護学部・大学院看護学研究所・助産科」の設置計画についてもお話を頂きました。今、なぜ本学がこのような計画を実施するのか、上記包括協定の及ぼすメリットなどのお話は、参加者の皆様の注目度の高い内容でした。

その後、実際の学芸大学の学びのしくみや、就職状況などについての説明をしました。特に、今年3月の卒業生のがんばりは、突出しています。管理栄養学部では、卒業生168名全員が、管理栄養士の国家試験を受験し、150名が合格しました。(全国でも5番目に多い合格者数です)

ヒューマンケア学部の養護教諭専攻、幼児保育専攻の就職決定率は、両専攻とも100%を達成できました。幼児保育専攻の就職先におきましては、希望者全員が幼児保育に係る就職先に就職し、特に公立の幼稚園、保育所への就職者は61%となり、半数を超えました。

メディア造形学部の就職も好調です。ファッション造形学科は、98.8%。比較的就職が困難といわれる、「芸術系」の映像メディア学科は、86.9%。デザイン学科は、94.5%と同系統の大学と比較して突出して高い数字です。安定して高い水準を維持しています。

会の後半は、両大学とも「入試」について昨年の結果の報告、分析結果の報告、また2017年度の入試の実施要項などについて説明をしました。進路指導をご担当の参加者の方も多く、メモを取られる教員の方もいらっしゃいました。

また、両大学とも、閉会後の学内視察にも多くの高等学校教員の皆様に参加を頂きました。

年を追うごとに名古屋外国語大学、名古屋学芸大学への高等学校の教員の皆様の期待も増大しているように感じています。同時のその責任を年を増すごとに重く感じています。

2017
年度

名古屋外国語大学 学生募集要項

名古屋外国語大学の2017年度学生募集要項の主な変更点は、次のとおりです。

- ①2017年4月、世界共生学部世界共生学科を開設予定。
- ②一般入試（前期A方式・M3方式・M2方式・プラスセンター方式、後期）において、外部英語検定試験で一定以上のスコア（等級）を取得している場合、本学試験の英語の得点に加点する形を取り入れました。
- ③外国語学部世界教養学科の独自試験である特別選抜Ⅲ グローバル人材志向型（自己推薦入試）の募集を廃止し、新たに世界共生学部世界共生学科の独自試験として特別選抜Ⅲ グローバル共生志向型（自己推薦入試）を実施します。

■募集学科・専攻、募集人員、入試日程

試験区分	募集学科・専攻・人員										日 程		
	世界共生*	世界教養	英米語		英語教育	フランス語	中国語	日本語	現代英語	国際教養	国際ビジネス	出願期間	試験日
推薦入試	一般公募推薦	45	45	90	45	14	26	20	20	45	45	[ネットのみ] 10/14(金)~10/24(月)	11/5(土)
	指定校推薦											[ネットのみ] 10/26(水)~11/2(水)	11/12(土)
一般入試	前期 A方式	10	10	25	10	5	6	5	5	10	10	2/3(金)、2/4(土)	
	前期 M3方式	8	8	16	8	4	6	5	5	8	8	[ネットのみ] 1/6(金)~1/20(金)	2/1(水)、2/2(木)
	前期 M2方式												
	前期 プラスセンター方式	7	7	14	7	3	5	4	4	7	7		
	後期	5	5	8	5	2	3	2	2	5	5	[ネットのみ] 2/17(金)~2/24(金)	3/6(月)
	センター利用	前期(3教科)	8	8	14	8	3	4	4	4	8	8	[ネットのみ] 1/6(金)~1/20(金)
前期(5教科)		4	4	8	4	3	4	4	4	4	4		
後期(2教科)		3	3	5	3	2	2	2	2	3	3		
特別選抜Ⅰ 英語等有資格型 (自己推薦入試)	5	5	10	5	4	4	4	4	5	5		10/1(土)	
特別選抜Ⅱ 国際社会志向型 (自己推薦入試)	5	5	10	5	若干名	若干名	若干名	若干名	5	5		10/2(日)	
特別選抜Ⅲ アジア事情探究型 (自己推薦入試)	—	—	—	—	—	—	若干名	—	—	—		[ネットのみ] 9/1(木)~9/9(金)	9/25(日)
特別選抜Ⅲ 発信コミュニケーション型 (自己推薦入試)	—	—	—	—	—	—	—	若干名	—	—		9/25(日)	
特別選抜Ⅲ グローバル共生志向型 (自己推薦入試)	若干名	—	—	—	—	—	—	—	—	—		9/24(土)	
海外帰国生特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		[ネットのみ] 9/12(月)~9/20(火)	10/16(日)
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		[郵送のみ] 1/4(水)~1/12(木)	2/17(金)
合 計	100	100	200	100	40	60	50	50	100	100	100	—	—
第3年次編入学	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		[郵送のみ] 6/24(金)~7/1(金)	7/9(土)

■試験科目

試験区分	試験科目(概要)	
推薦入試(一般公募推薦)	適性検査Ⅰ(英語:リスニングあり)、適性検査Ⅱ(国語)、調査書等	
一般入試	前期 A方式	英語(リスニングあり)・国語(古文・漢文を除く)・選択科目(日、世、数から1科目)。外部英語検定試験による加点あり。
	前期 M3方式	英語(リスニングなし)・国語(古文・漢文を除く)・選択科目(日、世、数から1科目)。外部英語検定試験による加点あり。
	前期 M2方式	英語(リスニングなし)・選択科目(国語(古文・漢文を除く)、日、世、数から1科目)。外部英語検定試験による加点あり。
	前期 プラスセンター方式**	本学試験科目:前期A方式の英語(リスニングを除く)、前期M3方式・M2方式の英語。外部英語検定試験による加点あり。
	後期	センター試験利用科目:2教科各1科目(科目指定あり)
	後期	英語(リスニングなし)・国語。外部英語検定試験による加点あり。
センター利用**	前期(3教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・国(古文・漢文を除く)・選択科目(地歴、公、数、理から1科目)
	前期(5教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・選択科目(国(古文・漢文を除く)、地歴、公、数、理から4教科各1科目)
	後期(2教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・選択科目(国(古文・漢文を除く)、地歴、公、数、理から1科目)

* 上記募集人員は予定であり、変更する場合があります。
** 平成29年度大学入試センター試験の成績に限る。

2017
年度

名古屋学芸大学 学生募集要項

■募集学科・専攻・コース、募集人員、入試日程

試験種別	募集学科・専攻・コース・人員							日 程			
	管理栄養	子どもケア (養護教諭 コース)	子どもケア (子ども心理 コース)	幼児保育	映像 メディア	デザイン	ファッション 造形	出願期間	試験日		
推薦入試 (指定校推薦・一般公募推薦)	64	24	16	48	34	28	24	●[指定校] [ネット]10/26(水)~11/2(水) ●[公募] [ネット]10/10(月/祝)~10/21(金)	●[指定校]11/13(日) ●[公募]11/3(木/祝)		
一般入試	前期	前期(2科目型)	30	11	8	20	18	14	8	●[ネット]1/6(金)~1/20(金)	●2/6(月)・7(火) 本学・浜松・津・金沢 ●2/8(水)本学
		前期(3科目型)	10	4	2	6	—	—	—		
		前期プラスセンター	12	4	2	12	5	4	7		
	センター利用	前期(2科目型)	12	4	2	10	8	5	5	●1/14(土) ●1/15(日) 個別学力試験なし	
		前期(3科目型)	10	3	2	6	—	—	—		
後期	3	2	2	3	2	2	2	●[ネット]2/16(木)~3/8(水)	●3/4(土)		
特別選抜(自己推薦入試)	16	6	4	12	—	—	—	●[ネット]2/16(木)~2/24(金) ●[ネット]9/1(木)~9/12(月)	●9/25(日)		
AO入試Ⅰ(体験型)	—	—	—	—	20	16	14	●エントリー期間: [郵送]8/19(金)~8/26(金) ●出願期間: [郵送]9/9(金)~9/15(木)	●体験授業:7/17(日) ●面接:9/4(日)		
AO入試Ⅱ(文章理解・表現型)	—	—	—	—	10	8	7	●[ネット]9/1(木)~9/12(月)	●9/25(日)		
海外帰国生特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	●[郵送]10/4(火)~10/13(木)	●11/3(木/祝)		
社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名				
合計	160	60	40	120	100	80	70				
3年次編入学(指定校推薦)	—	若干名	—	—	—	—	—	●[郵送]8/19(金)~8/26(金)	●9/4(日)		
3年次編入学(一般公募)	—	若干名	—	—	若干名	若干名	若干名	●[郵送]6/24(金)~7/1(金)	●7/9(土)		
3年次編入学(一般公募)	—	若干名	—	—	若干名	若干名	若干名	●[郵送]10/4(火)~10/13(木)	●11/3(木/祝)		

■試験科目

試験種別	試験科目(概要)	
推薦入試 (一般公募推薦)	管理栄養学科	●適性検査 化学基礎・生物基礎から1科目 ●面接 ●調査書
	子どもケア学科	●適性検査 国語総合(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●面接 ●調査書
	映像メディア学科	●適性検査 個性のプレゼンテーション・国語総合(古文・漢文除く)から1科目 ●面接 ●調査書
	デザイン学科	●適性検査 鉛筆デッサン・国語総合(古文・漢文除く)から1科目 ●面接 ●調査書
管理栄養学部・ ヒューマンケア学部 特別選抜(自己推薦入試)	管理栄養学科	●適性検査 国語の読解力 ●適性検査 理科の基礎問題(化学基礎・生物基礎) ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)
	子どもケア学科	●適性検査 国語の読解力 ●適性検査 小論文 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)
AO入試Ⅰ (体験型)	映像メディア学科	●体験授業 ●書類審査(エントリーシート・調査書) ●課題 ●面接
	ファッション造形学科	●体験授業 ●書類審査(エントリーシート・調査書) ●課題 ●面接
AO入試Ⅱ (文章理解・表現型)	映像メディア学科	●適性検査 国語の読解力 ●適性検査 小論文 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)
	デザイン学科	●適性検査 国語の読解力 ●適性検査 小論文 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)
前期(2科目型)	管理栄養学科	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学基礎・生物基礎から1科目
	子どもケア学科	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・日本史・世界史・生物基礎から2科目※国語・英語は1科目以上必須
	映像メディア学科	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目
	デザイン学科	【デッサン型】●鉛筆デッサン ●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 【一般科目型】●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目
前期(3科目型)	ファッション造形学科	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)
	子どもケア学科	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く) ●日本史・世界史・生物基礎から1科目
前期プラスセンター	管理栄養学科	〈前期〉●数学・化学基礎・生物基礎から1科目 + 〈セ〉●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)から1科目
	子どもケア学科	〈前期〉●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 + 〈セ〉●数学・世界史・日本史・地理・化学・生物から1科目
	映像メディア学科	〈前期〉●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目 + 〈セ〉●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から1科目
	デザイン学科	〈前期〉【デッサン型】●鉛筆デッサン 【一般科目型】●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目 + 〈セ〉●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から1科目
センター利用前期 (2科目型)	ファッション造形学科	〈前期〉●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く) + 〈セ〉●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から1科目
	子どもケア学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学から1科目 ●数学・生物から1科目
	映像メディア学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から2科目※国語または英語を含む2教科2科目
	デザイン学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から2科目※地歴と公民の組み合わせは不可
センター利用後期	管理栄養学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学・生物から2科目
	子どもケア学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から3科目 ※国語または英語を含む3教科3科目。地歴と公民の組み合わせは不可
	映像メディア学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学・生物から1科目
	ファッション造形学科	●国語(近代以降の文章)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から2科目※国語または英語を含む2教科2科目
後期	管理栄養学科	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●化学基礎・生物基礎から1科目
	子どもケア学科	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)
	映像メディア学科	●鉛筆デッサン・国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から2科目
	ファッション造形学科	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)

社会人・海外帰国生特別選抜及び第3年次編入学の試験科目については各募集要項を参照

名古屋外国語大学

2016年度入試の受験者数及び入学者数は次のとおりです。また、第3年次編入学の入学者は日本語学科に4名、大学院は博士前期課程の入学者16名、博士後期課程の入学者1名でした。

■推薦入試・一般入試・特別選抜

学科	専攻	推薦入試	受験者数											計	入学者数
			一般入試				特別選抜								
			前期(A・M2・M2・プラスセンター方式)	後期	センター利用(前期・後期)	英語等有資格型	国際社会志向型	アジア事情探究型	発信コミュニケーション型	グローバル人材志向型	帰国生徒	外国人留学生			
世界教養		108	1,416	11	532	25	31	—	—	41	9	0	2,173	121	
英米語	英米語	238	2,250	43	895	43	43	—	—	—	1	0	3,513	240	
	英語コミュニケーション	135	2,120	14	766	38	29	—	—	—	5	2	3,109	124	
英語教育		36	507	5	192	10	12	—	—	—	3	0	765	52	
フランス語		50	773	13	327	5	5	—	—	—	2	0	1,175	70	
中国語		29	492	17	207	6	8	18	—	—	0	0	777	58	
日本語		37	558	11	193	5	9	—	26	—	0	1	840	61	
現代英語		111	1,455	12	495	26	30	—	—	—	4	0	2,133	126	
国際教養		128	1,390	17	542	40	32	—	—	—	6	0	2,155	120	
国際ビジネス		95	1,023	22	393	21	23	—	—	—	1	0	1,578	120	
計		967	11,984	165	4,542	219	222	18	26	41	31	3	18,218	1,092	

■大学院

研究科	入学定員	受験者数	入学者数
国際コミュニケーション研究科(博士前期)	20	21	16*
国際コミュニケーション研究科(博士後期)	5	1	1
合計	25	22	17

*2期入学の交換留学生1名を含む。

■第3年次編入学

学科	受験者数	入学者数
英米語	1	0
英語教育	1	0
フランス語	0	0
中国語	0	0
日本語	4	4
現代英語	0	0
国際教養	1	0
国際ビジネス	0	0
合計	7	4

名古屋学芸大学

2016年度入試では、受験者総数は4986名で、入学者総数は711名でした。なお、3年次編入生としてヒューマンケア学部3名、メディア造形学部3名の入学者を迎えました。また、大学院には、総計17名が入学しました。

■推薦入試・一般入試・AO入試・特別選抜

学科・専攻・コース	推薦入試	受験者数											計	入学者数	
		一般入試						AO入試		特別選抜					
		前期2科目型	前期3科目型	プラスセンター	後期	センター前期2科目型	センター前期3科目型	センター後期	AO入試Ⅰ	AO入試Ⅱ	自己推薦	社会人			帰国生
管理栄養学科	198	455	292	406	37	194	142	30	—	—	67	1	0	1822	172
子どもケア学科 養護教諭コース	65	215	155	202	20	111	93	26	—	—	36	0	0	923	76
子どもケア専攻 子ども心理コース	24	19	16	25	4	15	12	4	—	—	6	0	0	125	32
子どもケア学科幼児保育専攻	103	214	156	168	12	93	80	16	—	—	49	1	0	892	131
映像メディア学科	45	181	—	164	21	102	—	17	59	16	—	0	0	605	120
デザイン学科	42	111	—	95	6	62	—	7	35	6	—	0	1	365	96
ファッション造形学科	31	61	—	46	7	27	—	8	48	26	—	0	0	254	84
計	508	1256	619	1106	107	604	327	108	142	48	158	2	1	4986	711

*子どもケア学科内での第2志望合格者をその専攻・コースの受験者として扱った

*推薦入試には指定校推薦を含む

*前期3科目型、センター前期3科目型、特別選抜(自己推薦)は管理栄養学部・ヒューマンケア学部のみ、AO入試はメディア造形学部のみを対象として実施

■大学院

研究科	入学定員	受験者数	入学者数
栄養科学研究科(博士前期)	5	2	2
栄養科学研究科(博士後期)	2	8	8
メディア造形研究科(修士)	5	4	3
子どもケア研究科(修士)	5	5	4
合計	17	19	17

■第3年次編入学

学科・専攻・コース	受験者数	入学者数
子どもケア専攻 養護教諭コース	3	3
映像メディア学科	1	1
デザイン学科	1	1
ファッション造形学科	2	1
合計	7	6

名古屋外国語大学

*日程やイベント内容は変更の場合があります。詳しくは本学HP(受験生サイト <http://www.nagoyagaidai.com/index.html>)にてご確認ください。

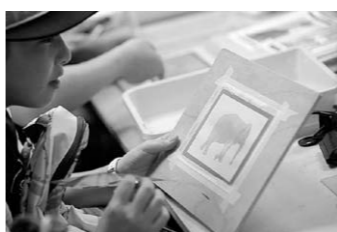
イベント種類	開催日	開催時間	イベント名	主な内容(予定)	対象
オープンキャンパス	7月24日(日)	10:30 ~ 16:00	名古屋大のすべて Vol.1	全体説明/模擬授業(要申込)/留学イベント/エアラインイベント/卒業生トークセッション/入試対策講座/入試情報説明会/学科イベント/キャンパスツアー/個別相談/ネイティブスピーカーと話そう/クラブ発表 など	1・2・3年生 および保護者
	8月21日(日)	10:30 ~ 16:00	名古屋大のすべて Vol.2	全体説明/模擬授業(要申込)/留学イベント/エアラインイベント/卒業生トークセッション/入試対策講座/入試情報説明会/学科イベント/キャンパスツアー/個別相談/ネイティブスピーカーと話そう/クラブ発表 など	1・2・3年生 および保護者
入試イベント	12月18日(日)	13:00 ~ 16:30	名古屋外国語大学 一般入試対策講座【受験生対象・要申込】	入試対策講座【英語・国語】/キャンパスツアー/個別相談(入試・学生生活・就職)/ネイティブスピーカーと話そう など	3年生 および保護者



名古屋学芸大学

*日程やイベント内容は変更の場合があります。詳しくは本学HP(受験生サイト <http://www.nagoyagakugei.com/>)にてご確認ください。

イベント種類	開催日	開催時間	イベント名	主な内容(予定)	対象
オープンキャンパス	6月12日(日)	10:30 ~ 15:30	メディア造形学部 オープンキャンパス・AO入試相談会	AO入試対策イベント/学科概要説明会/体験授業/在学生による学科プレゼンテーション/作品展示や上映会/キャリアイベント/入試説明会/個別相談 など	メディア造形学部/ 1・2・3年生 および保護者
	7月31日(日)	10:30 ~ 15:30	名古屋学芸大学のすべて Vol.1 - NUAS Live 2016-	学科概要説明会/体験授業/在学生による学科プレゼンテーション/作品展示や上映会/キャリアイベント/入試説明会/保護者説明会/個別相談/クラブ発表 など	全学部/ 1・2・3年生 および保護者
	8月27日(土)	10:30 ~ 15:30	名古屋学芸大学のすべて Vol.2 - NUAS Live 2016-	学科概要説明会/体験授業/在学生による学科プレゼンテーション/作品展示や上映会/キャリアイベント/入試説明会/保護者説明会/個別相談/【メディア造形学部】合同学生企画(体験イベント) など	全学部/ 1・2・3年生 および保護者
入試イベント	12月18日(日)	13:00 ~ 16:30	名古屋学芸大学 一般入試対策講座【受験生対象・要申込】	入試対策講座【国語・英語・生物・化学】/キャンパスツアー(施設見学)/個別相談(入試・学生生活・就職) など	全学部/ 3年生および 保護者



名古屋外国語大学

2015年度 就職活動結果

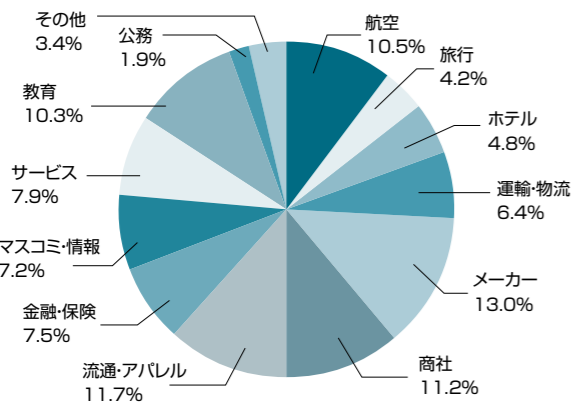
過去最高、就職決定率99.0%を記録!

2015年度(2016年3月卒業生)の就職活動は、採用日程の大幅な変更によるとまどいもありましたが、求人状況は全体的に良好で、最終的には就職決定率99.0%と過去最高を記録しました。全国平均97.3%(*1)、愛知県内平均96.7%(*2)とも大きく上回っており、これは良好な求人環境に加え、全学的なキャリア支援体制と学生のみなさん一人ひとりの頑張りによるものといえましょう。業界別でも、エアライン、旅行、ホテル、運輸、メーカー、金融等でさらなる充実がみられ、特にエアライン業界(客室乗務員、地上職、総合職など)で就職者全体の10%を超える70名輩出は特筆される点です。

*1文科省・厚労省共同調査2016年4月1日現在

*2県産業労働部若年者雇用対策グループ調査2016年3月31日現在

2015年度就職先企業の業種別分類



2015年度主な就職先企業

航空	●日本航空 ●全日本空輸 ●ジェイエア ●エアアジアジャパン ●JAL スカイドリーム ●スカイ ●K スカイ ●JAL スカイ大阪 ●ANA 中部空港 ●ANA 関西空港 ●ANA セールス ●中部国際空港旅客サービス など
旅行	●JTB 東海 ●近畿日本ツーリスト ●農協観光 ●エイチ・アイ・エス ●名鉄観光サービス ●クラブツーリズム ●ジェイアール東海ツアーズ ●阪急阪神ビジネスラベル など
ホテル	●ジェイアール東海ホテルズ(マリオットアソシア) ●名古屋ヒルトン ●ナゴヤキャッスル ●ホテルクラウンコート名古屋名鉄グランドホテル ●グランドハイアット東京 ●ミリアルリゾートホテルズ ●オークラアクトシティホテル浜松 ●ホテル日航ハウステンボス など
運輸・物流	●日本通運 ●フジトランスコーポレーション ●東陽倉庫 ●伊勢湾海運 ●名港海運 ●愛知海運 ●キムラユニティ ●JR 東日本 ●上総 ●センコー ●山九 ●福山通運 ●パンダイロジバル ●NEXCO 中日本 など
メーカー	●トヨタ自動車 ●デンソー ●アイシン精機 ●アイシン・エイ・ダブリュ ●日本特殊陶業 ●DMG 森精機 ●新東工業 ●ヤマザキマザック ●オーエスジー ●ホーユー ●林テレンプ ●貝印 ●エフ・シー・シー ●トニティ工業 ●山崎製パン ●今仙電機製作所 ●中部鋼料 ●生方製作所 ●マイテックス ●本多電子 ●豊田バンモップス ●アサダ ●ISOWA ●シイエム・シイ ●オリバー ●大日本木材防霉 など
商社	●興和 ●第一実業 ●伯東 ●矢崎総業 ●東陽 ●三菱商事テクノス ●豊通マシナリー ●トーメンエレクトロニクス ●岡谷銅機 ●日通商事 ●トラスコ中山 ●日本トリム ●菱洋エレクトロ ●森村商事 ●植屋 ●中外 ●高瀬物産 ●進和明治電機工業 ●資生堂ジャパン ●カネボウ化粧品販売 ●エノテカ など
流通・アパレル	●そごう・西武 ●ユニー ●パロー ●ジェイアール東海パッセンジャーズ ●セブーン ●イレブン ●ジャパン ●カインズ ●愛知トヨタ自動車 ●メニコン ●ケイ・ウノ ●鑑定名古屋 ●八木兵 ●丹羽幸 ●クロスプラス ●青山商事 ●はるやま商事 ●ファーストリテイリング(ユニクロ) ●ルイ・ウィトン ●ジャパン ●アテイダジャパン ●マンサタ ●パサジャパンリミテッド など
金融・保険	●三菱東京UFJ銀行 ●三井住友信託銀行 ●ゆうちょ銀行 ●大垣共立銀行 ●百五銀行 ●岡崎信用金庫 ●豊田信用金庫 ●瀬戸信用金庫 ●東海労働金庫 ●野村證券 ●岡三証券 ●東海東京証券 ●東京海上日動火災保険 ●三井住友海上火災保険 ●あいおいニッセイ同和損害保険 ●第一生命保険 など
マスコミ・情報	●NHK 大分放送局 ●NHK 北見放送局 ●マイナビ ●中広 ●中アド企画 ●フレックス ●ひまわりネットワーク ●ケールネット ●リクルーティング・デザイン ●トランスコスモス ●日本情報 ●日本アイビーエム ●ビズインテック など
サービス	●日本郵便 ●平安閣 ●テイクアンドグヴ ●ニーズ ●プライズワード ●プラス ●高見 ●テンプスタッフ ●ピープルインテリジェンス ●日本タタ ●コンサルタンシー ●サービス ●トヨタレンタリース名古屋 など
教育(教職)	●愛知県 ●三重県 ●横浜市など各公立学校 ●私立学校各種
教育(その他)	●ECC ●イーオン ●GABA ●NOVA ●中西学園 ●広島大学 ●星学館大学 など
公務員	●財務省(名古屋税関) ●警視庁 ●岐阜県警察 ●半田市役所 ●各務原市役所 ●瑞浪市役所 ●長久手市役所 ●石巻市役所 ●東浦町役場 など
その他(建設ほか)	●一条工務店 ●安藤・関 ●三井不動産リアルティ ●TSUCHIYA ●大和リビング など

2016年度 就職戦線

学生奮闘中! 採用日程一部変更

昨年度大幅に日程変更のあった経団連「採用選考の指針」に一部変更が加えられ、活動開始3月1日は変わらないものの、選考開始期日が8月1日から6月1日へと早まりました。これにより前年度以上に活動期間の圧縮、早期化がみられ、キャリアサポートセンターでは、業界セミナー、面接講座などの準備活動を早めに設定し、活動する学生への後押しをしてきました。現在4年次学生の活動も佳境に入っており、続々と内定報告が寄せられています。なお、サテライトラウンジ(名古屋・東京・大阪他)、遠隔地交通費支援、履歴書無料配付等の支援は従来通り継続し、就職活動する学生の負担軽減を図っています。

“就勝★直前合宿” さらに内容充実!

就職活動開始を目前に控えた、2月16日(火)・17日(水)の2日間に渡り、蒲郡市内のホテルにて「就勝★直前合宿」を実施しました。2年目となる今回は、3年次学生に加え、OB・OG、4年次先輩などのゲストを含め全体で201名が参加、今回は特に企業採用担当者のゲストを充実させ、また初日には亀山学長が開会挨拶を行いました。内容は面接練習、マナー講座など実践的なトレーニングの他、OB・OG、企業担当者との懇談会など豊富なプログラムで3月1日スタートにそなえました。



キャリアデザインプログラム 2016

就職活動日程の一部変更、国際教養学科の卒業初年度、また留学帰国者への対応など、今年度もさまざまな課題のある中、就職活動が開始されました。本学キャリアデザインプログラムは、低学年から卒業後の進路を見据え、無理なく就職活動へと繋がるよう、キャリア形成に資するさまざまな取組みを広い視野で展開しています。なお、学内合同企業説明会(3月実施)は、より多くの企業と話が出来るよう、今回初めて2日間に分けて開催、約120社が参加しました。

おもなキャリア・就職支援行事

学年	おもな内容(予定)
1年次	キャリアガイダンス、職業適性検査/フォローガイダンス、キャリアデザイン講座、留学予定者ガイダンスインターンシップ(2期)、業界研究セミナー 等
2年次	キャリアガイダンス、職業適性検査/フォローガイダンス、キャリアデザイン講座、筆記試験対策講座、キャリアアブラン講座、留学予定者ガイダンス、インターンシップ、業界研究セミナー 等
3年次	就職準備スタートアップセミナー、就職ガイダンス、職業適性検査/フォローガイダンスインターンシップ、留学予定者ガイダンス、筆記試験対策講座、エントリーシート対策講座、キャリアアブラン講座Ⅲ-Ⅰ・Ⅲ-Ⅱ(1期・2期)、ランチタイム就活ミニセミナー、ビジネスマナー講座、スーツ着なし講座、メイク講座、筆記模擬試験、SPI模擬試験、WEBテスト対策講座、内定者との交流会、社会で活躍する先輩との交流会、就職準備サマー合宿、就職直前合宿、エアライン志望者合宿、進路登録、業界研究セミナー、学内企業セミナー、合同企業説明会、面接対策講座(初級・中級・実践)、グループディスカッション対策講座、個別模擬面接指導個人面談 等
4年次	個別相談、履歴書・エントリーシートチェック、模擬面接、学内企業説明会、国際派企業面接会(東京・大阪等)、社会人マナー講座、留学帰国者指導 等

講座・検定等

資格支援講座……通関士、旅行業務取扱管理者(国内・総合)、秘書検定準1級・2級、貿易実務検定B級・C級、国内旅程管理研修(ツアコン)
 就職支援講座……エアライン(学年別各コース)、公務員、マスコミ、アナウンサー・キャスター養成、面接強化トレーニング、筆記試験(SPI)対策、就職特別クラス(大手企業志望者)、国際派就職プログラム

その他の支援

専用HP・Facebook、エアラインセンター(エアライン専用窓口)、就活カフェ(内定者先輩との自由な交流スペース)等



合同企業説明会 2016.3.8.9 本学アリーナ

インターンシップ実施状況

現行の就職活動日程(3月1日活動開始)の下では、準備期間となる1~2月の使い方がカギとなります。そこで本学では、この時期のインターンシップ(授業科目)の充実にも力を入れてきました。その結果、この3年で参加学生も3名、16名、27名と順調に増えてきています。昨年度は夏期62名と合せ、延べ89名の参加となりました。

現在は夏期研修(8~9月)に向け、事前指導等を進めているところです。

インターンシップ主な受入企業(夏期・冬春期)

- 航空・旅行:** ANA 中部空港、名古屋エアターミナル、東京国際空港ターミナル、日本旅行、名鉄観光サービス、ジェイエスティ など
- ホテル:** ナゴヤキャッスル、ヒルトン名古屋、名古屋観光ホテル、名古屋ガーデンパレス、名古屋東急ホテル、ジェイアール東海ホテルズ、ホテルオークラアクトシティ、名古屋東急ホテル、東横イン など
- 金融:** 豊田信用金庫、瀬戸信用金庫、野村證券、SMBC日興証券、東海東京証券、損害保険ジャパン日本興亜 など
- マスコミ・サービス:** 中日新聞社、中部日本放送(CBC)、東海ラジオ、名古屋テレビ映像、大広、I&SBBDO、ジャナク、名大社、パソナ、地域活性プランニング、NHK文化センター、テンプスタッフピープル、出雲殿 など
- 商業・その他:** メモリー、ATグループ、名古屋トヨペット、清水建設、道の駅 など

名古屋学芸大学

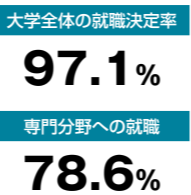
第11期生(2016年3月卒業生)の就職実績(2016年5月1日現在)

全国トップクラスの就職実績 ~専門分野※に約8割が就職~

※専門職と専門業界の総合職に就職

2016年卒採用から、経団連「採用選考に関する指針」に基づき、企業等の広報活動開始時期を3月1日以降、採用選考活動開始時期を6月1日以降と、採用スケジュールが変更となり、新卒採用市場は転換期を迎えました。

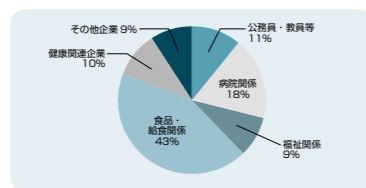
ここ数年の良好な景況感から、企業等の新卒採用意欲は年々高まっており、採用時期変更の影響は全体ではほとんどなかったものの、依然としてコア人材(総合職、専門職)においては厳選採用が続いている状況の中、本学学生は大学で学んだことが活かせる分野へ着実に就職を決定させ、実績も全国トップクラスに引き続き上げることができました。



管理栄養学部

管理栄養学科

就職決定率 100%
就職決定者数 163名

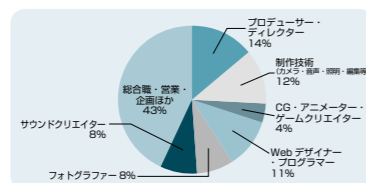


これまでの主な就職先【栄養教諭】愛知県、三重県、岐阜県、熊本県、名古屋【栄養職公務員】愛知県、静岡県、岐阜県、名古屋市、東海市、津市、静岡市、武豊町、志摩広域行政組合【医療機関】独立行政法人国立病院機構【豊橋医療センター、三重中央医療センター、小倉医療センター】、名古屋大学病院、福井赤十字病院、広島赤十字原簿病院、名古屋第二赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構【桜ヶ丘病院】、豊川市民病院、独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院、認知症科大学病院、藤田保健衛生大学病院、社会医療法人順天堂西宮生会松原総合病院、聖隷福祉事業団、JA 豊橋厚生連知多野生病院、JA 静岡厚生連遠州病院、刈谷聖田総合病院【健康施設】社団法人半田医師会健康推進センター【福祉施設】社会福祉法人豊橋厚生事業団、社会福祉法人サンライフ、社会福祉法人博愛【給食】エムサービス、グリーンハウス、富士産業、トヨタ生活協同組合、魚国総本社名古屋本部、日本ゼネラルフード、西洋フード・コンパスグループ【食品】味の素、明治、山崎製パン、フジパングループ本社、敷島製パン、マルサンアイ、日本食研、米久、名城食品、ドンク、ユグレナ、中日本フード、テールマーク【中食】ミヤノランチサービス、梅安本店、カネ美食品【外食】キリンシティー、すかいらーく、フロンコビレ【ドラッグ】中部薬品、杏林堂薬局、マツモトキヨシ、名北調剤、スギ薬局、ケンキョー、サンドラッグ、アマノ【医薬】スズケン、中北薬品、クリニコ【行政職公務員】日進市、小牧市、愛知県警察本部、厚生労働省医薬・生活部、名古屋市食品衛生監視員 ほか(順不同)

メディア造形学部

映像メディア学科

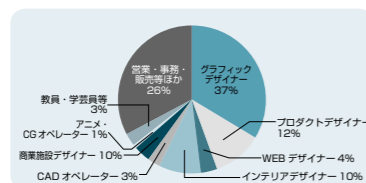
就職決定率 86.6%
就職決定者数 84名



これまでの主な就職先【広告、映画、映像制作・出版】博報堂プロダクツ、AOI Pro、パナソニック映像、アマホールディングス、ADK アーツ、スタジオ企画、TOKKY S、シーズリーフィルム(AOI Pro、グループ会社)、バスク、イマジカ、ロボットホールディングス、京映アーツ、インパクトたき、新日本印刷、東興通信、シネマザール、ティープイエス、オムニバス・ジャパン、バーム【写真】横浜スーパー・ファクトリー(電通広告制作子会社)、代官山スタジオ、佐々木スタジオ、外苑スタジオ、創発館、スタジオオバコ、トーアフォート、資生堂(メーカー)【テレビ番組制作】名古屋テレビ放送、東海テレビプロダクション、名古屋東通企画、中部ケーブルネットワーク、朝日メディアプラン、クリーク・アンド・リバー社、コスモ・スペース(日本テレビ放送網グループ会社)、クロステレビ、ミクスネットワーク、テレビシティ【マスコミ】時事通信社、共同通信社、東京スポーツ新聞社【サウンド・舞台】四季(劇団四季)、東京サウンドプロダクション、サンフォニックス、USEN、若尾綜合舞台、東海サウンド【CG・ゲーム・アニメ・Web】スクウェア・エニックス、NHN PlayArt、京都アニメーション、サイバーエージェント、東映アニメーション、エイチーム、アニメーションインターナショナルカンパニー、フロム・ソフトウェア ほか(順不同)

デザイン学科

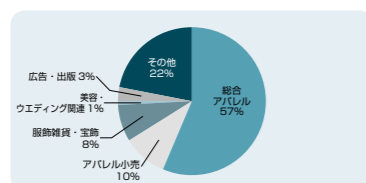
就職決定率 94.5%
就職決定者数 69名



これまでの主な就職先【メーカー】LIXIL、トヨタ紡織、TB エンジニアリング、デンソーテクノ、トーヨーキッキングスタイル、浜乙女、グレイ・ウツ、豊田合成、ホシザキ電機、ダイコク電機、柏木工、カトージ、INAX、足立ライト工業所、桂新堂、八幡社、フット、内藤商会、スキヤス、ニトマス【インテリア・ディスプレイ】セキスイハイム、アイリスオーヤマ、タマホーム、東日本ハウス、藤栄、スペース、トヨタホーム豊田、共立メンテナンス、岡設計、サンヒット、太陽社、シャルドネ、愛工務店、マジカルキッズ、サンヨーハウジング名古屋、居住時間、カトウスタア【プロダクトデザイン・商業施設】向陽技研、光和設計、ディ・アイ、スペース、キタゴウ工業【広告代理店・制作】アエス・Webほか【スタジオ・グラフィック印刷】CBCクリエイション、山崎デザイン事務所、インパクトたき、ティ・エム・シー、アイアドプラス、アドバリティ、スタジオオバコ、エルコンパス、大和グラフィック、光村印刷、テレビシティ、アドブレン、アイデアプラス、パルハウス、フリ・テック、ワークヴィズコム、伊藤美穂社製版所、タナックス、豊橋合同印刷、Ichi、富士印刷【教育・文化・行政】亀山市教育委員会、藤枝市郷土資料館、小牧市役所、美浜町立河和中学校、西尾市立一色中学校、中津川市博物館、岡崎商工会議所、名古屋市立藤森中学校 ほか(順不同)

ファッション造形学科

就職決定率 98.8%
就職決定者数 79名

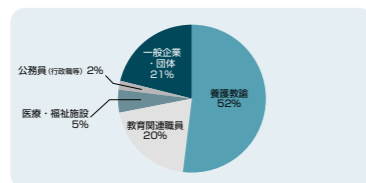


これまでの主な就職先【アパレル】オンワード樺山、三井物産インターファッション、ユナイテッドアローズ、ペイクルスグループ、アッシュ・ペー・フランス、トゥモローランド、エイ・ネット、アダストリアホールディングス、三陽商会、サンエー、インターナショナル、ジュングループ、イトキン、ストライプインターナショナル、瀧名名古屋、タキホウ、カイトック、銀座マキ、クレヨン、アーバン・リサーチ、アイア、ワールドストアパートナーズ、東京ソール、アングローバル、ジュンアシダ、三松、ファイブフォックス、サンラリグループ、エフビー、アンビデックス、レリアン、シップス、リオグループホールディングス、キャピタル、フォクシー、コムデギャルソン、キャンストオペレーション【服飾雑貨・ジュエリー】サマンサタバサジャパンリミテッド、秀和、コーチ、ジャパン【美容・プラザ】プラス、高見、トリート、パルレーゼ、ラビアンローゼ【その他】オリエンタルランド、松竹衣裳、日本メーター化粧品、ノビア、ボーゲン品質評価機構 ほか(順不同)

ヒューマンケア学部 子どもケア学科

養護教諭コース

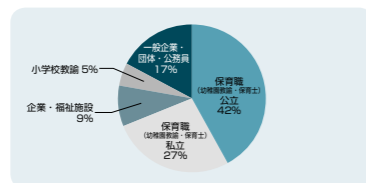
就職決定率 100%
就職決定者数 82名



これまでの主な就職先【公立学校養護教諭】愛知県、名古屋市、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、富山県、福井県、東京都、神奈川県、横浜市、福島県、大分県、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、愛媛県、岡山県、山口県、福岡県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県【教育関係職員】愛知県立養護学校、愛知県立特別支援学校、名古屋市立養護学校、静岡県立特別支援学校、東京都立特別支援学校、市立小中学校(長久手市、稲沢市、刈谷市、須崎市、田原市、知多市、東海市、豊川市、豊橋市、津島市、御前崎市)、市町村通称指導教室(名古屋市、東海市、豊橋市、岡崎市、知多市、鈴鹿市)【行政職公務員】愛知県、岐阜県、京都市、大田市、西宮市【一般企業】日本赤十字社、名古屋記念相互社、東海旅客鉄道、トヨタエンタプライズ、JTB 中部、トヨタ輸送、日本郵便日本生命保険相互会社、住友生命保険相互会社、ミキハウス、豊川信用金庫、豊田信用金庫 ほか(順不同)

幼児保育専攻

就職決定率 100%
就職決定者数 130名



これまでの主な就職先【公立幼稚園教諭】名古屋市、豊田市、安城市、岡崎市、刈谷市、犬山市、半田市、碧南市、知多市、可児市、岡崎市、浜松市、桑名市、松原市【公立保育所保育士】名古屋市、長久手市、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、春日井市、犬山市、岩倉市、江南市、小牧市、安城市、岡崎市、刈谷市、東海市、大府市、半田市、豊川市、一宮市、日進市、豊橋市、あま市、弥富市、美濃加茂市、桑名市、四日市市、津市、鈴鹿市、静岡市、豊田市、富士宮市、横濱市、高知市【公務員(小学校等教諭、行政職)】愛知県公立小学校、静岡県立特別支援学校、知多市、半田市、高浜市、大垣市【一般企業】藤田保健衛生大学病院、ミキハウス、アイシン高圧、タクト、スタジオアリス、東洋水産、シンコー、ユナイテッドアローズ ほか(順不同)

2015年度 就勝直前合宿 ~内定までの道のり~

下記の内容で、就職合宿を実施致しました。名古屋学芸大学として3回目となる今回は、「就勝直前合宿 ~内定までの道のり~」と題し、一足早く就職活動を疑似体験できる内容を企画しました。

プログラムの内容も盛りだくさんでしたが、参加学生は、筆記試験からグループディスカッション、集団・個人面接まで、一生懸命に取り組み、最後まで頑張りました。モチベーションも大幅上がったものと思いますので、就活に勝って納得のいく仕事に就いてほしいと思います。



実施日: 2016年2月9日(火)~10日(水) 1泊2日
主催: 名古屋学芸大学 キャリアサポートセンター
実施場所: 三河湾/蒲郡温泉ホテル竹島(愛知県蒲郡市竹島海岸 TEL.0533-69-1256)
参加者: 114名(2016年3月卒業予定者)
講師: (株)マイナビ講師、キャリアコンサルタント、本学教職員

Table with 2 columns: Day (1日目, 2日目) and Program (Opening/Orientation, Group Discussion, Interview, etc.)

実施後の学生の声
・合宿には就活の準備に火をつけるために参加を決めたが、当日までは就活を始めたくない気持ちから「参加しなければよかった」と思っていた。それが今となっては心から参加して良かったと思っている。
・具体的にどのように頑張れば良いかわかり、取り組みやすくなった。
・何とかならな思っていたことが甘かったと痛感した。
・色々な講師の方に指導してもらえ、様々な角度から意見がもらえてよかった。
・細かいアドバイスももらい、不安でいっぱいだったが自信を持つことが出来た。
・丁寧なフィードバックに、課題だけでなく良いところも認めてもらえ、また頑張ろうと思った。

就勝出陣式 ~いざ、出陣~

就職活動を目前に控える3年生(現4年生)を対象に、士気を高めることを目的とした就勝出陣式を2016年2月23日(火)に開催しました。

「就活で使えるコミュニケーション術」、「差がつく!会社説明会の攻略法」、「就活のプロ『リクナビ』が教える!なぜ企業は志望動機を聞きたいのか」の、ここでしか聞けない「お得」な3つの講座や「教職員からの激励」など盛りだくさんの内容で、参加した学生は3月より解禁となる就活に向けてモチベーションを高めていました。



日時: 2016年2月23日(火) 13:00~15:00 場所: 名古屋外国語大学701教室
当日の内容: 講座①「就活で使えるコミュニケーション術」
講師: 須藤真由様(株式会社マイナビ名古屋キャリアサポート課)
講座②「差がつく!会社説明会の攻略法」
講師: 江村朋裕様(株式会社学情 企画営業部サブマネージャー)
講座③「就活のプロ『リクナビ』が教える!なぜ企業は志望動機を聞きたいのか」
講師: 樹田梨奈様(株式会社リクルート キャリアリクナビ副編集長)
決起宣言(教職員からの激励)



参加学生の声
・頼れる所があるという安心感ですこしやる気が出た。
・参加してよかった。前向きに自信をもって活動に臨みたい。
・応援してくれる人がたくさんいるように感じた。
・参加する前は不安しかなかったが、CSセンター主催の行事に参加すると就活に前向きになった。



名古屋学芸大学短期大学部

第52回生 (2016年3月卒業) / 就職実績 (2016年5月1日現在)

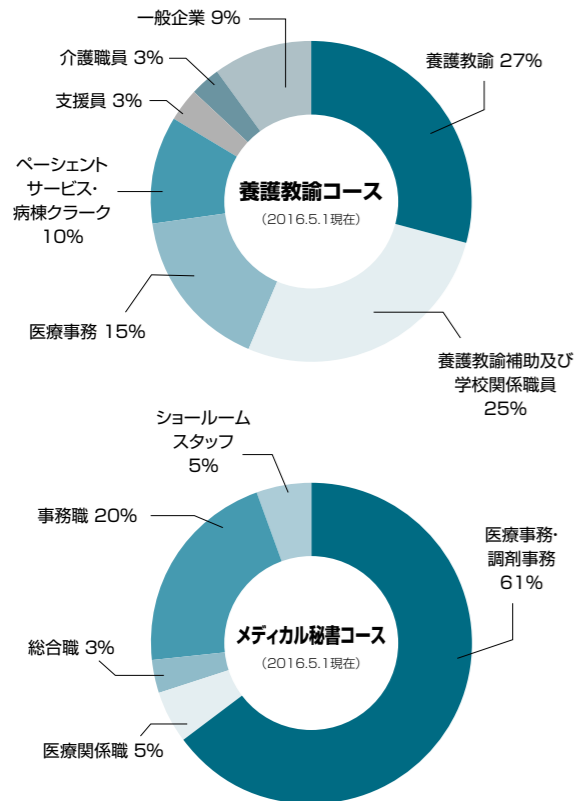
努力が実って就職決定率100%を達成!

多くの学生が短大での学びを活かした就職先へ

短期大学部の就職決定率

●就職決定率 **100%** ●就職決定者 **68名**

コース別内訳



主な就職先一覧 (過去5年間)

医療・福祉・団体	●医療法人名古屋澄心会 ●名古屋ハートセンター ●医療法人澄心会 ●豊橋ハートセンター ●名古屋第二赤十字病院 ●高山赤十字病院 ●社会医療法人名古屋記念財団 ●名古屋記念病院 ●医療法人医仁会 ●さくら総合病院 ●社会医療法人財団新和会 ●八千代病院 ●JA 愛知厚生連 ●豊田厚生病院 ●江南厚生病院 ●愛知県厚生農業協同組合連合会 ●足助病院 ●医療法人香徳会 ●メイトウホスピタル ●医療法人九愛会 ●中京サテライトクリニック ●医療法人尚仁会 ●名古屋ステーションクリニック ●医療法人杉山会 ●すぎやま病院 ●医療法人全心会 ●伊勢慶友会病院 ●医療法人研精会 ●豊田西病院 ●医療法人互生会 ●蒲郡東部病院 ●医療法人大医会 ●日進おりど病院 ●中部ろうさい病院 ●医療法人愛知会 ●家田病院 ●医療法人青山病院 ●医療法人並木会 ●並木病院 ●医療法人三九会 ●三九朗病院 ●医療法人丸茂病院 ●医療法人豊寿会 ●齊藤病院 ●医療法人宏生会 ●高森台病院 ●医療法人 清水会 ●医療法人 孝友会 ●医療法人誠道会 ●各務原リハビリテーション病院 ●医療法人徳洲会 ●名古屋徳洲会病院 ●医療法人社団整志会 ●沢田記念 高岡整志会病院 ●名古屋市中心障害児施設ティンクルなごや ●社会福祉法人 豊田市育成会 ●たんぼぼ薬局株式会社 ●株式会社阪神調剤薬局 ●クオール株式会社 ●独立行政法人日本スポーツ振興センター
製造業	●ソニーイーエムシーエス株式会社 ●東海テック 美濃加茂 ●北越紀州製紙株式会社 ●森藤技研工業株式会社 ●株式会社NTN 三重製作所
金融業・保険	●明治安田生命保険相互会社 ●JA あいち中央農業協同組合
商業	●ネットトヨタ中部株式会社 ●五十鈴ビジネスサポート株式会社 ●株式会社スギヤマ薬品 ●株式会社 F.O. インターナショナル ●株式会社アイレクスリテイル ●株式会社重光 (HARBS) ●名鉄百貨店 ●株式会社パロー ●ファレン名古屋中央株式会社
サービス業	●レンテック大敬株式会社 ●株式会社トヨタコミュニケーションシステム ●株式会社トヨタレンタリース愛知 ●サーラススポーツ株式会社 ●パナソニックメディコムネットワーク株式会社 ●有限会社尾張健友サービス ●WDB 工学株式会社
公務	●石川県警察 ●愛知県 ●名古屋市 ●岐阜県 ●静岡県 ●三重県 ●東京都 ●山梨県 ●他 私立学校

社会人基礎力調査を実施しました!

3月28日(月)に基礎力テスト、4月7日(木)にPROG検査を実施しました。社会人基礎力は、仕事をしていくことに限らず、社会人として自立して生きていくために欠かせない能力です。そのため本学では、年1回社会人基礎力をチェックし、自分の強み・弱みを知ることで必要な要素を高めていけるようにしています。

今年度は全員が受験するに至り、各々の意識の高さを感じられました。今後もキャリアサポートセンターでは、「キャリアデザインII」(正規授業)や個別支援を通して、高い意識を維持したまま就職活動を行えるようサポートしていきます。

【PROGテスト】

PROGテストには「リテラシーテスト」と「コンピテンシーテスト」の2つがあり、知識を活用して問題解決する力(リテラシー)と経験を積むことで身についた行動特性(コンピテンシー)の2つの観点でジェネリックスキルを測定しています。PROGテストは、現実的な場面を想定して作成されています。知識の有無を問う物や自己診断的なものが多かった従来のテストと異なり、実際に知識を活用して問題を解決することが出来るか(リテラシーテスト)、実際にどのように行動するのか(コンピテンシーテスト)を測定します。※PROGテストについては、河合塾Webサイトより引用。

新2年生対象 社会人基礎力調査 受験状況

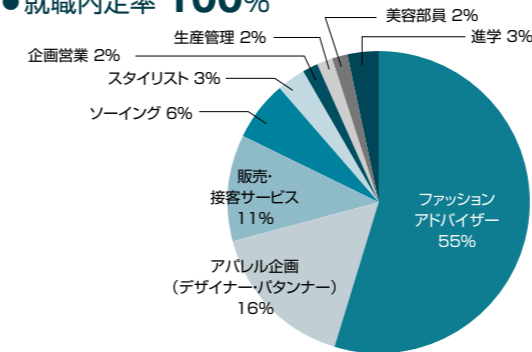
実施内容	対象学部	対象人数	受験人数
基礎力テスト	看護教諭コース	34名	34名
	メディカル秘書コース	35名	35名
PROG検査	看護教諭コース	34名	34名
	メディカル秘書コース	35名	35名

NSC

NSC4校 就職内定率98.0% (2016年5月2日現在)

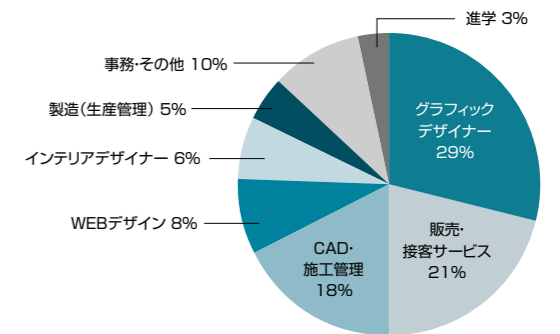
名古屋ファッション専門学校

●就職内定率 **100%**



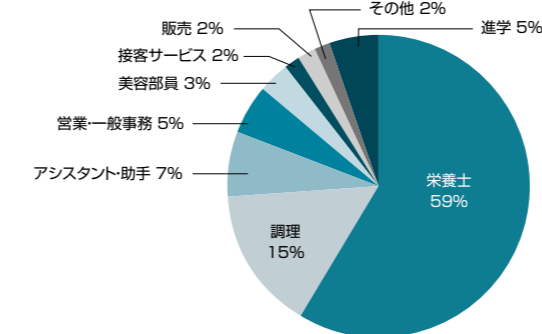
名古屋総合デザイン専門学校

●就職内定率 **95.2%**



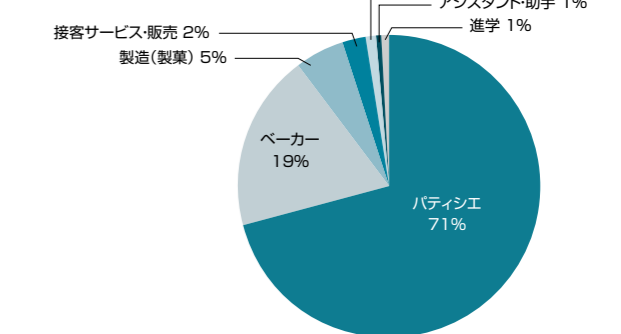
名古屋栄養専門学校

●就職内定率 **94.9%**



名古屋製菓専門学校

●就職内定率 **99.4%**



名古屋栄養専門学校 企業懇談会開催

2016年4月16日(土) 企業懇談会 17社参加

企業説明会と学生交流会の2部制で開催しました。学生交流会では、授業で作成した顔写真入りの名刺を持ってアピールをし、人事の方から好評をいただきました。



名古屋ファッション専門学校 企業説明会開催

2016年5月13日(金) 企業説明会 36社参加

名古屋東急ホテルにて企業説明会を開催しました。学生が1社でも多くの話を聞けるように2時間5部制で行いました。最後まで人事の方の話を熱心に聞き入っていました。



名古屋総合デザイン専門学校 就職特別講演会開催

2016年6月4日(土) 就職特別講演会 卒業生4名参加

印刷、WEB、店舗、住宅と卒業生を招いて話を聞きました。講演後は個別に質問時間を設け、業種別に話を聞きました。



2016年度 教員採用状況



名古屋外国語大学

本学開設以来最大の実績61名を達成

英語教育学科長/教職センター長 須賀 藤隆

名古屋外国語大学・大学院を卒業又は修了し、今春から公立学校の教壇に立つ者は、講師等を含めて48名、また既卒者で、報告のあった数を含めると、全体で61名となりました。そのうち、英語教育学科第5回卒業生は33名と第1回生の16

名、第2回生の23名、第3回生の30名、第4回生の32名から着実に数字を伸ばしました。また、本年度は小学校にも8名が採用されるなど、これまでの中学校、高等学校という校種を越えての採用も増加しました。これで、本学開設以来はじめての60名台突破となりました。

折しも、英語教育学科の学科誌の特集で教育現場で活躍する卒業生が取り上げ



られています。学校現場で2年から5年の教職経験のある卒業生の教科指導や生徒指導をはじめとするそれぞれの教育実践が力強く語られています。そこからは、児童生徒、地域社会、保護者などからの本学卒業生に対する大きな期待が読み取れます。

教職センターとしては、引き続き信頼される教員を全国各地に送り届けたいと考えています。

自治体別教員採用数 (2016年4月1日現在)

愛知県	37
名古屋市	2
岐阜県	3
三重県	5
静岡県	1
石川県	1
神奈川県	1
横浜市	7
長野県	1
滋賀県	2
兵庫県	1
計	61

英語教育学科から『自我作古』第8号が発刊されました。

学科創設から9年目に入り、卒業生も5回生まで送り出しました。今回は「教育現場で活躍する卒業生」特集といたしました。

表題は「我より古(いにしえ)を作(な)す」と読みます。14世紀の中国、宋時代に記された歴史書『宋史』にある箴言です。英語教育学科という新しい分野を開拓するにあたり、幾多の困難や試練を乗り越え、後世に何かを残すべく努力する学科関係者の気概を示すものとして表題としました。

また、福沢諭吉や小泉信三が好んだ言葉でもあり、学科の発展にとっての道標となっています。



名古屋学芸大学

教員採用選考試験を終えて

一小学校教諭、受験者全員合格— 教職課程主任 安井 克彦

2016年3月に名古屋学芸大学を卒業し、教員免許を取得したものは、小学校1種79名、中学校1種49名(美術7、保健42) 高校1種49名(美術7、保健42)、幼稚園1種130名、養護教諭1種80名、栄養教諭1種16名、合計403名(実人数)でした。多くの学生が教職入門などの講座を受験し、努力が実って、無事免許状を手に入れました。しかし、正規の教員になるためには各都道府県・政令指定都市や私学協会が実施する選考試験を受け、合格しなければなりません。本学の学生が取得した免許、「養護教諭」「栄養教諭」「幼稚園教諭」「小学校教諭」「美術教諭」などはいずれも採用数が絞られ難関が続いています。

2015年の夏を中心に行われた採用試験の結果について現役生に絞って報告いたします。

まず、養護教諭の採用試験結果についてですが、今春の卒業生(八期生)は、現役で12名が合格しています。今までは一期生11名、二期生12名、三期生18名、四期生23名、五期生14名、六期生15名と四大になって6年連続で10名以上の合格者を出していましたが、昨年は採用数が少なくなったこともあり、8名になりました。しかし、今年は挽回し、12名になりました。しかも、臨時講師は31名(昨年25名)です。採用数は43名(昨年は33名)

となっており、好成績をあげています。このような成績を残すことができたのは、学生の熱心な取り組みと先生方の適切なご指導の賜物であると考えています。養護教諭の養成大学という点では堂々たる位置を占めるに至っていますが、今後の飛躍を期待したいと思います。

次に「幼児保育」選考の就職決定率は100%できわめて順調でした。このうち、教育関係の専門職に就いた者は公立保育園47名、私立保育園20名、私立幼稚園22名など131名でした。

今年の特筆すべきこととして、小学校教諭を希望したすべての学生全員(5名)が合格しました。快挙であります。他の大学の小学校教諭で合格率100%の大学は皆無です。

管理栄養学部から栄養教諭を目指した11名のうち、一次試験に合格したのは愛知県3名、岐阜県1名、名古屋市2名など現役で述べ8名でした。しかし、二次試験の壁は厚く、正規に合格した現役生は3名にとどまりました。

来年度も養護教諭の募集人数が少ないので、採用試験がますます厳しくなることが予想されます。東海地方はもとより、全国各地の情報を収集し、受験対策講座や面接指導の手助けをしていきたいと思っています。

養護教諭等採用者数 (2016年4月26日現在)

県名	正規	臨時		合計
		養護教諭講師	支援員、指導員	
愛知県	5	22	7	34
名古屋市	2	2	0	4
岐阜県	0	1	0	1
三重県	0	1	0	1
静岡県	0	0	4	4
浜松市	1	3	0	4
横浜市	2	0	0	2
石川県	1	0	0	1
北海道	0	1	0	1
私立	1	1	0	2
合計	12	31	11	54

平成28年度 栄養教諭採用試験情報(中部地方)

採用地	採用人数	受験者数	(倍率)	区分			
				本学受験者	1次合格者	最終合格者	
愛知県	10名	95	(9.5)	新卒	5	3	1
				既卒	2	1	1
名古屋市	7名	35	(5.0)	新卒	3	2	2
				既卒			
岐阜県	5名	28	(5.6)	新卒	1	1	0
				既卒	1	1	0
三重県	5名	41	(8.2)	新卒	1	1	0
				既卒	1	0	0
長野県	5名	39	(7.8)	新卒	1	1	0
				既卒			

※補欠合格2名に関しては繰り上がりなし

幼稚園教諭採用者数

(2016年4月26日現在) 認定こども園は除く

県名	正規	臨時・嘱託等	合計
愛知県	2	1	3
三重県	1	0	1
静岡県	1	0	1
私立園	21	1	22
合計	25	2	27

名古屋学芸大学短期大学部 2015年度実施(2016年度採用) 教員採用選考試験結果

養護教諭免許状を手にして

養護教諭コース 主任 大原 榮子

2016年3月卒業の学生で、養護教諭の免許状を取得した者は38名、そのうち、養護教諭免許状を取得していることを採用条件として就職した者は19名でした。そのほか、四年制大学への編入学者及び科目等履修生が6名おりましたので、全体の66%が養護教諭の免許状を取得したことで就職をしたことになります。

19名の卒業生は、幼稚園1名、小学校5名、中学校5名、高等学校(特別支援学校を含む)5名の計16名が養護教諭として、3名が、適応指導教室、児童育成センター、こども発達センターの指導員・支援員として勤務し始めました。

進学者は、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部及び南山大学総合政策学部の3年次に編入して学びを深めており、科目等履修生たちも、2種免許状を上級免許にするための学びとして、ヒューマンケア学部で勉学に励んでいます。

また、2015年度に教員採用試験に合格した卒業生は7名でした。中には、海外子女教育振興財団主催の教員試験に合格し、海外日本人学校(インド・ニューデリー)へ赴任した卒業生もいます。

2016年度採用の養護教諭採用試験は、愛知県小・中学校12.2倍、県立学校9.8倍という非常に高い倍率で、合格への道は年々厳しくなっています。けれども、本学の卒業生のほとんどが養護教

諭になりたいという一心で本学へ入学し、2年間必死で学んだのです。これからも初心を忘れず、採用試験に挑戦してほしいと思います。夢の実現に向けて、大学も可能な限り支援していきたいと思っています。

以下、2016年度採用 教員採用試験結果(養護教諭採用状況)です。

2015年度実施(2016年度採用) 養護教諭採用状況 (2016年5月20日現在)

合格者数別	52回生受験者数	合格者数			
		52回生	卒業生	最終合格者	
愛知県	小・中	一次	0	6 (4)	
		二次	0	2	2
	県立	一次	0	11 (10)	
		二次	0	3 (3)	3 (3)
長野県	小・中	一次	1	0	0
神戸市		二次	0	0	0
			0	1	1
私立学校(愛知県)			1	0	1
日本人学校			0	1	1
合計	53	1次2 2次1	1次19 (14) 2次7 (3)	8 (3)	

※()は一次試験免除者
※52回生の受験者数は、上記の受験地以外も含めている。
※卒業生1名が海外子女教育振興財団の教員派遣試験に合格。(配属先:インド ニューデリー)

FOR ALL WINE LOVERS ～すべてのワイン愛好家のために～

エノテカ株式会社 日置 大智さん

名古屋外国語大学 現代国際学部 国際ビジネス学科 2012年3月卒業

FOR ALL WINE LOVERSの経営理念の下、国内トップのワイン専門輸入会社として歩んでまいりました。1988年に創業して以来、多くのワイン愛好家に直接関わりの持てる直営ワインショップを始め、卸事業、通販事業と業界では先駆けとなる3チャンネルにおいてワインを販売しております。2015年4月よりアサヒビールグループの一員となり、創業29年目を迎えた今年度は、全国で約70店舗を構えより多くのお客様との接点を増やしています。ワインのプロフェッショナルとして、自分たちで試飲し納得したワインだけをフランス・イタリアを始めとした世界各国から直接輸入をしています。世界と日本をつないでいるだけでなく、世界と世界をつなぐワインの文化や習慣も広がっています。

私は現在、中国現地法人であるエノテカ上海有限公司で中国でワイン文化を広めべくワインの販売を行っています。国が変われば所変わる異国の地で、ワインを広めるだけでなく現地のスタッフへの日本と同様のサービスが提供できるように指導しており文化の違いや働き方の違いを日々実感しながら働いています。



中国を含めアジアには香港・韓国・シンガポールにも進出しており、会社の風土でもある“チャレンジ”が出来る環境がいつでも回りに広がっています。日本を含む“アジアでNO.1のワイン商を目指す！”を会社の目標とし、これからはアジア各地でワインを愛するスタッフがワイン愛好家のために色々なワインを紹介して参ります。

ママが楽しいベビーグッズ

株式会社カトージ (ベビー用品の製造企画・卸販売) 小野 舞さん

名古屋学芸大学 デザイン学科 (スペース専攻) 2012年3月卒業

私が勤務している株式会社カトージは、半世紀以上にわたり、赤ちゃんのためにこだわりのベビー用品を作り続けてきました。「ママが楽しいベビーグッズ」をモットーに赤ちゃんとママの為に子育てをサポートするアイテムをお届けしています。

その中で私は、企画開発部に所属しており、主に新しい商品の企画・デザインを行っています。来年発売するベビーカーの新しいデザインや、育児を助ける新しい機能がある商品を考えることなどです。商品の企画やデザインから始まり、工場へのサンプル指示、商品撮影、WEBページの制作など、企画から発売まで一貫してひとりの担当者がデザインを行っています。

入社3年目の年に、ドイツの展示会の視察に連れて行ってもらいました。ドイツでは年に一度、ベビー業界の世界最大

な展示会が行われます。そこでは特に色使いや、素材の使い方、ヨーロッパの流行など、日本では得ることのできなかったたくさんの刺激があり、商品作りの仕事に反映させることができています。

在学中学んだデザインに関する姿勢や考え方、例えば、シチュエーションをイメージする事、相手を思いやる気持ちから新しいものが生まれる事、自分の好きにこだわる事、どんなものが心地よくそれは何故なのかを追求する事など、これらはまさに今の仕事で求められている事でもありました。大学で学んだ事を基盤に、就職後、実際の現場で日々学ぶ事を活かしながら、「ママが楽しいベビーグッズ」を生み出していきたいです。



子どもの小さな変化に気付ける 養護教諭を目指して

菱野幼稚園 太田 万梨乃さん

名古屋学芸大学短期大学部 養護教諭コース 2016年3月卒業

私は、今年の三月に名古屋学芸大学短期大学部を卒業し、四月から学校法人中西学園菱野幼稚園に勤務しています。園児数約400人という大きな幼稚園で、『のびのびすくすく豊かな心』を教育方針に、職員一丸となって園児の成長を支援しています。

毎日、一日の終わりにその日にあった出来事の情報交換や、園の運営をより良くしていくための意見交換が行われます。子ども一人一人と向き合い、さまざまな業務に常に前向きに取り組んでおられる職員の方々の生き生きとした声飛び交い、先生方の手を借りながら一生懸命に新しいことに挑戦しようとする園児たちの笑顔に溢れたとても素敵な職場です。

園には様々な健康問題を抱えた子どもたちが在園しています。そのような子どもたちの健康問題に対しては、的確な判断と迅速な対応が求められます。養護教諭としてもまだまだ未熟ではありますが、周りの先生方の力をお借りしながら、何とか対処している毎日です。そのため、大学時代にいただいた資料や教科書に目を通し確認することは欠かせません。短大で学んだことのすべてが現場での子どもの対応の基礎になっているということを日々感じています。また、養護教諭に必要

な専門知識だけでなく、マナー講座などの学びも今の私には大変役に立っています。

養護教諭として勤務する今、感じることは、「目の前の子どもを見ること」の大切さです。勤務して一か月が経ちましたが、出会う子どもは一人一人が違って、対応も異なります。まだ理解力に乏しい園児たちに、どうしたらうまく伝えられるか、どうすれば園児の困っていることを理解できるのか、日々手探りの状態で、目の前の子どもと向き合っています。

現場では、保育のプロである先生方の対応から、子どもとの向き合い方を勉強させていただいています。素敵な先生方のもとで目の前の子どもたちと向き合いながら、子どもの小さな変化に気づくことのできる養護教諭になりたいと思っています。

最後に、後輩の皆さんには大学で出会った仲間を大切にしてください。大学でともに学んだ友人は、同じ夢を目指して苦しい時間も一緒に乗り越えてきた仲間です。だからこそ、仲間の頑張っている姿は私の励みにもなります。そんな仲間や、様々な場面で支えて下さった恩師、現在温かく受け入れて下さっている幼稚園の先生方、そしてここまで育ててくれた両親に感謝の気持ちを忘れず、今後も頑張っていきたいと思っています。



美しさと機能性の追求 ～より良いパタンナーを目指して～

株式会社オンワード樫山 生産技術第二部 レディース技術二課 ICBパタンナー 山本 彩香さん

名古屋ファッション専門学校 ファッションマスター科 2014年3月卒業

名古屋市立桜台高校のファッション文化科で服飾について学び、将来はアパレル企業に就職することを目標に、名古屋ファッション専門学校に進学しました。自分が学びたいこと、挑戦したいことにチャレンジできる環境の中、パターンメイキング技術検定の1級取得、希望企業へのパタンナーとしての就職など、夢を叶えることができました。

現在は「ICB」というブランドでパタンナーとして、デザイ

ナーから渡された絵型をもとにパターンを引いています。その後サンプルの補正をし、量産へ向けてのパターン修正、仕様書作成をしています。入社1年目からいろいろな研修を受けることができ、また自分がパターンを手掛けた商品が実際に店頭で並ぶという嬉しい経験もしました。

これからファッション業界を目指す皆さんへは、卒業後どのような形でファッションに関わりたいのかを1年目からよく考えて、授業や課題に取り組んで欲しいと思います。それが就職活動の際、自分の強みをしっかり出せることにつながるからです。



図書館 & MLC からの お知らせ

Multimedia Learning Center

地下1階地上5階の図書館にはさまざまなコーナーがあります。その中から今回は1階「テーマ企画」、「ミニ企画」コーナーで行った展示および、3階「絵本」コーナーを紹介し、また2014年度に導入し、昨年度から和書も利用できるようになったe-Book、そして今年度もMLCを盛り上げてくれるMLCサポーターの活動を紹介します。

テーマ企画

●Vol.50「大学生生活」(期間：2016年4月～5月)

新たな春を迎えての最初の企画は、定番企画。今年のタイトルはズバリ「大学生生活」。新入生はもちろん、気分新たな在学生にも向けて、「大学での新たな一歩」「学ぶとは」「生活を充実させる」「生きる、活かす」の視点で選んでみました。学生皆さんの大学生活を送る一助になれば…という図書館の思いは果たして届いたでしょうか。



ミニ企画

●「名古屋外国語大学出版会設立記念！」

(期間：2015年12月～2016年4月)



2015年に名古屋外国語大学出版会が設立され、10月にブックレット第1号の高瀬淳一先生著「サミットがわかれば世界が読める」、12月には叢書第1号の亀山郁夫学長著「世界が終わる夢を見る」が刊行されました。図書館としても展示したところ、身近な先生方の著作本ということもあり、常に貸し出されている状態が続きました。今後の出版も楽しみです。

2015年に名古屋外国語大学出版会が設立され、10月にブックレット第1号の高瀬淳一先生著「サミットがわかれば世界が読める」、12月には叢書第1号の亀山郁夫学長著「世界が終わる夢を見る」が刊行されました。図書館としても展示したところ、身近な先生方の著作本ということもあり、常に貸し出されている状態が続きました。今後の出版も楽しみです。

●「医療通訳」(期間：2016年5月)

5月14日(土)に学内で開催された「国際医療通訳シンポジウム&ワークショップ」に連動して、図書館でも「医療通訳」に関連する本を集めて展示しました。症状をうまく伝えることは日本人同士でも難しいことです。言葉の壁で普段からうまくコミュニケーションを取れない人ならなおさらです。愛知県の在留外国人は全国第3位。医療を受けるために訪日する「メディカルツーリズム(医療観光)」の需要もあります。通訳にもいろいろな形があることを知るきっかけになれば…という思いから企画しました。



絵本コーナー、ただいま“進化中”です

CHILDREN'S BOOKS



図書館3階北側(コミプラ側)の一番奥に絵本コーナーがあります。ご存知でしたか？出版不況といわれつつも、こと絵本に関しては毎年かなりの数の新刊が出版されています。子どもから大人からも必要とされていることの現れでしょう。

さて、絵本と聞いて皆さんはどんな作品を思い浮かべますか。真っ先に『ぐりとぐら』を挙げる人も多いでしょう。ふたごの野ネズミぐりとぐらは1963年に誕生しました。一昨年から生誕50周年記念展が全国各所で開催され、なんと30万人以上の方が来場したそうです。50年経っても古びず愛され続けるとはすごいことですね。この作品は日本語の他に10の言語に翻訳されています。英語版『Guri and Gura』は図書館にもあります。

翻訳といえば、長く読まれ続ける作品には海外作家の手によるものも多く、多種多様で色彩豊か、各国の風土や風習にも気軽に触れることができます。不朽の名作と呼ばれる『ちいさいおうち』はアメリカ、『三びきのやぎのらがらどん』はノルウェー、『まっくらネリノ』はオーストリア、『てぶくろ』はウクライナ等々。翻訳本を横に置き原書にチャレンジするのも一興です。

絵本は「子ども向けの本ではなく、子どもも楽しめる本」だといわれます。美しい挿絵、心に染み入る言葉、強いメッセージへの気づきなど、幼い頃とは違う感動や共感を持つ自



分に驚きますよ。大学図書館の所蔵本なので懐の深い名作や定番を中心に選書していますが、今後さらに充実させていく予定ですので足を運んでください。絵本を詳しく紹介した本も置いてあります。

- 『ぐりとぐら』(726.6/Nak) なかがわりえこ文；おおむらゆりこ絵 福音館書店
- 『Guri and Gura』(741.6/Nak) by Rieko Nakagawa and Yuriko Yamawaki ; translated by Peter Howlett and Richard McNamara Tuttle Pub.
- 『ちいさいおうち』(726.6/Bur) パージニア・リー・バートン文・絵；石井桃子訳 岩波書店
- 『三びきのやぎのらがらどん』(726.6/Set) マーシャ・ブラウン絵；瀬田貞二訳 福音館書店
- 『まっくらネリノ』(726.6/Gal) ヘルガ・ガルラー作；やがわすみこ訳 偕成社
- 『てぶくろ』(726.6/Rac) エウゲーニー・M・ラチョフ絵；うちだりさこ訳 福音館書店

e-Book (電子書籍)

図書館には、紙の本だけでなく電子書籍もあります。多読用図書(Graded Reader)や教養書など4,000タイトル以上の電子書籍が利用でき、図書館内で電子書籍を利用する人のためにタブレットも用意しています。また、図書館の外でも学内のネットワークに接続すれば、パソコン等から電子書籍が利用できます。さらに、個人アカウントを取得すれば学外からでも電子書籍にアクセスすることができます。(個人アカウントの取得方法は、図書館ウェブサイト上の「eBook Collection 利用方法」を参照してください。)

MLC

お勧め映画コメント付きうちわ

図書館の視聴覚部門であるMLCでは学生目線でMLCをサポートするボランティア、MLCサポーターが活動しています。好評の昨年に続き今年も、お勧め映画のコメントを書いたうちわを作製しました。映画好きのMLCサポーターの厳選作品です。ぜひ手に取ってみてください。うちわはMLCの記載台、個人ブース入口等に設置しています。暑い季節、うちわでエコに貢献しながらの映画鑑賞に挑戦しませんか。



うちわを作製したMLCサポーターのコメント

後藤 有里さん
(外大・英米語学科3年)

見た映画を文字にして人に勧めるというのが、初めてだったので苦戦しましたが、その映画に興味をもってもらえ短い言葉で伝えるように書きました。うちわをお勧めコメントに使うのは目に留まりやすい宣伝効果だと思います。この活動でみなさんの見たいと思う映画が増えてほしいです。



作製の様子

坂口 亜津佐さん
(外大・世界教養学科2年)

うちわ作りはMLCサポーターになってからはじめての活動でした。自分のお勧めの作品をたくさんの人に知ってもらえると思うととてもわくわくしました。他のサポーターの方たちのお勧め作品も知ることができ、とてもたのしい経験になりました。



大庭 拓真さん
(学芸大・管理栄養学科4年)

自分のコメントを見て誰かが素敵な作品と出会う手助けができると思うと書いていて、とてもウキウキしました。



完成したうちわを持って

「アルテス・ムンディ」 ついに創刊 WLAC から年1回発行、世界の技芸を熱く語る

種々のイベント企画はもちろんWLAC（ワールドリベラルアーツセンター）の重要な活動ですが、センターのもうひとつの中心はジャーナルの発行です。そのジャーナル、Artes MUNDI（アルテス・ムンディ）が、ついに創刊されました。この雑誌は、名古屋外大の教員が、学部、学科の垣根を越えて交流する、というコンセプトがそのまま形になったもので、様々な部署から多くの教員が執筆に加わり、まさに外大教員全員が協力して作り上げる雑誌となっています。これだけ多くの教員が関わるプロジェクトというも、他にはあまりないかもしれません。学外にも広く、名古屋外大の教養、文化をアピールすることを目指し、年に1回発行する予定です。

創刊号は装丁も美しく、アーティストックな表紙をめくっていくと、中身も充実していて、知的でかつ楽しい読み物が満載です。昨年、芥川賞作家の平野啓一郎氏が本学で講演してくださいましたが、その講演の内容が最初に掲載されています。広い見識に裏打ちされながらも、とても親しみやすい、まさに創刊号の冒頭を飾るのにふさわしい内容です。それに続くエッセイでは、曲者の執筆陣がその多芸ぶりを披露。外大教授陣の奥深さを思い知ることができるでしょう。「教養をめぐる冒険」と銘打った創刊記念の座談会では、多彩で多様な面々が、それぞれの幅広い知識と経験に基づいて、「教養」というテーマに沿ったり、時には脱線したりして、熱く、そして小気味よく、話を繰り広げています。

今回設けられた「テーマ書評」という特集では、中東および東南アジアの地域を理解するのに役立つ入門書が紹介されていますが、外大の教養が将来に向けて、さらに広がっていくのが予感できそうです。そして、外大の77名もの教員が書いた「世界あの町この街」の企画。ここでは、それぞれの執筆

者が思い入れのある世界各地の地域について自由に書き綴っています。その他にも、学生と向き合う大学教師という観点から書かれたエッセイもあり、また、外大教員の著書を扱う書評のコーナーでは、名古屋外国語大学出版会発刊の書籍も評されています。

この雑誌を読めば、外大教員たちが、教育者として、研究者として、そして教養人、趣味人として、いくつもの顔を持っていることが見えてくるでしょう。Artes MUNDIには、硬いけど柔らかい、専門的になりすぎず、それでいて広くて深い教養が感じられる、という絶妙のバランスが保たれています。新たな雑誌を生み出すというだけでも大仕事で、また、たくさんの教員が携わっているがゆえに、纏め上げるのは大変な作業でしたが、それでもこれだけレベルの高い創刊号に仕上がった

のは、八面六臂の活躍を見せた野谷文昭編集長の知識と経験、編集センスがあったからこそです。

教員たちの集うフォーラムとして、この雑誌が今後さらに発展し、ますます面白いものになっていくでしょう。次号が楽しみです。



編集委員 甲斐清高

(名古屋外国語大学外国語学部英米語学科准教授)

2016年度上半期 WLAC 関連イベント 開催日程

詳細は大学ウェブサイト (<http://www.nufs.ac.jp/>) のワールドリベラルアーツセンターのページにてご覧いただけます。

日時	タイトル	講演者・講師
4月18日(月) 15:00~18:00	【ワークショップ】 英語ドラマワークショップ ENGLISH THROUGH DRAMA ~第2弾!~	小口 真澄 (英語芸術学校 MARBLES、 劇団「夢生」主催)
5月14日(土) 13:00~18:30	【シンポジウム】(科研費研究グループ主催) 国際医療通訳シンポジウム&ワークショップ	イケネ・クレズィー (オークランド工科大学講師) 他
6月3日(金) 13:20~14:50	【講演会】(名古屋外国語大学フランス語学科主催) 男装の女性作家ジョルジュ・サンドーその生涯と現代性—	高岡 尚子 (奈良女子大学大学院人文科学系教授)
7月5日(火) 15:00~16:30	【講演会】 世界をめぐる知的冒険への旅 vol.3 「世界を駆けめぐる ~国際協力の現場からの発信~」	柳沢 香枝 (国際協力機構 (JICA) 理事)
7月16日(土) 14:00~15:30	【講演会】 日本の領土問題を考えるカギ~ サンフランシスコ体制と尖閣・竹島・北方領土: 過去、現在・未来	原 喜美恵 (カナダ・ウォータールー大学教授、 京都大学東南アジア研究所客員研究員)

名古屋外国語大学出版会 2016年度活動計画

名古屋外国語大学出版会は、昨年4月、本学の教育、および研究成果を発信し、生き生きとした本づくりをする場として設立されました。そして出版会は、いよいよ2年目を迎えます。

今年度の計画をご紹介する前に、昨年刊行した2冊について簡単に述べておきます。叢書第1号となる亀山学長の『世界が終わる夢を見る』と、世界共生学部長に就任予定の高瀬淳一先生によるブックレット版『サミットがわかれば世界が読める』です(本誌既報 Vol.80 2016.2)。ワールドリベラルアーツセンターから今年4月に発行された雑誌『Artes MUNDI』創刊号には、日本語学科の蔵田敏明先生と、世界教養学科の平山陽洋先生による、それぞれの書評が掲載されています。



さて今期2016年度は、当初の目標を大幅に上回る9点の刊行が決定しています。本学の大切な知的リソースをできるかぎり外部に発信したいという、出版会の強い決意の表れだと思っただけなら幸いです。

まず、一般書として、3冊の刊行を予定。1冊目は、学園理事の丹羽健夫先生によるブックレット版『留学と日本人』。最澄・空海から明治維新、ノーベル賞受賞者まで、留学という視点からわが国の歴史をとらえなおしました、本学のコンセプトにも通じる類書の少ない好著です。次に、名誉教授の中井政喜先生による『魯迅後期試探』。先生の十年來の研究成果を集大成させた学術書で、国内外の研究者からの高い評価が期待されます。3冊目は、言語教育開発センターの新居明子先生による『協同学習で物語を読む』。英語の新しい教育メソッドを語りながら、国語の先生にも読んでもらいたいという画期的な語学授業の方法を説いています。最近重要性が強調され

る「協同学習」を、あざやかにリーディング授業に応用、展開したものです。

教科書、参考書類として刊行されるのは、以下の5冊。まず、言語教育開発センター編の『フランス語 はじめの1000語』、および『中国語 はじめの1000語』であり、いずれも複言語プログラムで副読本として使用される予定です。次は、日本語教育センターの徳本浩子先生による『Survival Japanese』。他大学の日本語教育の授業でも採用が決定しています。つづいて外国語学部英米語学科のBrian McNeill先生による『Yesterday, Today and Tomorrow』は、歴史、人物、科学といったさまざまなトピック別に書き下ろされた、生きた英語のテキスト。最後に、外国語学部の全学生を対象とする『PUTの教科書』は、専任ランゲージチューターの先生方が共同で、数年間の経験の総力を生かして作成されます。名古屋外大の特色ある授業 PUTを世に知らせる、絶好の教材として期待されるものです。

一方、小冊子(ちいさな雑誌)も1冊予定しています。1年生を対象に配布するもので、先生方によるメッセージだけでなく、学生にも寄稿してもらいます。大学での学びを「等身大」で捉えてもらうのがその狙いです。全学的な刊行物として広く認知していただくため、まず冊子のタイトルを全教職員から公募しました。その結果、イタリア語で広場を意味する『Piazza Piazzetta』という名称に決定。学生と教員とがそれぞれのワクを越えて「ひろば」で出会うという、まさにこの冊子のコンセプトとぴったり符合しました。表紙や中身のデザインは、名古屋学芸大学の富安由起子先生と、その指導学生の皆さんに手がけていただきます。学生の目線を十分に意識した楽しい冊子として、全学から愛されるようになれば幸いです。

以上9点、多くの分野に広がる充実のラインナップであることを、出版会としても自負しています。

最後になりましたが、本年4月より、亀山学長を会長、また恒川副学長を副会長に迎え、より強固な活動基盤を持つことができました。今後は、1冊1冊をていねいに制作する地道な活動を継続しながらも、ときには他の大学出版には見られない、冒険心あふれる企画に取り組んでいきたい。そんな成熟した組織となるべく、これからも努力を続けていくつもりです。

出版会副編集長 大岩昌子
(名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科教授)

高岡尚子先生（奈良女子大学教授）による講演会 「男装の女性作家ジョルジュ・サンド—その生涯と現代性—」

6月3日（金）、外大701教室にて、高岡尚子先生をお迎えし、フランス語学科主催・ワールドリベラルアーツセンター共催による講演会を開催しました。約200名の参加者は、熱心に講演内容に聴き入っていました。高岡先生は、19世紀フランスを代表する女性作家ジョルジュ・サンド（George SAND, 1804 - 1876）の専門家で、文学とジェンダーの問題に取り組む研究者です。著者に『200年目のジョルジュ・サンド』（2012年）、『摩擦する「母」と「女」の物語』（2014年）などがあります。

ところで、19世紀フランスの女性作家の生涯に現代性を見出すことは可能でしょうか？そもそもサンドの精力的な作家活動自体、現在推奨されている「女性の活躍」を意味するものです。また、作家活動のみならず、男装は「ジェンダー越境」です。一方、母親としての子育てと教育、祖母の看取りもこの時代に限った特殊な経験ではありません。更に、彼女が男女を問わず実践した「若手芸術家の支援」も今日的な意味を持っています。この他、彼女の名声と芸術家達との交流は、生活の拠点であった片田舎のノアンの村を有名にし、「地域活性化」に繋がってきたといえます。高岡先生は講演の冒頭、こうした点を紹介しながら、サンドの中に十分現代性が存在することを指摘されました。

この後、作家「ジョルジュ・サンド」が誕生するまでの経緯、彼女の男装のきっかけとペンネームの問題、サンドとミュッセ、ドラクロワ、ショパン、リストなどといった当代一級の芸術家達との交流に話が及びました。

サンドは、デュドゥヴァン男爵と結婚して2児を授かりますが、夫との不和が決定的になり別居に至りました。この時の夫婦間の取り決めで、フランスの出版文化の中心地パリと子供達のいるノアンで交互に過ごすようになりました。しかし、パリでの生活費が足りず、男爵夫人に見合う服装を調達できないため男装を始めたといえます。この服装が当時の女性には許されていなかった自由な行動を可能にしてくれたのでした。



講演会の風景



高岡尚子先生（奈良女子大学教授）

1831年、作家のジュール・サンドと共同で小説『ローズとブランシュ』を出版しましたが、この時は彼の名前に由来するJ. Sandというペンネームが採用されました。本書の成功から1年後、初めて自分だけで完成した小説『アンディアナ』でG. Sandというペンネームを使用し、やがてGeorgesをGeorgeに変え、この形が定着したといえます。彼女の真の意味での処女作は大成功を収めました。著者が女性であることが知られると一転して厳しい批判が相次いだといえます。様々な恋愛スキャンダルや「ジェンダー越境」へのパッシングにもめげることなく作品を世に送り続け、職業作家として自立していたサンドには感嘆の念を禁じ得ません。

最終で高岡先生は、サンドの主要作品の紹介に続き、日本で最も親しまれてきた田園小説『愛の妖精』（1849年）を例に、「女性の役割」、「男らしさとは何か」、「嫌悪と共生のバランス」などといった点に注目することで、作品の持つ現代性の読み解きが可能になることも説明されました。

サンドといえば、日本では、「ショパンの恋人」、「ショパンの庇護者」など、とかくショパンとの関係でしか話題にならないように思われます。そして、サンドに関心の目が向けられるとすれば、それは多くの場合ショパンの生涯と音楽の理解のためなのです。こうした現状を思えば、女性が職業作家として生きることが極めて困難な時代に40年以上の間作家活動を続けたサンドの生涯について、多様な観点からお話しいただいたことは大変意義深いと思います。

サンドは政治活動にも参加しており、まだまだ語るべきことは尽きない感があります。講演者が、配布資料に参考文献一覧を添える配慮をされたのもそのためでしょう。本講演が、サンドの世界を知り、その現代的なメッセージを酌み取る切っ掛けになれば幸いです。

最後に、講演をお引き受けくださった高岡先生と講演実施に向けてご支援いただいた関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。
(フランス語学科教授 小山美沙子)

2016年度 中国語学科 フレッシュマンキャンプが行われました

毎年恒例のフレッシュマン・ウェルカム・イベントが4月5日（火曜日）に催されました。本行事は新入生の親睦を深める目的で、11年前から行われています。

新入生と教員の他に、中国語学科の先輩6名も参加してくれました。行き先は博物館明治村で、今年が初めてです。

行きと帰りのバスの中では先輩たちが司会者となってくれました。まず皆で自己紹介をさせ、その後、新入生たちに中国語を勉強する方法や、中国語の面白さ、中国語ラウンジの利用法、検定試験、サークル活動、本学のさまざまな留学制度、交換留学資格の取り方、留学先である中国や台湾の話など、充実した大学生活の過ごし方をいろいろと伝授してくれました。その後、質疑応答の時間もあり、一年生と先輩たちのやり取りで大きく盛り上がりました。

明治村では、ガイドさんに説明していただきながら、日本における近代化や近代建築の基礎と言われる明治時代の建築物を勉強しました。ところで、中国語圏からの観光客が日本各地で増えている中で、愛知県は増え幅が少ないほうだと言われています。本学で培った中国語力を活用して、明治村のような日本の貴重な財産を将来どんどん中国語圏の観光客へPRしていけたらいいですね。

その後は自由見学となりました。最初は緊張していた学生たちも、それぞれのグループごとに活動を始めると緊張も解け

て、自由な雰囲気の中で自然と打ち解けて友達になっていました。

この活動を通して、新入生同士だけでなく、先輩や教員とも交流を深めることができ、大学生活をスタートさせる非常に良い機会となった、と新入生たちは口を揃えて言っていました。

(中国語学科 劉綺紋)



メディア情報教育センターだより

PC教室の未来

名古屋外国語大学には、現在11のPC教室あり、PCワゴンも含めると800台以上のPCが授業や学生の自習用に有効利用されています。しかしながら、学生を取り巻くICT環境の変化や授業形態の改変に伴って、今後も従来通りPC教室を継続していくことに疑問の声が出ています。ここでは、新入生のアンケート調査を基にPC教室の今後のあり方を考えてみたいと思います。

PC教室の問題点と課題

これまで大学でのICT教育と言えば、PC教室で様々なアプリケーションソフトの利用やCALLシステムやインターネットを利用する授業が一般的でした。しかしながら、最近ではスマホやタブレットなどPC以外の機器を利用することが可能になりつつあります。また教育形態もこれまでの教員が学生に知識などを一方的に与える教授法から学生が積極的に参加するアクティブラーニングやグループワーク方法に変化しており、固定されたPCが並んでいる教室での授業が不都合になりつつあります。また、PC教室の最大の問題点として維持管理あるいはPC更新において膨大な予算がかかることがあげられます。これらのことを考慮するとこれまでのようにPC教室を増やしていけばICT教育の充実が図れるという発想が曲がり角に来ていることは事実です。

新入生のアンケート結果

2016年4月の授業前のメール講習会に、新入生を対象にmoodleを利用して簡単なアンケートを行いました。その結果を右図に示します。まず、新入生に携帯またはスマホを所有しているかどうかを尋ねたところ、スマホを持っている新入生は全体の97.8%に達しています。これは昨年の調査結果の94.4%をはるかに上回っており、今後は学生がスマホを所持していることを前提に授業を行うことができると考えられます。すなわちネット検索や情報交換、簡単なCALLシステムを利用する授業ではPC教室を利用する必然性はなくなることになります。しかし一方で、依然、PCを利用しないと動作しない英語教育システム(Listen to Me! など)を利用する授業数が増えたり、学生のPCの個人所有に関するアンケートでは、まだ30%を超える学生がPCを持っていないと答えており、レポート作成やプレゼンテーションファイルの作成には依然大学のPC教室に依存している学生が少なくないことも無視できません。

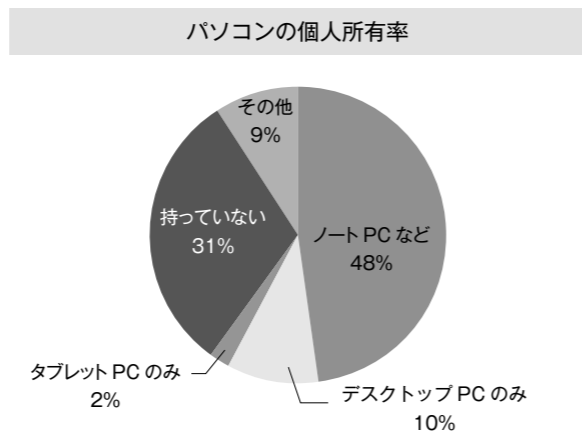
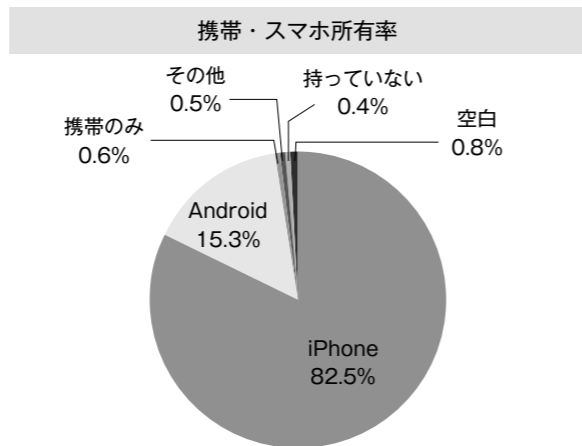


図 2016年度新入生アンケート調査結果 (n=1060)

おわりに

今後は、PC教室の代わりに新入生全員にノートPCを購入してもらい、授業に持参する方法も考えられますが、学生にとっては、経済的な負担や常にPCを所持しなければならない様々な弊害、教員にとっては異なったPC環境での授業効率の低下による教育効果の劣化、大学にとっては学生持参のPCのケアや管理・指導などに要する人件費などの問題点が指摘されており、PC教室の未来について難しい舵取りを迫られています。

(名古屋外国語大学メディア情報教育センター 大矢芳彦)

国立病院機構名古屋医療センターと名古屋学芸大学の連携協定調印式が行われました

2015年12月1日(火)、国立病院機構名古屋医療センターと名古屋学芸大学との看護学部設立・運営に関する連携協定調印式を、名古屋看護助産学校において執り行いました。

名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校には3年制の看護学科がありますが、より高度な医療の知識と技能・技術を有する人材を育成するために4年制の看護学部への移行を計画し、公募で連携する大学を募った結果、本学に決定しました。

この連携協定により、名古屋医療センターの土地・建物を活用して本学が看護学部を設置・運営し、同センターと協力しながら、専門性を極めた高度な能力を持つ看護師の養成を行います。また、名古屋外国語大学とも連携し医療英語教育を充実させ、グローバルに活躍できる看護人材の育成も予定しています。現在、2018年度の学部開設に向け、文部科学省への学部認可申請やカリキュラムの検討等の準備を進めていますが、将来的には大学院看護学研究科(仮称)も設置する予定です。助産師については、当分の間、名古屋看護助産学校で1年制の助産学科を継続した後、その育成を引き継ぎます。

名古屋医療センターが国立名古屋病院として発足したのは1945年12月1日です。一方、本学の母体であるすみれ洋裁学院も同じく1945年12月1日に創立されました。双方の記念日

である12月1日に連携協定を締結できたことは不思議な縁を感じざるを得ません。今後は、各々が長年培った伝統と実績を土台に一層先進的な教育を行い、名古屋看護助産学校の教育理念「暖かい心と確実な臨床実践力」と本学の建学の精神「人間教育と実学」を融合させ、深い教養、倫理観と高度な看護実践能力を兼ね備えた人材の輩出を目指します。



名古屋医療センター 直江知樹院長(名古屋看護助産学校校長兼務)(左)と名古屋学芸大学 井形昭弘学長(右)

名古屋学芸大学同窓会創立10周年記念パーティ開催

2016年2月13日(土)「名古屋学芸大学同窓会創立10周年記念パーティ」を名古屋マリオットアソシアにて開催しました。

名古屋学芸大学同窓会は2006年に発足し、今年で10年目となります。10周年を記念しまして、「名古屋学芸大学同窓会創立10周年記念パーティ」を開催しました。当日は300名程の参加者となり、教職員の皆様のお力添えに深く感謝しています。

約1年前から企画を行い、10年目の卒業生である10期生の幹事も企画から参加し、先輩・後輩、学科を超えたメンバーで、一丸となって取り組んでいきました。

テーマは「木」。縦横無尽に枝を広げ成長し続ける様、それぞれの枝(同窓生)も、一つの幹(名古屋学芸大学)から育っている様子、これからも成長し続け年輪を刻む様を、今の大学と同窓会を表していると思え、「木」というテーマとなりました。「これから叶えたい夢(新たな種)」を書いて抽選イベントに参加したり、10年分の卒業アルバムの個人写真の展示等、いくつかのコンテンツを用意しました。

当日の進行には、名古屋外国語大学の在学生の方に司会をしていただき、受付などの進行も在学生の方々にお手伝いいただきました。誠に感謝しています。

これからも5年ごとに、全体の同窓会を行いたいと思っています。今後ともお力添えの程、何卒よろしくお願い致します。(名古屋学芸大学同窓会会長 安友裕子)



名古屋学芸大学同窓会 役員・幹事と在学生スタッフ

新実習棟が完成。新実習室での授業がスタートしました！

2016年3月、6号館1階の給食管理実習室と3階の栄養管理プロセス演習室（臨床栄養学実習室）として新しい実習室が完成し、4月よりその実習室で授業がスタートしました。2階の栄養教育実習室は9月完成予定です。この3つの実習室は管理栄養士養成校の設置基準となるもので、管理栄養士の実務に近い実践的な実習を行います。他の大学には無い、とても素晴らしい実習室です。

給食管理実習室（1階）

この実習室で2年生が給食管理実習を行います。この実習室は、企業食堂、病院、福祉施設などの食事提供や学校給食など、一度に大量に食事を作る給食業務が体験できるように造られています。まさに一つの給食事業所を集約したものがここにあり、栄養管理室、衛生管理室、荷受室、食品庫、物品庫、検収室、下処理室、調理室、パントリー、実習食堂、男女ロッカー室、リネン室、演習室、テストキッチン、清掃用具室の16エリアから成り立っています。安全で安心できる食事が提供できるよう、HACCPシステム（衛生管理に必須とされる世界的に普及している食品安全管理方式）を導入し、徹底した衛生管理を行い、食中毒等の事故防止法も学習します。



厨房、食堂

新実習室の特徴その1 実習室全体で消費する電気、ガス、水道の使用量が把握できるようにセンサーが取り付けられており、栄養管理室にあるメーターに表示されます。また実習で消費した光熱費も計算できるので、経営的な観点からもより細かく学べます。

新実習室の特徴その2 厨房に入らなくても実習室の動きを把握できるカメラを搭載しています。各室ごとにアナウンスもできるので、すぐに必要な情報を実習生に伝達することができます。録画もできるため、後日その映像をもとに反省会や衛生管理、危機管理の見直しなどもできます。



モニターと厨房

新実習室の特徴その3 原材料や調理完成品などの細菌検査、器具や設備表面の清浄度検査、手洗い検査や水道水の塩素濃度測定、室内の浮遊菌の測定などさまざまな衛生検査を行うことができる衛生管理室があります。



衛生管理室

栄養管理プロセス演習室（臨床栄養学実習室）（3階）

この実習室で3年生が臨床栄養学実習と応用栄養学実習を行います。病者、乳幼児、高齢者など普通の食事でないときに、何をどのように食べるとよいかを学びます。このように、人の栄養管理を行うには、対象者のことを詳しく把握して、目標と計画をたて、その効果を評価します。この流れを「栄養管理プロセス」と言います。

新実習室の特徴その1 この実習室は三つのエリアが仕切りのない一つのフロアに配置してあります。これは、「測定エリア」である患者を測定・評価し、「講義・演習エリア」で栄養治療計画を考え、「調理エリア」でその食事を作る、この一連の流れを実感しながらスムーズに一度に学習するためです。



全体、計測エリア

新実習室の特徴その2 講義・演習エリアはアクティブラーニングに最適な環境になっています。ここで行う演習は、グループディスカッションとプレゼンテーションを繰り返します。各グループのパソコン端末やスマートフォンのデータを教員のパソコンと繋ぎスクリーンに映し出すネットワークシステムを完備しています。また、すべて移動式の机なので、様々な形で利用できます。



講義エリア

新実習室の特徴その3 料理エリアは、普通に料理をすることもできますが、離乳食、幼児食、高齢者の介護食、患者のための治療食、噛めない・呑み込めない患者のために柔らかいゼリーのような特別な食事を作ることが可能です。



調理エリア

（管理栄養学部管理栄養学科 塚原丘美）

「第2回 栄養教諭と語る会」を開催しました

現在40名ほどの管理栄養学部卒業生が県や市の栄養教諭として採用されて、小学校などの食育の現場で活躍しています。

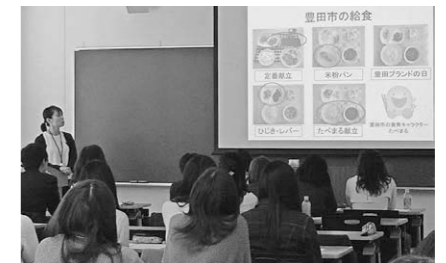
2016年2月27日（土）に本学において、「第2回 栄養教諭と語る会」を開催しました。「栄養教諭と語る会」は、栄養教諭として働く卒業生に栄養教諭同士の交流の場を提供するものです。また、栄養教諭を目指す学生が「先輩」との情報交換を通して、教員採用試験突破のためのモチベーションを向上させます。

参加者は、卒業生（愛知県、名古屋市、岐阜県、三重県、静岡県、福井県でそれぞれ働く栄養教諭）19名、在学生34名、および教員17名でした。会は3部構成でした。第1部「卒業生と教員の顔合わせ会」では、教員挨拶の後に、卒業生それぞれが近況を報告し合いました。第2部「現役栄養教諭によるガイダンス」では、卒業生のうちの4名が栄養教諭としての仕事を詳しく紹介しました。教員採用試験合格までの道のりを紹介するものもあり、在学生も真剣に耳を傾けていました。第3部「情報交換会」では、卒業生、在学生に教員も交えて、情報交換を行いました。栄養教諭同士で仕事のコツや悩みなどを共有し合ったり、在学生が卒業生に積極的に質問したりする姿が多く見られました。

終了後のアンケートから、卒業生、在学生のどちらにとって

もこの会がとても有意義であった様子がうかがえました。参加していただきました皆様に感謝いたします。今後も、栄養教諭に関する行事等を定期的に開催する予定ですので、ご協力をお願いします。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍をお祈りいたします。
（管理栄養学部教職課程委員会 伊藤勇貴）



第2部「現役栄養教諭によるガイダンス」の様子



第3部「情報交換会」の様子

保健行政管理栄養士交流会を開催して

社会における管理栄養士の活躍分野は、日々誰しもが口にする「食」の世界であるため臨床栄養に代表される「病院・診療所」に留まらず、健康増進や食育に代表される「学校」「児童福祉施設」「事業所」等広範囲にわたります。

また高齢社会となった現在では、地域住民の健康増進、介護予防を推し進める「保健所、保健センター」での管理栄養士の役割も期待されています。

本学に管理栄養学部が設置され卒業生が輩出されて11年がたち、この保健所、保健センターに代表される公衆栄養の分野で活躍される管理栄養士の卒業生も増えてきました。

しかし近年、市町村合併による業務の広域化、それに伴う多岐にわたる地域住民のニーズの中で行政改革を始めとした組織の見直しが進められ、管理栄養士は少数配置であるのが現状です。

そこで去る3月12日（土）名古屋グランドホテルにて、この分野の卒業生の交流会を初めて開催しました。

当日は年度末の忙しい時期にも関わらず、愛知県、岐阜県、

三重県で活躍される卒業生10名と山中克己管理栄養学部長を始め教員4名で、近況報告による交流そして今後の活動について意見交換をしました。

卒業年度は違っても名古屋学芸大学で学んだ卒業生同志、初対面にも拘らずすぐに打ち解け、瞬間に時間は過ぎ有意義な交流会となりました。

活動する行政区分は異なれ、地域住民のニーズや健康課題に一生懸命、向き合い取り組んでいる卒業生の発言は、管理栄養士のチカラが地域のヘルスプロモーションを高めるうえで必要不可欠なものであることを語っていました。

この交流会をきっかけとして今後は自主的な勉強会とともに在学生との交流の機会を設けることで、地域集団への疾病予防、健康増進の重要性を知ってもらい、保健所、保健センターで活躍する管理栄養士の役割や魅力を伝えるとともに「食のスペシャリスト」である管理栄養士としての学びが地域貢献できる強みであることを伝える場になることを期待しています。

（管理栄養学部管理栄養学科 川崎和彦）

名城大学総合研究所と管理栄養学部との学術研究 交流協定

2015年3月23日に名城大学総合研究所と名古屋学芸大学管理栄養学部との学術交流協定が結ばれました。これは、2020年東京五輪に向けた選手育成策の一環として、スポーツ栄養学の研究・実践を両大学の研究所と学部が連携するものです。その発端は、2009年より本学部の田村明教授が指導するゼミ生が、名城大学の女子駅伝部の寮で提供する朝食と夕食の献立を作成し、夕食は調理もサポートしてきたことに始まります。駅伝選手に多い鉄分の摂取不足による貧血の症状が改善される効果生まれ、田村ゼミの学生もその成果を卒業論文（『月経異常～Energy availabilityとの関連』『健康管理～食事面からのサポート』など）にまとめて発表してきました。また、その内容は、名城大学の女子駅伝部員へのフィードバックの意味をこめて、部員たちの前でも発表し報告してきました。名城大学女子駅伝部は、2015年度の全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）において食事面でのサポートと部員たちの努力により準優勝を勝ち取りました。このような関係を発展させ、2016年度からは、本学部が名城大学の他の運動部に対してもサポートしていくことになりました。また、運動部の学生が暮らす寮では、委託給食業者が食事を提供していますが、本学部の教員がその献立について助言・指導したり、食事が提供されない休日には学生が直接調理したりする予定になっています。

この学術交流によって、本学部の学生は、講義や学内での

実習では得られない経験ができるメリットがあります。本学部の学生は、スポーツ栄養に興味をもって学びたいと思入学生してくる学生は多く、それを実践として学ぶことができます。さらに、調理して提供し、その成果を発表することで、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、および調理技術をも身に付けることができます。本学の建学の精神である『人間教育と実学』をまさに実践しているといっても過言ではないこのシステムを大いに発展させ、今後は学部をあげて取り組んでいきたいと思っています。そして、実践力のある学生が数多く育つことに期待し、そのような力のある学生を社会に送り出していきたいと考えています。

（管理栄養学部管理栄養学科 学科長 和泉秀彦）



第6回 国際ユニヴァーサルデザイン会議2016 プライベート開催報告

名古屋学芸大学も準会員として参加している一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（略称：IAUD）は、2016年12月に開催予定の「第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議2016 in 名古屋」のプライベートを3月17日に開催しました。



IAUD 総裁 瑠子女王殿下

「ユニヴァーサルデザインによる共有価値の創造」の大会テーマのもと、国内外より約240人の参加者が、会場としてお借りした本学ヒューマンケア学部の教室に集まりました。開会式のご挨拶として登壇されたIAUD 総裁の瑠子女王殿下からは、「私は父（前総裁寛仁親王殿下）の言葉『100%の障害者はいない。

100%の健常者もない。』のもと、育ってきました。私は父のその言葉に、『だからこそ、ありのままの自分と向き合い、そして人とのつながりを持ち、助け合い補い合っていくべき』と加えたい。ユニヴァーサルデザイン（UD）を知ろうとすることは、周りに対して、そして自分に対して知ることが大切であり、自分の思いや考えを言葉にして伝えることも重要です。参加者それぞれがしっかりと議論していただきたい。」とお言葉を賜りました。

次に、来賓として東京よりお出でいただいた経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課長の西垣淳子氏は挨拶の中で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、UDへの関心が高まっています。あらゆる人々が安全で安心して暮らしてゆける街づくり、国づくりを日本から発信していくことが大切です。今、各業界の垣根を越えて、様々な社会システムや地方活性化が重要になっており、デザインが果たす役割がますます重要視されています。その中でUDをベースにした考え方は必須であり、今後もIAUDの取り組みを支援していきたい。」と述べられました。

また、同じく来賓として登壇された大村秀章愛知県知事は、「すべての人が輝き、すべての人が活躍をする日本一元気な愛知県を目指し、併せて豊かさを実感できる県民生活の実現を目指します。愛知県は2015年を観光元年として、キーワード「ハート・オブ・ジャパン」を掲げました。愛知は技術と伝統の場でもあることをアピールしています。すべての人にやさしい環境を作ることが必要であり、UDの考え方で地域、まちづくりを行っていきます。」と挨拶されました。

歓迎の辞としてスピーチされた井形昭弘名古屋学芸大学学長は、「いろいろな人たちがともに楽しく快適に過ごせるように、思いやりを持って行動し、また生活環境の改善のためにUDの理念は未来社会にとって魅力的であり、不可欠です。本学も多くの人と手を取り、未来のUDのために協力していきたい。」と述べられました。

開会式に続いて行なわれた記念シンポジウムでは、まず基調講演として、日進市立竹の山小学校校長の宮道弘巳氏による「日進市におけるUD教育について～3年間の実践～」、そして本学メディア造形学部長の木村一男氏による「デザインの新しい時代」が行なわれました。続く特別セッションでは、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会（JIDA）中部ブロックによる「名古屋観光ビジネスのデザイン提案～市民意識の変化～」のプレゼンテーションが行なわれ、海外からの参加者による質問もなされるなど、大いに盛り上がりしました。

シンポジウムに続いて、IAUDアワード2015の表彰式と受賞者プレゼンテーションが行なわれました。このために海外から駆けつけた受賞者もあり、まさに国際色豊かなイベントとなりました。

記念シンポジウムの後に開催された交流会では、愛知県副知事の森岡仙太氏のご挨拶、河村たかし名古屋市長の乾杯のご発声がありました。そして、本学副学長の杉浦康夫氏の歓迎挨拶の後、和やかに歓談が行われ参加者間の交流が図られました。12月の本番へ向け、地元の関心を高めて行くことで、関係者一同、あらためて意識を共有することができました。（一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会専務理事／名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科長 川原啓嗣）



記念シンポジウム会場の様子



交流会の様子

2016年度 映像メディア学科卒業・修了制作展

今年度の映像メディア学科の卒業・修了制作展は2016年1月13日(水) から17日(日) までの5日間、愛知芸術文化センターで開催されました。

映像メディア学科とデザイン学科、2学科同時期での開催で、映像メディア学科は写真やインスタレーション等の展示作品に加えて、映画・3DCG・アニメーション・ドキュメンタリー作品の上映並びに、パフォーマンス作品の上演など、111名による、97作品が発表されました。

今回初めての試みとして、愛知芸術文化センター地下1階の芸術劇場小ホールを会場として借りることができ、シアターで見るような上映と、本格的な設備でのパフォーマンス公演を実現できました。同会場での特別ゲストとして、映画監督である諏訪敦彦氏、青山真治氏をお招きして、仙頭武則教授とのトークイベントがおこなわれました。

広報の面でも力を入れ、地下鉄の中吊り広告、映画館でのCM上映に加え、学生が主体となったSNSでの情報発信など、大きな盛り上がりを見せました。その結果、来場者はギャラリー、小ホール併せて延べ4500名を数え、昨年より3割ほ



ど多くの方に来場いただきました。

どの会場でも、来場者へ丁寧な対応をする学生の姿が見られ、自分たちの作品を見せるということに自覚を持った姿は頼もしく思えました。

個々の作品だけでなく、展覧会全体の運営も含め、4年間の集大成として相応しい展覧会になりました。



全国規模のコンペティション

1. 「ACジャパンCM学生賞」において優秀賞を受賞

作品 「檻の中の命」

(制作チーム)

水野利隆
杉山一真
馬越大裕
大橋一毅
古田恭大
三浦絃彰
松井亜久理



2. 水谷汐里さん(3年生)

「インディーズアニメフェスタ」で大賞(三鷹市賞)を受賞と、「TOHOシネマズ学生映画祭」において、ロボット賞(特別賞)を受賞



Add展 2016 ~体感する映像~

2016年2月17日(水) から2月21日(日) まで、刈谷市総合文化センターにおいて「add展2016 ~体感する映像~」が開催されました。

この展覧会はインスタレーション領域の学生が中心となって企画・広報・運営を行う展覧会で、今回で3回目となります。

「加える」という意味の「add」には、領域を超えてお互いに影響を与えあい、作品の更なる発展を目指す、という思いが込められています。出品者はインスタレーション領域を中心に、写真、CG、サウンドなど他の領域の3年生、大学院に進み研究を継続する予定の4年生も加わり、さらには現在作家として活躍する卒業生も加わるなど領域と学年を横断したものになりました。

今回は、映像を「見る」だけでなく、全身で「感じる」作品や展示空間を設定することで、もう一度映像のあり方を見つめ直す場とする、という展覧会のコンセプトが提案されました。

出品された作品はゼミ展(3年次制作展)のものをベースにしたものが多く、写真やサウンドインスタレーション、ビデオイ

ンスタレーション、アニメーションの上映など多様な表現への取り組みが感じられるものでした。

会場では、来場者に丁寧に作品を説明するなど、積極的にコミュニケーションをとる学生の姿が見られました。通りすがりの一般の方や地元の高校生から、今年度開催される「あいちトリエンナーレ2016」のキュレーターの方まで様々な人に観ていただくことができました。撤収・搬出の際には担当の学芸員の方から、「今年も面白かったです。来年度も是非お願いします。」とのお言葉をいただきました。

ゼミ展を終え、改めて自身が制作したものを見つめ直し外部で発表する機会、卒業制作展に向けてのスタートの機会、展覧会の運営を実践的に学ぶ機会など多様な意味を持つ学びの場としての展覧会になったと思います。



キッズファッションデザインコンテスト 1次審査通過作品30点の中からファッション造形学科 学生4名が入賞

2016年3月20日(日)、神戸ハーバーランドスペースシアターにて公益財団法人神戸ファッション協会が主催する「インターカレッジキッズファッションデザインコンテストKOBÉ」の最終審査会が開催されました。

このコンテストは、「ファッション都市・神戸」で行われる日本と世界のファッション業界の次代を担うクリエイターを応援するため、全国のファッション系大学・短期大学・専門学校等の学生を対象に今年から始まった子供服のコンテストです。

全国から集まった1,415点のデザイン画から1次審査に30点選ばれ、ファッション造形学科からは5名のデザイン画が入

選しました。

最終審査会は、一般公募で選ばれたキッズモデルが、入選作品を着てランウェイを歩くファッションショー形式で行われました。審査の結果は、キッズ・ジョイ賞・キムラタン賞・ファミリア賞・フェリシモ賞と4名が企業賞をいただきました。



キムラタン賞

佐々木 優子さん (現4年生)
作品名「Knit lace」



フェリシモ賞

青島 里奈さん (現3年生)
作品名「delight rainy day」



キッズ・ジョイ賞

伊藤 来夢さん (現3年生)
作品名「Swelling」



ファミリア賞

岡崎 仁美さん (現2年生)
作品名「羊を纏う」

ドイツ国立プフォルツハイム大学から3名の学生が来学

ファッション造形学科では、2010年から交流のあるドイツ国立プフォルツハイム大学から3名の学生を受け入れました。

2015年度から受け入れ、今年で2年目となりました。

来日した3名は、4月～6月までの3か月間、ファッション造形学科の学生とともに授業を履修し、主に染色の授業や織・編の授業、クリエイティブデザインやドレーピングの授業など様々な専門科目の授業を履修しました。

本学科では、織機や編機を使用した授業が開講されているため、3名はドイツ国内ではめずらしい機器を使用した授業に興味を示し、大変熱心に取り組みました。彼女たちの理解の速さとクリエイティブな発想力は、日本の学生達に良い刺激となりました。その他、型染め・絞り染めなど日本の伝統的な染色から最新の染色技法や大型プリンタを使用した染色にも挑戦しました。

また、専門分野の演習授業に参加しながら、姉妹校の名古屋外国語大学で開講されている日本語のクラスで語学も学び、ひらがな・カタカナはもちろん、漢字にも興味を持ち、多くの日本語を習得しました。



学内での授業以外にも、新入生オリエンテーションの学外ガイダンスと一緒に参加し、1年生とともに伊勢神宮の参拝や、トヨタ産業技術記念館の見学を行いました。その他にも、神戸ファッション美術館の見学など、3名は学外での研修を通じて学生たちと授業以外でも交流ができました。

さらに、東京研修や奈良・京都研修で、日本の文化に触れ、3名に多くの経験をしてもらえるように様々な研修を計画し実施しました。本学での経験が、両大学の更なる親交につながるとともに、ファッション造形学科の学生達がグローバルな視野を持ち、今後海外で活躍していくことを願っています。

ヒューマンケア学部

ヒューマンケア学部C棟食堂 n+CAFE リニューアルオープン

この度、ヒューマンケア学部C棟の食堂がNカフェとしてリニューアルオープンしました。嬉しい限りです。

Nカフェは、人気の日替りメニューや充実した飲み物等、学生のみならず教職員のニーズにマッチしたメニューが揃っており、好評です。また、おしゃれなカフェ気分も味わえ、学生たちが自由におしゃべりしたり、勉強している風景がよく見られます。

これから、Nカフェが楽しい食事の場および憩いの場として、より多くの学生に利用されることを期待します。

(子どもケア学科長 釜賀雅史)



学生の声

食堂全体がおしゃれな感じになった、活気が感じられる、パスタがその場で調理してあるので美味しい、日替りメニュー（パスタ2種とどんぶり2種）は特にお勧め、等々。ただ、お昼がいつも混雑することが難点、席数を増やしてほしい。
(子どもケア学科2年女子)



ヒューマンケア学部C棟食堂 n+CAFE 店長さんに聞きました。



有馬店長

1 このたび、食堂に出店していただきました。出店を決断された動機をお聞かせください。

近隣にいくつか自社で経営する店舗もあることからもっと地域性を深めたい事や外食ばかりを手掛けて来たので中食というジャンルに挑戦したいという思いからやってみようと思いました。

3 今後、どのような食堂にして行きたいと考えていますか？

今後は具体的な変更点として営業時間の調整や釜を導入しカレー＆ナンを提供していきたいと思っています。学生さんからの声も多いので、デザート類も充実していきたいです。また、店内を相席しやすいような席配置、デザインにしていきたいと思っています。どなたでも入れてゆっくりできる空間にしていきたいです。

目標は今までの学食を超え愛知県で1番、といってもらえるような学食を提案していきたいです。

2 営業を開始してみて、利用者（学生）の反応はいかがですか？

非常に喜んで頂けているように感じます。こちら側でアンケートも取らせていただいているのですが温かい意見を沢山頂いております。

4 その他付け加えることがあればお聞かせください。

学校側（学生さん等）と一緒に、食堂を利用して地域を巻き込めるようなイベントなどができたら面白いなと思っています。

意欲満々の有馬店長さんのお話でした。営業時間も延長していただき、ますます利用しやすい食堂にしていきたいと思っています。早くインタビューに応じていただき、ありがとうございました。

新2年生オリエンテーション報告

短期大学部では、2年次の大学生活をスムーズにスタートができるよう、年度末から年度初めの3月28日(月)、29日(火)、4月6日(水)、7日(木)の4日間にわたってオリエンテーションを開催しました。

今年度は新しい試みとして、2~4日目に外部から講師を3名お招きし、学生生活や就職活動においてはもちろん、卒業後、社会人としても知っておくべきさまざまな問題を取り上げて、講演をしていただきました。

初日の履修登録、基礎力テスト、コース別ガイダンス等、通常のオリエンテーションに続き、2日目は、「知っておきたい働くときの基礎知識」をテーマに、社会保険労務士で本学非常勤講師の岩田純先生にご講演いただきました。愛知県の最低賃金(820円)から始まり、求人票の見方や労働法についての基礎知識、ブラック企業・ブラックバイトの見極め方、就職後に必要とされる社会人のルール、さらにはマイナンバー制度に関する注意点まで、図や表を用いながらわかりやすく解説してくださいました。就職活動を目前に控えた学生にとって、仕事について深く考えるきっかけになったことと思います。

休憩をはさみ、学科長からの年間行事の説明、学生会とチアフレンドによる活動計画の紹介と行事への参加の呼びかけに続き、コースの学生代表によるコース紹介を行いました。各コースが、授業内容や学外実習、行事、目指す資格などを写真入りのスライドで紹介することにより、お互いの学生生活の様子を知ることができました。また、昼休憩にはチアフレンド主催のランチ会を行い、コースを越えて学生同士の親睦を深めることができました。

3日目は、就職活動におけるSNSの使い方やセクシャルハラスメントについて、学生へのアンケートなどから出てきた具体的な事例を挙げながら注意喚起を行い、引き続き「犯罪に巻き込まれないために」というテーマで、愛知警察署生活安全



愛知警察署防犯講演(中央が愛知警察署の署員)

課の方からご講演をいただきました。愛知県は空き巣の被害件数が全国ワースト1で、中でも愛知署が管轄する日進・長久手地域は愛知県内で最も多い地域であるという話題から始まり、学生たちは意外な事実で驚きの声を上げていました。大学周辺でひとり暮らしをする学生もいるので、空き巣の手口と対策についてお話いただきました。さらに痴漢対策として、電車内での立ち位置に気を付けることや、普段から防犯ベルを携帯するなど、防犯意識を持つことが一番の防犯対策になることを教えていただき、最後に簡単な護身術も実演指導していただきました。

4日目は、PROG検査に続き、「女性の心と体に強くなる」というテーマで開業助産師の篠田恵見先生から、月経や感染症、妊娠、中絶等を例に、自分の身体について正しい知識を持つことの大切さと、デートDV等、性をめぐるさまざまな問題についてご講演をいただきました。最後に先生から「自分を大切に、女性として輝いていかれますように応援しています！」とメッセージをいただきました。

4日間を通じて、2年次の学生生活のモチベーションアップとなる有意義なオリエンテーションとなりました。今回、各方面の専門家の先生方が講演の中で取り上げた事例を、学生たちが他人事ではなく自分のこととして考えて、充実した学生生活を送れるよう願っています。(短期大学部 山本恭子)



チアフレンドによる年間活動計画の紹介

名古屋ファッション専門学校

NFFF2016開催

2016年2月13日、名古屋ファッション専門学校の最大イベントである「名古屋ファッション専門学校ファッションフェスティバル2016」が、ナディアパーク3階デザインホールで開催されました。

総合テーマを「CROSS BORDER」とし、今年度より審査委員長をつとめる卒業生、中島篤さんの東京コレクションでショー演出を手がける牧瀬貴美香氏による演出にてショーをおこないました。また、特別協賛企業として名古屋パルコ様の全面協力をいただき、「栄を盛り上げよう!」を合言葉に(株)ストラディバリウス・ジャパン、(株)ファッション コア ミッドウエスト、(株)マッシュスタイルラボ、リー・ジャパン(株)、(株)ワールドの各社様から商品をご提供いただきました。更に昨年度に引き続き、スワロフスキー・ジャパン株式会社様よりスワロフスキー・クリスタルの素材協賛、YKKファスニングプロダクツ販売株式会社様よりファスナー素材の提供をいただくことができ、より一層産学協同の成果をご覧いただける内容となりました。今回は昨年までとは趣を変え、「ATSUSHI NAKASHIMA」の2016・SS作品でステージが開幕、普段見ることの少ないコレクションラインの作品に会場が沸きました。第一回のショーののち、協賛くださった企業様から参加された外部審査委員の方々

による厳正な実物審査が行われ、スワロフスキー・クリスタル部門のグランプリには木村彩夏さん、YKK部門のグランプリには稲田真矢さん、クリエイション部門グランプリには神谷菜月さんの作品が選ばれ、アイテムのプロモーションをテーマにトータルコーディネートを発表したコーディネート部門では、ミッドウエストオリジナルブランドのアイテムを使用した、伊藤可那さん、桑原裕乃さん、高木乃衣さん、中井美保子さん、中道彩香さん、松本菜美さんの作品がグランプリを受賞しました。ナディアパーク2階のアトリウムでも学生作品の展示を行い、1年ファッションマスター科、ファッション造形科の学生による子供服コンテスト作品展示、1年ファッション流通科によるコンテスト作品のVMD展示とポスター制作、2年ファッション流通科の学生による企業プロモーション企画など、普段一般の方々に見ていただく機会の少ない授業の作品展示が人気投票の対象として展示され、多くの来場者の皆様にご覧いただきました。



「ATSUSHI NAKASHIMA」2016SSコレクション



スワロフスキー-エレメント部門を受賞した木村さんと作品



YKK部門グランプリを受賞した稲田さんと作品



クリエイション部門グランプリを受賞した神谷さんと作品



コーディネート部門グランプリはゴスロリとモードの融合がテーマ



アトリウムの展示には多くの方が足を止めてくださいました

名古屋総合デザイン専門学校

2016年4月27日(水)・28日(木) 1泊2日
観光バスで移動

1年生学外研修旅行

グラフィックデザイン科とインテリアデザイン科の1年生全員で神戸方面へ研修旅行に行ってきました。研修旅行の主な課題はスケッチ。雨天の中、スケッチブックを広げるのは、なかなか難しく、学生の大半は、風景や建物を撮影し、これを元に後日絵を描く事にしたようです。

27日(水)	神戸中華街、北野異人館 宿泊：ホテルオークラ神戸
28日(木)	宝塚市立手塚治虫記念館(兵庫県宝塚市) 日本民家集落博物館(大阪府府中市)



宝塚市立手塚治虫記念館



北野異人館



神戸中華街



名古屋外国語大学

名古屋学芸大学

名古屋学芸大学短期大学部

NSC

名古屋外国語大学

名古屋学芸大学

名古屋学芸大学短期大学部

NSC

名古屋栄養専門学校

家庭料理技能検定で文部科学大臣賞受賞の快挙

毎年9月に実施される、文部科学省後援「家庭料理技能検定」を名古屋栄養専門学校で実施することとなり、昨年で7回目を終えることができました。この検定試験は、筆記試験と実技試験で構成されており、本校を会場として3級および2級の検定試験を行います。

内容は、本校の学習に直結するものであり、学生が自分の実力を客観的に評価できるものとなっています。意欲的な学生が多く、1年生で2級に挑戦する学生も増えてきました。例年、本校は全国平均を上回る好成績を残しています。合格者の中で特に成績優秀なものには文部科学大臣賞をはじめ全国検定振興機構理事長賞、香川栄養学園優秀賞などが授与され、本校は毎年、数多くの表彰者を輩出してきました。

今年の2月16日、東京の女子栄養大学で行われた表彰式では、1年生(現2年生)の道家梓さんが2級において文部科学大臣賞に輝きました。学校の誇りです。

今年度からは4級試験も受験可能になります。食と健康に関心のある方が増えるように願っております。



文部大臣賞を授与される道家梓さん

若手卒業生の「特別調理実習I」

今年度から新たに開講された「特別調理実習I」で、いずれも本校卒業生で、調理の指導に当たっている若手3人、三池由香利さん、永津龍志君、西村諒子さんを講師として迎えました。2年生前期の指導に当たっています。それぞれ

の内容は以下の通りです。
三池先生のアレルギー対応食の実習で、卵の代わりにジャガイモやカボチャのペーストを焼き上げて、見た目オムライスそっくりに仕上がったときは衝撃的でした。

ビュッフェ料理とアレルギー対応食、災害食(三池由香利)

- 第1回 ビュッフェ料理①
- 第2回 ビュッフェ料理②
- 第3回 アレルギー対応食①三大アレルゲン(卵・乳・小麦)除去食
- 第4回 アレルギー対応食②アレルギー対応食品(調味料や加工食品)を使った調理
- 第5回 もしもの時に備える災害食
—ライフラインが止まった時の調理



三池由香利先生



三池先生のビュッフェ料理

西洋各国料理(永津 龍志)

- 第1回 スペイン料理
- 第2回 ポルトガル料理
- 第3回 トルコ料理
- 第4回 ドイツ料理
- 第5回 ロシア料理



永津龍志先生



永津先生のトルコ料理

フランス郷土料理(西村 諒子)

- 第1回 ブルターニュ地方の料理
- 第2回 パリのカフェメニュー
- 第3回 ブルゴーニュ地方の料理
- 第4回 バスク地方の料理
- 第5回 プロヴァンス地方の料理



西村諒子先生



西村先生のブルターニュ地方の料理

名古屋製菓専門学校

「名古屋製菓祭」卒業進級作品展 ~今年も大盛況~

2016年2月14日(日)15日(月)に本校にて、名古屋製菓祭がおこなわれました、毎年約2000人の方が来場され、今年も、洋菓子科、製菓衛生師科、製パン科の学生が自分の作品を作り上げました。また、作品展示だけではなく、ケーキ・パン・焼き菓子のテイクアウトコーナーや、カフェなどを行い沢山の皆様楽しんで頂きました。



カフェの様子



名古屋製菓祭 製パン卒業作品の部
グランプリ作品
製パン科 牛澤佳那子さん



名古屋製菓祭 製菓卒業作品の部
グランプリ作品
洋菓子科 甲斐瞳さん

コンテスト上位連続受賞で表彰!

2016年3月17日(木)卒業式にて、本校の学生が多数表彰されました。理事長賞として、技能五輪全国大会で金賞を受賞した洋菓子科2年朝倉綾子さん、学校長賞には同大会で銀賞を受賞した杉本恵子さん、銅賞を受賞した前田悠生乃さん、またジャパンケーキショー東京で銀賞を受賞した、甲斐瞳さん、銅賞を受賞した榎本有里さん、加藤由樹さんの6名が受賞しました。また愛知県知事賞には、日頃の授業に取り組む姿勢も評価され、他の学生の模範として評価がえられた、町野朱音さんが表彰されました。

表彰された方々は日頃の授業に対する取り組みや、自分自身の技術の向上に力を注ぎ、成し得た結果だと思います。卒業後は社会人となり、力を発揮し、人に喜んでもらえるパティシエになってくれることを願っています。



ジャパンケーキショー 銀賞作品
洋菓子科 甲斐瞳さん



技能五輪優勝作品 洋菓子科 朝倉綾子さん



菱野幼稚園 だより

HISHINO KINDERGARTEN



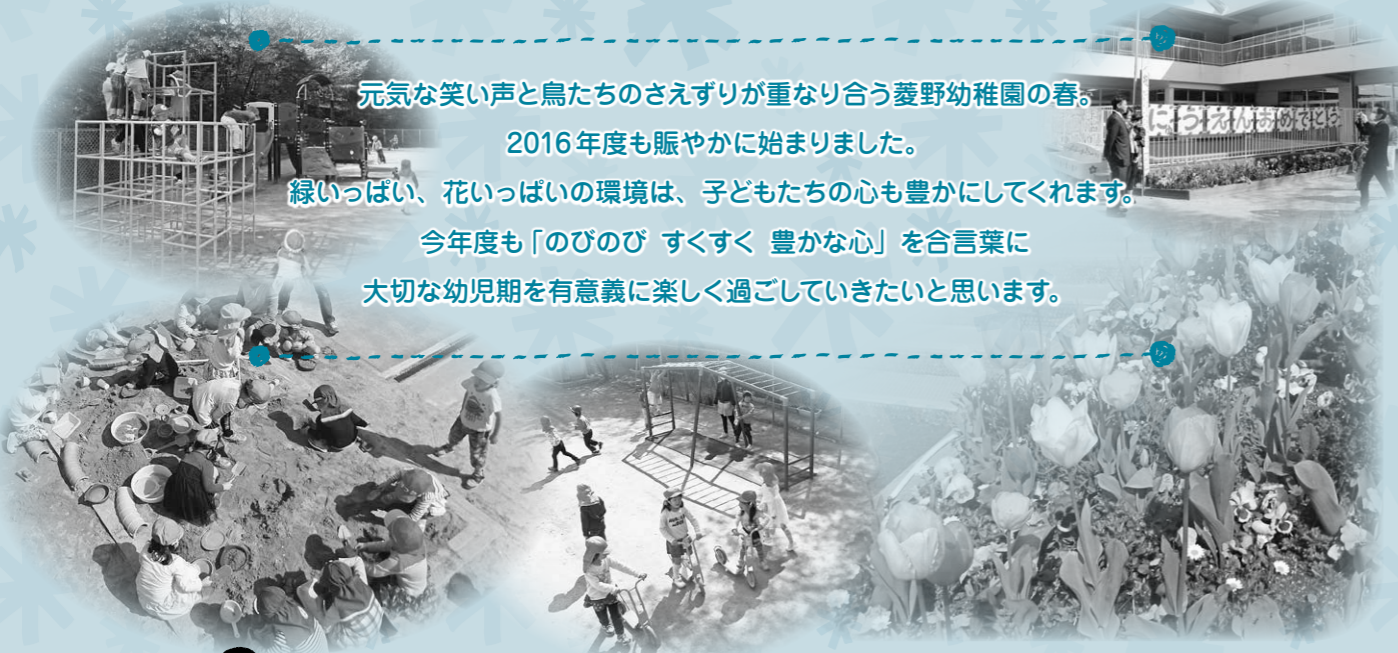
元気な笑い声と鳥たちのさえずりが重なり合う菱野幼稚園の春。

2016年度も賑やかに始まりました。

緑いっぱい、花いっぱいの環境は、子どもたちの心も豊かにしてくれます。

今年度も「のびのび すくすく 豊かな心」を合言葉に

大切な幼児期を有意義に楽しく過ごしていきたいと思ひます。



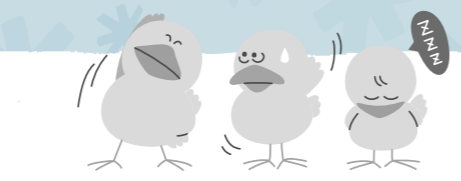
移動動物園 (5/18)

今年も動物たちがたくさん幼稚園に来てくれました。園庭は一日動物園に早変わりです。ポニー、羊、山羊、亀、豚、うさぎ、モルモット、そして前日に生まれたばかりのヒヨコたちです。

ポニーの背中に乗ったり、山羊のひげを触ったり、ふわふわのうさぎを抱っこしたり、生まれたばかりのひよこをそっと手のひらに乗せたり……と動物たちと直接ふれあいました。

にんじんやキャベツをあげるとモリモリ食べてくれることが嬉しかった子もいます。動物たちのあたたかさややさしいまなざしを知り、心がほっこりとした子もいたことでしょう。

そうです。みんな大切な命。大切な地球の仲間たちです。



母の会活動とは

「母の会活動」は、小中学校でいうところのPTA活動です。保護者と教職員が会員で、協力し園児の福祉増進をはかることが目的となっています。この活動により幼稚園での生活や行事がより豊かでより充実したものになります。

菱野幼稚園では、お母様方の中から「学級委員」、「地区委員」、「図書委員」を合わせて40名選出し、保護者代表として活動の中心を担っていただいています。また、委員の中から会長を初めとする7名の役員を選出します。

5/27の母の会総会では、2015年度から引き継ぎ、2016年度母の会が正式にスタートしました。七夕夏祭り、運動会、餅つき大会などの行事をスムーズに進行するよう手伝っていただく予定です。また、こどもの日には「ちまき」、節分には「豆」、ひな祭りには「ひなあられや三色団子」といった日本の伝統的な食べ物を提供していただいたり、運動会や遊戯会などががんばったことに対するご褒美や卒園進級の記念品などを選んでいただいたりと一年を通しご支援いただくことになります。

子どもたちの豊かな育ちには、関わる大人たちの連携が不可欠であることを母の会の活動から感じます。今年度も子どもたちを真ん中に、保護者と教職員が力を合わせてよりよい教育活動を行っていきたくと思っています。



餅つき大会 お父さんたちの協力も



餅つき大会 お餅をカットしてきな粉餅に



七夕夏祭り ヨーヨー風船の準備

英語教室・絵画教室・体育教室



英語教室

幼児期に身につけておきたい分野は多岐にわたります。特に機能や感覚の柔軟性というところに着目すると、芸術、運動、語学の分野でも基礎となる力をつけることができる大切な時期といえます。

子どもは夢中になれる遊びを通して様々な力を獲得していきます。正課のカリキュラムであっても、課外教室であっても「遊びを通して」という観点は大切です。

菱野幼稚園では、英語教室は名古屋外国語大学ネイティブ講師のアリソン先生、ロバート先生、リチャード先生、絵画教室は日本画家の各務先生、体育教室はカワイ体育教室の後藤先生と江川先生に、専門家としてこの時期の子どもの特性を捉え指導していただいています。

子どもたちにとって、ワクワクする体験となっています。



絵画教室



体育教室

お伊勢参り・御蔭参り・ええぢゃないか

前岩崎城歴史記念館長 田中 義和

5月の伊勢志摩サミットを機に伊勢神宮への観光客や参拝者がふだんより多かったようです。伊勢神宮は古くから多くの日本人の尊崇の的であり、一生に一度はと願うのがお伊勢参りでした。

江戸時代、日進にも経済的に旅することの可能な人はいました。梅森町鈴木家所蔵の「梅里亭其斗・伊勢路の記行」には「神風や宮川清き水上ニ御舎をしめし給ふ天照大神、日の本のニタ柱（以下略）」と崇敬の言葉を書き出しにして、往復7日間の伊勢参宮の道中を記した紀行文や「享保十四年 己酉之九月三日 伊勢御せん宮 御しき布 小塚甚太夫 参宮仕候 以上」(白山宮所蔵)との記録からうかがえます。

江戸時代になって庶民の旅も増えてきたと言われますが、伊勢までの旅費は相当の負担であり、そこで生み出されたのがお伊勢参りを目的とする伊勢講という一種の相互扶助の仕組みでした。

日進に伊勢講が存在したとする史料は現在のところ見つからないので、これと関連付けるべきではないかもしれませんが、「文化八末年 伊勢参宮諸事留帳 閏二月十九日立 同行新兵衛・増衛門 松彦」(白山宮所蔵)には「本郷村 一 草鞋銭二百文 領吉(以下略)」の記録があり、約10種類の品目と39名ほどの名前が載っています。これは松彦なる人の伊勢参宮に際しての餞別か壮行会か判別しがたいのですが、このころの旅行が大事業であったことは想像できます。

江戸時代、旅行に出かけられるのは、社会的、経済的にそれが可能な階層か、伊勢講のような仕組みでしかなかったのでしょうか。慶安3年(1650)、伊勢大神宮の神符が降ったという噂が広がり、それは伊勢の神の伊勢参宮を促す神意であると考えられて、都市の奉公人、農村の小作人などの階層の人々が主人、雇い主、親方、親に断りなく出かけることも許される現象がおきました。無断のこの行為を「抜け参り」と呼び、伊勢参宮など夢でしかなかった階層の人々もそれが可能となりました。また、お伊勢参りの道筋の裕福な商人、寺院などが功德施行として、食糧や宿を無料提供しました。これらのお陰で伊勢参宮ができるようになったことから「御蔭参り」とよび、この年を「御蔭年」、お札が降る現象を「お札降り」と言っています。



長松寺・おかげ燈籠 (写真提供: 岩崎城歴史記念館)

その後、お札降りがあって御蔭年となったのは、宝永2年(1705)、明和8年(1771)、文政13・天保元年(1830)で、およそ60年周期でブームが起き、それぞれ数百万人規模の参宮者があったといわれます。日進の場合、お札が降った記録は不詳ですが、三本木町長松寺に「(正面)大神宮(右面)天保二辛卯九月吉日 おかけ(左面)三本木・前熊村・北熊村」と刻まれた石灯籠が遺っており、米野木町行者堂にも「(左面)おかげ夜燈(背面)文政十三庚寅九月吉日(正面・右面略)」と、同様の石灯籠があります。これについて、日進町誌本文編は「天保元年度の『御蔭参り』の記念碑的なものであろうが、三本木の他、前熊村・北熊村(ともに現長久手市)とあることとともに、その意味するところが十分にわからないのは残念である」としています。今後この灯籠に関する史料が発見され、その前後の経緯が判明すればと思います。

慶応3年(1867)三河にお札が降り、その波は尾張、遠江に拡がり、東西に江戸、広島地方にまで及びました。このお札降りでは、神符のみならず「仏像や小判から、中には生首から生きた娘まで降って」(日進町誌本文編)きて、民衆は「ええぢゃないか」と囃したてながら狂喜乱舞、練り歩いたとされます。この「ええぢゃないか」は御蔭年に当たらなく、それまでの御蔭参りとは区別して考えられています。

日進でお札が最初に降ったのは本郷村で、慶応3年9月から約149日の間に24戸の家(内1戸は観音堂)に33体のお札類が降ったと「天降御神祭礼記(本郷村山田定三郎・慶応4年)」(本郷町塚本家所蔵)は記録しています。そのほか、北新田村八幡社の棟札、岩崎町清水家所蔵の史料にもこの事の記録が遺されています。慶応3年といえば、明治維新を翌年に迎える年でした。幕末騒乱の中に発生した「ええぢゃないか」騒ぎを当時の日進の人々はどう受け止めていたのでしょうか。

参考・引用文献

- 『日進町誌本文編・資料編1・3・5・8』 日進町役場
- 『日本全史(ジャパ・クロニクル)』 講談社
- 『日本史事典』 浅倉書店
- 『日進市史民俗編』 日進市
- 『白山宮史』 白山宮社務所
- 『平成24年度歴史講座「江戸時代の旅」』 資料・特別展「江戸時代の娯楽」 資料 岩崎城歴史記念館

Profile

(略歴) 昭和11年生まれ。岩崎城歴史記念館長。長久手市文化財保護審議会。元日進市文化財保護審議会。著書:『歴史物語 長久手の戦い』『長久手町史本文編(共著)』『豊明・日進・東郷・長久手手昔写真集(共著)』など

マスコミで見る学園各校の出来事

2016年2月1日 ▶▶ 2016年5月31日

日付・媒体	所属	記事内容等
2月5日 中日新聞	外大	「さみっとしんぶん」サミットと総選挙についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
2月6日 中日新聞(夕刊)	外大	著書「新カラマソフの兄弟」清水良典氏による書評 ＜亀山郁夫学長＞
2月10日 中日新聞	短大	「この人」著書「不登校児を支えるメンタルフレンド活動」について ＜現代総合学科 大原榮子教授＞
2月11日 中日新聞	学芸大	西宮正明展「STILL LIFE 一物達」告知 ＜映像メディア学科 西宮正明教授＞
2月11日 週刊文春	学芸大	「本当に健康にいいウォーキング教えます」コメント ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
2月12日 中日ホームニュース	外大	「ふるさと自慢レシビ」カナダ編 ＜外国語学部 マルソ・エティエン講師＞
2月14日 読売新聞	外大	「空想書店」寄稿 ＜亀山郁夫学長＞
2月16日 中日新聞	外大	サミット講義 1限目 「世界から「頂上」結集」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
2月19日 中日新聞	学芸大	「僕らのポートフォリオ展」デザイン学科生が実行委員 ＜デザイン学科 学生3名＞
2月20日 中日ホームニュース	外大	「ハロ-お嬢さん」留学生紹介 ＜留学生 アルキア・リュウイスさん＞
2月20日 中日新聞	学芸大	市民公開講座「介護予防・認知症予防の実践方法」告知 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
2月23日 中日新聞	外大	サミット講義 2限目 「価値観共有の主要国」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
2月26日 中日ホームニュース	外大	「ふるさと自慢レシビ」アメリカ編 ＜外国語学部 ジェレミアア・ホール講師＞
2月28日 中日新聞	学芸大	「第17回日本健康支援学会年次学術大会」で講演 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
3月1日 広報 Yatomi	外大	弥富市の魅力をPRするCM完成報告 ＜国際教養学科 学生4名＞
3月1日 中日新聞	学芸大	「いまドキッ!大学生」被災地出張食堂 ＜管理栄養学科 4年 坂井愛美さん、五十住友香さん＞
3月3日 中日新聞	外大	サミット講義 3限目 「主要国以外も会合に」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
3月4日 中日新聞	外大	「さみっとしんぶん」サミットの食についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
3月6日 さる4月号	外大	「失われた世界の正義、そしてこれから」ミハイル・ゴルバチョフ氏対談 ＜亀山郁夫学長＞
3月7日 読売新聞(夕刊)	学芸大	「隠れメタボ 914万人」厚労省研究結果について ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
3月8日 中京テレビ	学芸大	「News ZERO」「隠れメタボ」研究結果について ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
3月13日 中日新聞	外大	中日新聞編集局編「まちはしすかにあゆみだす」書評 ＜亀山郁夫学長＞
3月15日 中日新聞	外大	サミット講義 4限目 「経済危機対応で誕生」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
3月18日 中日新聞	学芸大	三笠宮家瑠子女王殿下御出席「第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議2016」イベント開催
3月19日 中日新聞	外大	「現代国際学部特殊講義」一般受講生募集 ＜現代国際学部＞
3月23日 中日新聞	外大	サミット講義 5限目 「理想と現実の「折衷」」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
3月29日 中日新聞	学芸大	「第14回インディーズアニメフェスタ」大賞受賞 ＜映像メディア学科 3年 水谷沙里さん＞
3月30日 米通信社 Bloomberg	外大	米中首脳会談の可能性についてコメント ＜外国語学部 川村範行教授＞
3月31日 中日新聞	外大	サミット講義 6限目 「柔軟にメンバー変更」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月1日 中日新聞	外大	「さみっとしんぶん」洞爺湖サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月2日 中日新聞	学芸大	「なごや VISION 展」開催告知 ＜デザイン学科＞
4月2日 中日新聞	外大	「文科省報道専門官に就任」 ＜卒業生 櫻木瑠子さん＞
4月3日 中日新聞	学芸大	「味な提言」①母子のつながり ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
4月5日 中日新聞	外大	サミット講義 7限目 「写真 並び順にも理由」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月6日 読売新聞	外大	サミットの意義についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月6日 朝日新聞	外大	「ことばの広場」英語のことわざについてコメント ＜英米語学科 山内進教授＞
4月10日 中日新聞	学芸大	「味な提言」②はじめての食事 ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
4月11日 TBS ラジオ	外大	「荒川強啓テイ・キャッチ!」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月12日 中日新聞(夕刊)	外大	「ドゥン・キホーテ」新訳に挑む」寄稿 ＜世界教養学科 野谷文昭教授＞
4月14日 中日新聞	外大	サミット講義 8限目 「各国の「宿題」提出日」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月15日 中日新聞	外大	「露の学生が学長と懇談」日露青年交流センターの交流事業紹介 ＜亀山郁夫学長＞

日付・媒体	所属	記事内容等
4月15日 The Japan Times ST	外大	「国際医療通訳シンポジウム&ワークショップ」告知 ＜現代英語学科 浅野輝子教授、WLAC＞
4月16日 中日新聞	外大	「シリア難民 現状伝えたい」インタビュー ＜国際教養学科 佐藤都喜子教授＞
4月17日 中日新聞	学芸大	「味な提言」③食物アレルギーが心配な母へ ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
4月17日 北海道新聞	外大	スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ著「戦争は女の顔をしていない」書評 ＜亀山郁夫学長＞
4月21日 中日新聞(夕刊)	外大	著書「新カラマソフの兄弟」三島由紀夫賞候補に ＜亀山郁夫学長＞
4月23日 中日新聞	外大	「マケドニア大使 名外大で講演」駐日大使インタビュー ＜現代国際学部＞
4月23日 中日新聞	外大	サミット講義 補講 「未来担う人材づくり」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月23日 中京テレビ	外大	「伊勢志摩サミットまで1か月〜三重県の今」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月24日 中日新聞	学芸大	「味な提言」④おべんとうの魅力 ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
4月27日 読売新聞	外大	「首脳への提言発表」ジュニアサミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月27日 NHK	外大	「ほっとイブニング」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月29日 中日新聞	外大	「さみっとしんぶん」移動手段についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月29日 東海テレビ	外大	「みんなのニュース ONE スペシャル」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
4月30日 聖教新聞	外大	「わたしの読書観」インタビュー ＜亀山郁夫学長＞
5月1日 中日新聞	学芸大	「味な提言」⑤子どものおやつ ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
5月1日 月刊オーストリア5月号	外大	「青春の息吹、人生の黄昏」寄稿 ＜亀山郁夫学長＞
5月3日 中日新聞	外大	サミット講義 9限目 「メガFTA 行方どう」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月7日 中日新聞	外大	「国際医療通訳シンポジウム&ワークショップ」告知 ＜現代英語学科 浅野輝子教授、WLAC＞
5月8日 中日新聞	学芸大	「味な提言」⑥母の思い ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
5月10日 中日新聞	外大	サミット講義 10限目 「途上国の命を救う」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月14日 中京テレビ	外大	「キャッチ! サタデー」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月15日 中日新聞	学芸大	「味な提言」⑦親子で朝ごはん ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
5月15日 中京テレビ	外大	「爆笑! ジャパニズム宣言」留学生にインタビュー ＜日本語教育センター＞
5月15日 毎日新聞	外大	「G7の迅速な対応に期待」サミットについてインタビュー ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月16日 中部経済新聞	外大	「開催地のメリット生かせ」サミットについてインタビュー ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月17日 中部経済新聞	学芸大	「頼かわばたとの産学協同プロジェクト、パッケージ開発」 ＜デザイン学科 梶田渉教授、学生3名＞
5月17日 毎日新聞	外大	「各国合意 政局を左右」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月18日 毎日新聞	外大	「論点 サミット日本の役割」サミットについてインタビュー ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月19日 中日新聞(夕刊)	外大	「首脳の写真集 ココで撮って!」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月22日 中日新聞	学芸大	「味な提言」⑧食経験と偏食 ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
5月23日 日本食糧新聞	学芸大	「百寿会の集い」長生きの秘訣を講演 ＜井形昭弘学長＞
5月23日 NHK ラジオ	外大	「夕方ゴジラ」サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月24日 中日新聞	外大	講演会「男装の女性作家ジョルジュ・サンドーその生涯と現代性」告知 ＜フランス語学科、WLAC＞
5月26日 中日新聞	外大	「高瀬教授のサミット現地報告④」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月27日 中日新聞	外大	「高瀬教授のサミット現地報告⑤」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月28日 中日新聞	外大	「高瀬教授のサミット現地報告⑥」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
5月29日 中日新聞	学芸大	「味な提言」⑨共食への願い ＜管理栄養学科 榎村春江助教＞
5月29日 中日・東京	外大	「伊勢志摩サミット 専門家の評価は?」 トロント大 ジョン・カーントン教授と対談 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞

※ この他にも学園各校は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌をはじめとする多数のメディアで取り上げられています。

2015年度 決算の概要

2015年度法人の決算が確定しましたので、その概要を説明します。

事業活動収支計算書については、2015年度事業活動収入計は約115億5千万円となり、事業活動支出計は約109億7千万円でした。この結果、基本金組入前当年度収支差額は5億8千万円で、収支差額比率は5.0%となりました。

事業活動収支計算書 (単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
(教育活動収入)	
学生生徒等納付金	9,656,207,489
手数料	151,397,708
寄付金	20,307,500
経常費補助金	879,420,442
付随事業収入	344,205,317
雑収入	260,835,573
教育活動収入計	11,312,374,029
(教育活動支出)	
人件費	5,363,939,697
教育研究経費	3,664,170,669
管理経費	1,914,574,717
教育活動支出計	10,942,685,083
教育活動収支差額	369,688,946

科目	金額
教育活動外収支	
(教育活動外収入)	
受取利息配当金	146,065,791
教育活動外収入計	146,065,791
(教育活動外支出)	
教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	146,065,791
経常収支差額	515,754,737
特別収支	
(特別収入)	
資産売却差額	38,000,000
その他の特別収入	51,319,992
特別収入計	89,319,992
(特別支出)	
資産処分差額	28,096,700
特別支出計	28,096,700
特別収支差額	61,223,292
基本金組入前当年度収支差額	576,978,029
基本金組入額合計	△1,130,279,215
当年度収支差額	△553,301,186
前年度繰越収支差額	△942,357,973
基本金取崩額	32,148,905
翌年度繰越収支差額	△1,463,510,254

資金収支計算書については、前年度繰越支払資金約90億6千万円を加えた2015年度収入の部合計は約651億6千万円となりました。これに対して、2015年度資金支出は約531億5千万円であったため、翌年度への繰越支払資金は約120億円となりました。繰越支払資金が約30億円増加した理由は、マイナス金利政策の影響により短期国債での運用から銀行預金等にシフトしたためです。

資金収支計算書 (単位：円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	9,656,207,489
手数料収入	151,397,708
寄付金収入	20,307,500
補助金収入	901,497,442
資産売却収入	44,013,014,351
付随事業・収益事業収入	344,205,317
受取利息・配当金収入	146,065,791
雑収入	249,238,631
前受金収入	1,833,147,625
その他の収入	898,290,143
収入の総計	58,213,371,997
資金収入調整勘定	△2,115,977,562
差し引き	56,097,394,435
前年度繰越支払資金	9,061,932,514
収入の部合計	65,159,326,949

支出の部 (単位：円)

支出の部	
科目	金額
人件費支出	5,311,481,009
教育研究経費支出	2,656,615,155
管理経費支出	1,870,704,023
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	1,297,184,405
設備関係支出	497,186,974
資産運用支出	41,534,950,653
その他の支出	353,252,758
支出の総計	53,521,374,977
資金支出調整勘定	△369,987,514
差し引き	53,151,387,463
翌年度繰越支払資金	12,007,939,486
支出の部合計	65,159,326,949

貸借対照表については、2015年度末における資産状況は、固定資産と流動資産の合計が約563億9千万円に対し、負債の合計は約38億円であったため、純資産は約525億8千万円となりました。

貸借対照表 (単位：円)

科目	金額
資産の部	
固定資産	78,721,080,970
有形固定資産	24,674,606,559
特定資産	14,907,000,000
その他の固定資産	4,416,961,483
流動資産	12,390,532,284
資産の部合計	56,389,100,326
負債の部	
固定負債	1,458,240,075
流動負債	2,347,896,094
負債の部合計	3,806,136,169
純資産の部	
基本金	54,046,474,411
繰越収支差額	△1,463,510,254
純資産の部合計	52,582,964,157
負債及び純資産の部合計	56,389,100,326

財産目録については、2015年度末における財産は、土地・建物等の基本財産が247億48百万円、現預金・有価証券等の運用財産が316億41百万円、合計で563億89百万円となりました。これに対し負債は38億6百万円、純資産は525億83百万円となり、2014年度と比較して5億77百万円増加しました。

財産目録総括表 (単位：千円)

科目	金額
基本財産	24,747,600
運用財産	31,641,500
負債額	3,806,136
固定負債	1,458,240
流動負債	2,347,896
基本財産+運用財産	56,389,100
純資産	52,582,964

各計算書について

※事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動収入・事業活動支出を「教育・教育以外・特別」に区分して内容を明らかにし、経営状況を表わします。
 ※資金収支計算書は、①当該会計年度の諸活動に対応する収入及び支出の内容、②当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにします。
 ※貸借対照表は、当該年度末における資産、負債・純資産を表示することにより、当該年度末における財政状態を表わします。

名誉教授称号授与

名古屋外国語大学／外国語学部教授・副学長 **松野 和彦**

名古屋外国語大学／外国語学部中国語学科教授・中国語学科長 **中井 政喜**

名古屋外国語大学／現代国際学部国際ビジネス学科教授（特任）・国際ビジネス学科長 **塩見 治人**

名古屋外国語大学／総合教養教授・総合教養主任 **石田 勢津子**

名古屋外国語大学／現代国際学部国際ビジネス学科教授 **佐原 秋生**

名古屋外国語大学／外国語学部英米語学科教授 **藤井 加代子**

名古屋外国語大学／総合教養准教授 **山田 敬信**

名古屋学芸大学／管理栄養学部管理栄養学科教授 **ムハマド ファルク**

名古屋学芸大学／ヒューマンケア学部前教授（特任）

（名古屋外国語大学教職センター教授（特任））**小野田 章二**

名古屋学芸大学／客員教授 メディア造形学部デザイン学科

（キャリアサポートセンター参与）**森本 健**

名古屋学芸大学／短期大学部長、短期大学部現代総合学科教授 **黒澤 宣輝**

永年勤続表彰者

勤続40年

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部／
事務局長 **大見 正高**

専門学校／事務室長 **大藏 和門**

勤続30年

名古屋外国語大学／学生部長 **蔵田 敏明**

名古屋外国語大学／教授 **藤井 加代子**

名古屋外国語大学／准教授 **山本 恵**

名古屋外国語大学／

日本語教育センター専門員 **神谷 里美**

名古屋学芸大学短期大学部／

学生支援室長 **山本 恭子**

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部／
入試課長 **竹下 清**

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部／
中央図書館課長 **守田 正江**

名古屋ファッション専門学校／主任 **佐野 姿子**
法人／施設課 技術職員 **佐野 正佳**

勤続20年

名古屋学芸大学／教授 **岡田 希和子**

勤続10年

名古屋外国語大学／
国際コミュニケーション研究科長 **尾崎 明人**

名古屋外国語大学／
英語教育学科長・教職センター長 **須賀 藤隆**

名古屋外国語大学／国際ビジネス学科長 **塩見 治人**

名古屋外国語大学／教授 **佐原 秋生**

名古屋外国語大学／教授 **金沢 和子**

名古屋外国語大学／准教授 **劉 綺紋**

名古屋外国語大学／准教授 **若山 公威**

名古屋学芸大学／栄養科学研究科長 **北川 元二**

名古屋学芸大学／デザイン学科長 **河村 暢夫**

名古屋学芸大学／子どもケアセンター長 **坂 鏡子**

名古屋学芸大学／教授 **川原 啓嗣**

名古屋学芸大学／准教授 **吉野 まり子**

名古屋学芸大学／准教授 **木村 佳津子**

名古屋学芸大学／准教授 **渡辺 桜**

名古屋学芸大学／講師 **早戸 亮太郎**

名古屋学芸大学／講師 **森 幸長**

名古屋学芸大学／講師 **柿沼 岳志**

法人／法人参与

名古屋外国語大学客員教授 **内田 忠男**

法人／監事 **鈴木 基仁**

法人／事務職員 **山田 麻紀子**

（2016年3月31日時点での所属・職名で記載／順不同・敬称略）

名古屋外国語大学

入学式	2016年	4月	1日	㊟
1期授業開始	2016年	4月	11日	㊟
1期授業終了	2016年	7月	28日	㊟
後援会評議員会・後援会役員会	2016年	6月	18日	㊟・2017年 2月 18日
学生夏期休暇	2016年	7月	29日	㊟～ 9月 15日
1期末修了式・卒業式	2016年	9月	15日	㊟
2期授業開始	2016年	9月	16日	㊟
合同祭	2016年	10月	22日	㊟～ 10月 23日
学生冬期休暇	2016年	12月	23日	㊟～2017年 1月 4日
2期授業終了	2017年	1月	18日	㊟
学生春期休暇	2017年	1月	19日	㊟～ 3月 31日
卒業式	2017年	3月	22日	㊟

名古屋外国語大学大学院

入学式	2016年	4月	1日	㊟
1期授業開始	2016年	4月	11日	㊟
1期授業終了	2016年	7月	21日	㊟
学生夏期休暇	2016年	8月	1日	㊟～ 9月 15日
1期末修了式・2期入学式	2016年	9月	15日	㊟
2期授業開始	2016年	9月	16日	㊟
合同祭	2016年	10月	22日	㊟～ 10月 23日
学生冬期休暇	2016年	12月	29日	㊟～2017年 1月 4日
2期授業終了	2017年	1月	11日	㊟
学生春期休暇	2017年	1月	21日	㊟～ 3月 31日
修了式	2017年	3月	22日	㊟

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部

入学式	2016年	4月	3日	㊟
前期授業開始	2016年	4月	11日	㊟
前期授業終了	2016年	7月	28日	㊟
学生夏期休暇	2016年	8月	1日	㊟～ 9月 15日
前期末卒業式	2016年	9月	15日	㊟
後期授業開始	2016年	9月	16日	㊟
合同大学祭	2016年	10月	22日	㊟～ 10月 23日
学生冬期休暇	2016年	12月	24日	㊟～2017年 1月 6日
後期授業終了	2017年	1月	21日	㊟
学位記授与式	2017年	3月	20日	㊟

名古屋学芸大学大学院

入学式	2016年	4月	3日	㊟
1期授業開始	2016年	4月	11日	㊟
1期授業終了	2016年	7月	28日	㊟
学生夏期休暇	2016年	8月	1日	㊟～ 9月 15日
2期授業開始	2016年	9月	16日	㊟
学生冬期休暇	2016年	12月	24日	㊟～2017年 1月 6日
2期授業終了	2017年	1月	21日	㊟
学位記授与式	2017年	3月	20日	㊟

NSC

合同入学式	2016年	4月	8日	㊟
合同学園祭	2016年	11月	5日	㊟～ 11月 6日
合同卒業式	2017年	3月	17日	㊟

名古屋ファッション専門学校

学生夏期休暇	2016年	8月	12日	㊟～ 9月 6日
学生冬期休暇	2016年	12月	26日	㊟～2017年 1月 5日
学生春期休業	2017年	3月	24日	㊟～ 4月 10日

名古屋総合デザイン専門学校

学生夏期休暇	2016年	8月	12日	㊟～ 9月 2日
学生冬期休暇	2016年	12月	21日	㊟～2017年 1月 5日
学生春期休業	2017年	3月	1日	㊟～ 4月 10日

名古屋栄養専門学校

学生夏期休暇	2016年	8月	5日	㊟～ 8月 31日
学生冬期休暇	2016年	12月	26日	㊟～2017年 1月 5日
学生春期休業	2017年	3月	21日	㊟～ 4月 10日

名古屋製菓専門学校

学生夏期休暇	2016年	8月	9日	㊟～ 9月 9日
学生冬期休暇	2016年	12月	20日	㊟～2017年 1月 5日
学生春期休業	2017年	3月	7日	㊟～ 4月 10日

菱野幼稚園

1学期始業式	2016年	4月	6日	㊟
入園式	2016年	4月	11日	㊟
1学期終業式	2016年	7月	20日	㊟
2学期始業式	2016年	9月	1日	㊟
運動会	2016年	10月	8日	㊟
作品展覧会	2016年	11月	5日	㊟～11月 6日
2学期終業式	2016年	12月	22日	㊟
3学期始業式	2017年	1月	6日	㊟
遊戯会	2017年	2月	7日	㊟～ 2月 10日
卒園式	2017年	3月	17日	㊟
修了式	2017年	3月	24日	㊟

表紙の言葉

今回の表紙は、名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の高橋里奈さん(2015年度卒)の卒業制作作品『オトとヒト』です。

音楽は人の目には見えない情報です。その情報を誰もが共有できるように「音符」や「楽譜」が使われていますが、本作品は、その楽譜にオーケストラの演奏者と楽器のすべてをイラストで視覚化し、空間的に見せることで、クラシック音楽に馴染みがない人にも、その楽曲の世界観を一目で分かりやすくすることが狙いです。作品のモチーフに選んだのは、チャイコフスキー作曲の「花のワルツ」です。

名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科 梶田 渉

編集後記

本号は巻頭で青柳先生と亀山先生の対談を企画しました。急なことで青柳先生の承諾が得られるか心配しましたが、快く引き受けてくださいました。両先生の話をお聞きすると、その「引き出し」の多さに感服してしまいます。専門分野での知識の広さや深さはもちろんのこと、文学・音楽・芸術等々どこからでも話が引き出されます。これが「教養」なのでしょうか。人間としての素養を身に着け、深めることで、多くの引き出しを持つことができる。改めて「教養」の意味を考えた次第です。



学校法人 中西学園

名古屋外国語大学・大学院

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-74-1111 FAX: 0561-75-1723 <http://www.nufs.ac.jp/>

名古屋学芸大学・大学院

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-75-7111 FAX: 0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

名古屋学芸大学短期大学部

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-75-7111 FAX: 0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

NSC カレッジ

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目9番6号 <http://www.nsc.ac.jp/>

■名古屋ファッション専門学校

TEL: 052-241-7381
FAX: 052-242-2746

■名古屋総合デザイン専門学校

TEL: 052-261-8944
FAX: 052-243-3976

■名古屋栄養専門学校

TEL: 052-251-7392
FAX: 052-265-0502

■名古屋製菓専門学校

TEL: 052-265-0509
FAX: 052-265-0719

菱野幼稚園

〒489-0886 瀬戸市萩山台七丁目13番1号
TEL: 0561-83-3651 FAX: 0561-83-1913
<http://www.hishino.ed.jp>

■発行所 学校法人中西学園

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-74-1111
<http://www.nakanishi.ac.jp>

■発行者 中西学園報編集委員会